

函館の教育 2013

函館市教育委員会

函館市教育目標

- 1 資源を愛護し、すすんでこれを開発利用する市民
- 2 勤労を愛好し、科学的に生産を高める市民
- 3 生命の保存に努め、地域に適した健康生活を実践する市民
- 4 郷土を愛し、広い視野から郷土文化を創造する市民
- 5 政治や法律がわかり、公民として活動をりっぱにする市民
- 6 たがいに敬愛し、民主的徳徳を実践する市民

市民憲章

- 1 真心あふれる函館市民、あたたかいまち
- 1 健康で働く函館市民、にぎわうまち
- 1 文化を誇る函館市民、はぐくむまち
- 1 自然を生かす函館市民、きれいなまち
- 1 郷土を愛する函館市民、のびゆくまち

(昭和 52 年 5 月 3 日制定)

都市宣言

- ・ 安全都市宣言
(昭和 36 年 3 月 6 日制定)
- ・ 核兵器廃絶平和都市宣言
(昭和 59 年 8 月 6 日制定)
- ・ 国際観光都市宣言
(平成元年 8 月 1 日制定)
- ・ スポーツ健康都市宣言
(平成 4 年 10 月 10 日制定)
- ・ いきいき長寿都市宣言
(平成 6 年 12 月 10 日制定)

「函館の教育」の刊行にあたって

函館市教育委員会教育長 山本 真也

国におきましては、少子高齢化やグローバル化が進展するなかで、多様な文化芸術や勤労性などの日本固有の長所を踏まえ、教育振興基本計画の第二期計画を、「自立、協働、創造」の理念のもとで策定されており、本市におきましても、様々な社会情勢の変化に対応しつつ、函館らしい教育施策を充実・発展させていくことが求められております。

いつの時代にあっても、学びは、市民生活に豊かさや活力をもたらす原点であり、教育は、多様な個性・能力を開花し人生を豊かにするとともに、社会全体の発展を実現する基盤であります。

市民一人ひとりの学びは、つながり合ってコミュニティを形成し地域力となり、子どもの学びは変化の激しい社会を切り拓き、未来の函館の礎を築く原動力となります。

そのような学びの実現のために、教育委員会といたしましては、市民一人ひとりの意欲を高めるような教育環境の整備と、組織的に教育の質を高めながら直面している課題を解決する学校力の向上に向けて、

- 豊かな人生を支援する生涯学習の充実
- 子どもの「生きる力」を育む学校教育の推進
- 未来を拓く教育施設の整備

の3つの重点目標を掲げ、市民と連携・協働する教育行政の積極的な推進に努めてまいります。

この「函館の教育」は、本市における教育の現況を理解していただくために、刊行いたしました。

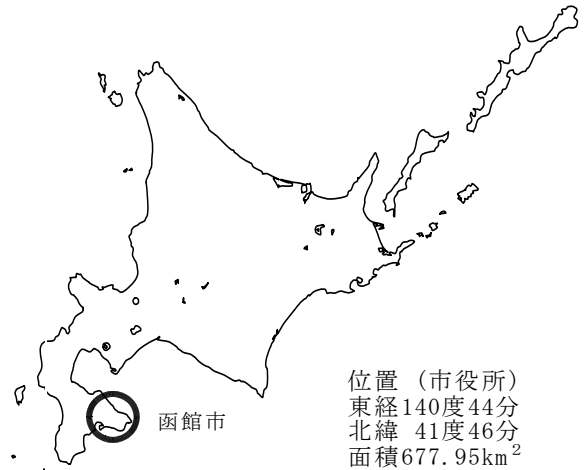
皆様のさらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

函館市の概況

函館は、古くは室町時代の享徳3年(1454年)、津軽の豪族 河野政通が宇須岸(ウスケシ:アイヌ語で湾の端の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が箱に似ているところから「箱館」と呼ばれることになりました。

明治2年(1869年)、蝦夷が北海道となり、箱館も函館と改められました。

函館市は、渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、西は北斗市・七飯町・鹿部町と接しています。



位置(市役所)
東経140度44分
北緯 41度46分
面積677.95km²

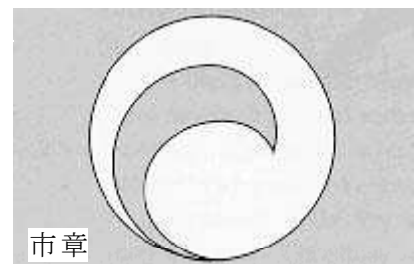
市の木 おんこ(いちい)
市の花 つつじ(やまつつじ)
市の鳥 ヤマガラ
市の魚 イカ

姉妹都市

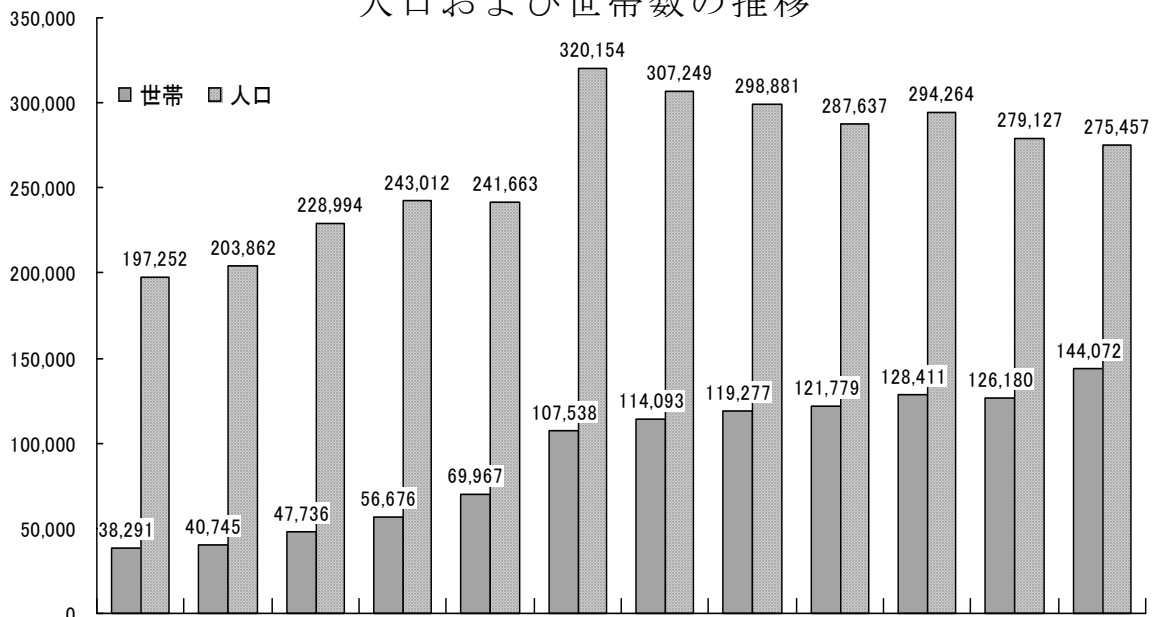
ハリファックス市 (カナダ S57.11.25提携)
ウラジオストク市 (ロシア連邦 H4.7.28提携)
レイク・マコーリー市 (オーストラリア H4.7.31提携)
ユジノサハリンスク市(ロシア連邦 H9.9.27提携)
高陽市 (韓国 H23.8.1提携)

友好交流都市

天津市 (中華人民共和国 H13.10.18提携)



人口および世帯数の推移



← 国勢調査 → 住民基本台帳 人口7月末日

総目次

I 教育行財政

1	教育委員	1
2	附属機関委員	2
3	行政組織	6
4	組織の編成	8
5	教育財政	9

II 生涯学習

1	生涯学習の推進	13
2	函館市社会教育の重点	14
3	社会教育事業の概要	15
4	社会教育・スポーツ施設の概要	48
5	学校開放事業の概要	88
6	財団法人函館市文化・スポーツ振興財団	91

III 学校教育

	平成24年度函館市学校教育の重点	93
1	市立学校施設一覧	94
2	児童・生徒	98
3	育英事業	100
4	学校保健	101
5	学校安全	103
6	学校給食	104
7	就学援助	106
8	特別支援	108
9	中学生海外派遣事業	109
10	函館市南北海道教育センター	110

IV 資料編

1	函館市教育の沿革概要	113
2	函館市内の指定文化財	128
3	市立学校・幼稚園一覧	134
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	138
5	社会教育関係団体一覧	140
6	社会教育施設利用グループ一覧	141

I 教育行財政

1	教育委員	1
2	附属機関委員	2
3	行政組織	6
4	組織の編成	8
5	教育財政	9

1 教育委員



委員長



委員

(委員長職務代理者)



委員



委員



教育長

橋田 恭一 河村 祥史 小葉松 洋子 佐藤 敬一 山本 真也

役職	氏名	性別	就任年月日	現在の任期
委員長	はしだ けんいち 橋田 恭一	男	平成16年10月24日	(3期目) 平成24年10月24日 ～ 平成28年10月23日
委員 (委員長職務代理者)	かわむら しゅうじ 河村 祥史	男	平成18年10月15日	(2期目) 平成22年10月15日 ～ 平成26年10月14日
委員	こばまつ ようこ 小葉松 洋子	女	平成19年10月23日	(2期目) 平成23年10月23日 ～ 平成27年10月22日
委員	さとう けいいち 佐藤 敬一	男	平成24年10月24日	(1期目) 平成24年10月24日 ～ 平成28年10月23日
教育長	やまもと しんや 山本 真也	男	平成23年5月23日	(1期目) 平成23年5月23日 ～ 平成25年10月15日

2 附属機関委員（平成25.6.1現在）

(1) 函館市学校教育審議会

（発足）「函館市学校教育審議会条例」に基づき、昭和46年発足

（目的）教育委員会の諮問に応じ、児童生徒の通学区域の設定または変更に関する事項について調査審議する。

（委員）学識経験者、PTA、市立学校の教職員（25人以内）

（任期）平成25年8月31日まで

氏名	役職名
伊藤 正則	函館市町会連合会常任理事
長谷 くに子	函館市町会連合会常任理事
松田 貞子	函館市町会連合会理事
高村 昭三	元函館市中学校長会会長
五百川 忠	元函館市立深堀中学校長
佐々木 昌子	旧南茅部町教育委員
藤川 隆	函館大学教授
市川 須磨子	函館市文化団体協議会評議員
伊部 宗博	函館青年会議所会員拡大委員
外山 信子	前函館市立ほこだて幼稚園長
青田 基	函館市PTA連合会会長
柘本 選司	函館市PTA連合会副会長
島森 佐知子	函館市PTA連合会副会長
中島 明	函館市PTA連合会副会長
中村 和代	函館市PTA連合会副会長
佐藤 さとみ	函館市PTA連合会常任委員
亀谷 禎子	函館市PTA連合会母親委員
大堂 譲	函館市小学校長会会長
富樫 廣幸	函館市小学校長会副会長
田辺 信之	函館市中学校長会会長
澤村 早苗	函館市中学校長会
宗像 英明	函館市小学校教頭会会長
笠島 美教	函館市中学校教頭会副会長
相澤 弘司	北海道教職員組合函館支部長
高橋 勇二	北海道教職員組合函館支部書記長

(2) 函館市就学指導委員会

（発足）「函館市就学指導委員会条例」に基づき、平成10年発足

（目的）教育委員会の諮問に応じ、教育上特別な配慮を要する児童生徒の心身の障がいの種類、程度等について調査審議する。

（委員）医師、学識経験者、教育職員、児童福祉施設の職員、関係行政機関の職員（20人以内）

（任期）平成26年5月25日まで

氏名	役職名
渋谷 好孝	かみいそこどもクリニック院長
廣瀬 三恵子	函館五稜郭病院小児科医員
加藤 知子	かとうメンタルクリニック副院長
細谷 一博	北海道教育大学函館校准教授
阿部 千春	函館大谷短期大学こども学科講師
須藤 由司	函館特別支援教育研究会会長
切明 学	函館市中学校長会
蓮本 裕一	函館市中学校長会
黒田 仁志	函館市小学校長会
高橋 和明	北海道函館養護学校長
平田 新次郎	北海道教育大学附属特別支援学校副校長
上戸 美智子	うみのほし学園長
谷川 忍	函館特別支援教育研究会副会長
佐藤 美加	函館市中学校教頭会
山本 良子	函館市小学校教頭会
櫻井 信太郎	函館市立赤川中学校教諭
藤本 久美子	函館市立中央小学校教諭
戸巻 淳	おしま地域療養センター指導課長
小林 哲士	北海道函館児童相談所判定援助係長
阿部 俊一	北海道函館児童相談所指導援助課長

(3) 函館市青少年芸術教育奨励事業企画推進委員会

- (発足) 「函館市青少年芸術教育奨励基金の設置および管理に関する条例」に基づき、平成3年発足
- (目的) 奨励事業の実施について教育長から付託された専門的事項について審議する。
- (委員) 小・中学校長会，高等学校長協会道南支部，PTA連合会および文化団体協議会の各代表(5人)
- (任期) 平成27年6月17日まで

氏名	役職名
阿部 哲治	函館市文化団体協議会事務局長
板東 成美	函館市PTA連合会常任委員
土岐 均	北海道高等学校長協会道南支部
佐藤 洋子	函館市小学校長会
信夫 恵美子	函館市中学校長会

(4) 函館市スポーツ振興審議会

- (発足) 「函館市スポーツ振興審議会条例」に基づき、平成3年に発足
- (目的) 教育委員会の諮問に応じ、スポーツ振興に関する重要事項について調査審議する。
- (委員) 学識経験のある者，関係団体の推薦する者，公募による者(10人以内)
- (任期) 平成25年12月21日まで

氏名	役職名
近野 功	函館市スポーツ推進委員会前会長
新開谷 春子	元大学教授(健康運動指導士)
近藤 健	函館市体育協会副会長
本間 恵子	函館市中学校体育連盟学校代表幹事
田中 琢也	北海道高等学校体育連盟函館支部常任幹事
長尾 洋子	函館レクリエーション協会理事
橋本 友幸	(公社)函館市医師会副会長
堀田 剛史	(一社)函館青年会議所副理事長
松前 富弥	公募
板見谷 遵昭	公募

(5) 函館市社会教育委員

(発足) 「函館市社会教育委員設置条例」に基づき, 昭和24年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ, 社会教育に関する諸計画の立案に関して意見を述べるほか, 社会教育について調査・研究する。

(委員) 学校の長, 社会教育関係団体の代表者, 学識経験者および公募(15人)

(任期) 平成26年3月10日まで

氏名	役職名
丸藤 競	NPO法人函館市青年サークル協議会理事長
竹崎 満里子	函館市文化団体協議会副会長
須藤 由司	函館市小学校長会庶務幹事
信夫 恵美子	函館市中学校長会対策部長
土岐 均	北海道高等学校長協会道南支部
村田 敦郎	北海道教育大学函館校准教授
佐々木 香	函館市女性会議会長
笹浪 博義	函館市体育協会副会長
福澤 伸哉	函館市PTA連合会常任委員
今 千尋	社団法人函館地方法人会女性部会副会長
佐藤 愛彦	日本放送協会函館放送局放送部長
川嶋 信義	北海道新聞社函館支社報道部長
河江 誠司	函館市町会連合会東部地区協議会副会長
杉山 富美子	公募
富樫 絹子	公募

(6) 函館市文化財保護審議会

(発足) 「函館市文化財保護条例」に基づき, 昭和58年発足

(目的) 教育委員会の諮問に応じ, 文化財の保存・活用に関する重要事項について調査審議する。

(委員) 学識経験者等(14人以内)

(任期) 平成25年8月9日まで

氏名	役職名
奥山 三雄	1級建築士
小沢 ミドリ	元北海道函館西高等学校教諭
折原 久左エ門	元北海道教育大学函館校教授
上平 幸好	函館短期大学学長
齊藤 サダ	北栄測量設計(株)専務取締役
佐々木 馨	北海道教育大学函館校特任教授
須藤 隆仙	称名寺住職
俵 浩治	元函館東高等学校教諭
松崎 水穂	元上ノ国町教育委員会文化財課長
吉村 富士夫	元函館工業高等学校教諭

(7) 博物館協議会

(発足) 「市立函館博物館条例」に基づき、昭和27年発足

(目的) 館長の諮問に応じ、博物館の運営に関し意見を述べる。

(委員) 学校教育・社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者および公募(11人以内)

(任期) 平成26年2月21日まで

氏名	役職名
佐々木 馨	北海道教育大学函館校教授
川嶋 稔夫	公立はこだて未来大学教授
平馬 隆司	函館市立港小学校長
武井 佳子	函館市文化団体協議会舞台委員長
野澤 信子	函館市社会学級生連絡協議会会長
木村 祥世	函館市青年サークル協議会会員
山内 一男	㈱建築企画山内事務所代表取締役
若山 直	㈱五島軒取締役社長
阿部 光輝	公募
谷岡 真由美	公募
長谷川 茂子	公募

(8) 図書館協議会

(発足) 「函館市図書館条例」に基づき、昭和25年発足

(目的) 館長の諮問に応じ、図書館運営、奉仕について意見を述べる

(委員) 学校教育・社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者および公募(13人)

(任期) 平成26年2月21日まで

氏名	役職名
小林 真二	北海道教育大学函館校准教授
千原 治	北海道高等学校長協会道南支部支部長
三島 千春	函館市学校図書館研究会会長
平 昭世	(社)函館文化会理事
佐藤 秀臣	(社)函館市身体障害者福祉団体連合会会長
有馬 起代	函館朗読奉仕会役員
桶本 建郎	函館の図書館と歩む会会長
榎本 陽輔	活力ユニット会員
川嶋 稔夫	公立はこだて未来大学教授
対馬 俊明	函館文学学校講師
岡野 陽子	公募
杉山 富美子	公募
山田 富雄	公募

(9) 縄文文化交流センター協議会

(発足) 「函館市縄文文化交流センター条例」に基づき、平成24年発足

(目的) 館長の諮問に応じ、センターの運営に関し意見を述べる。

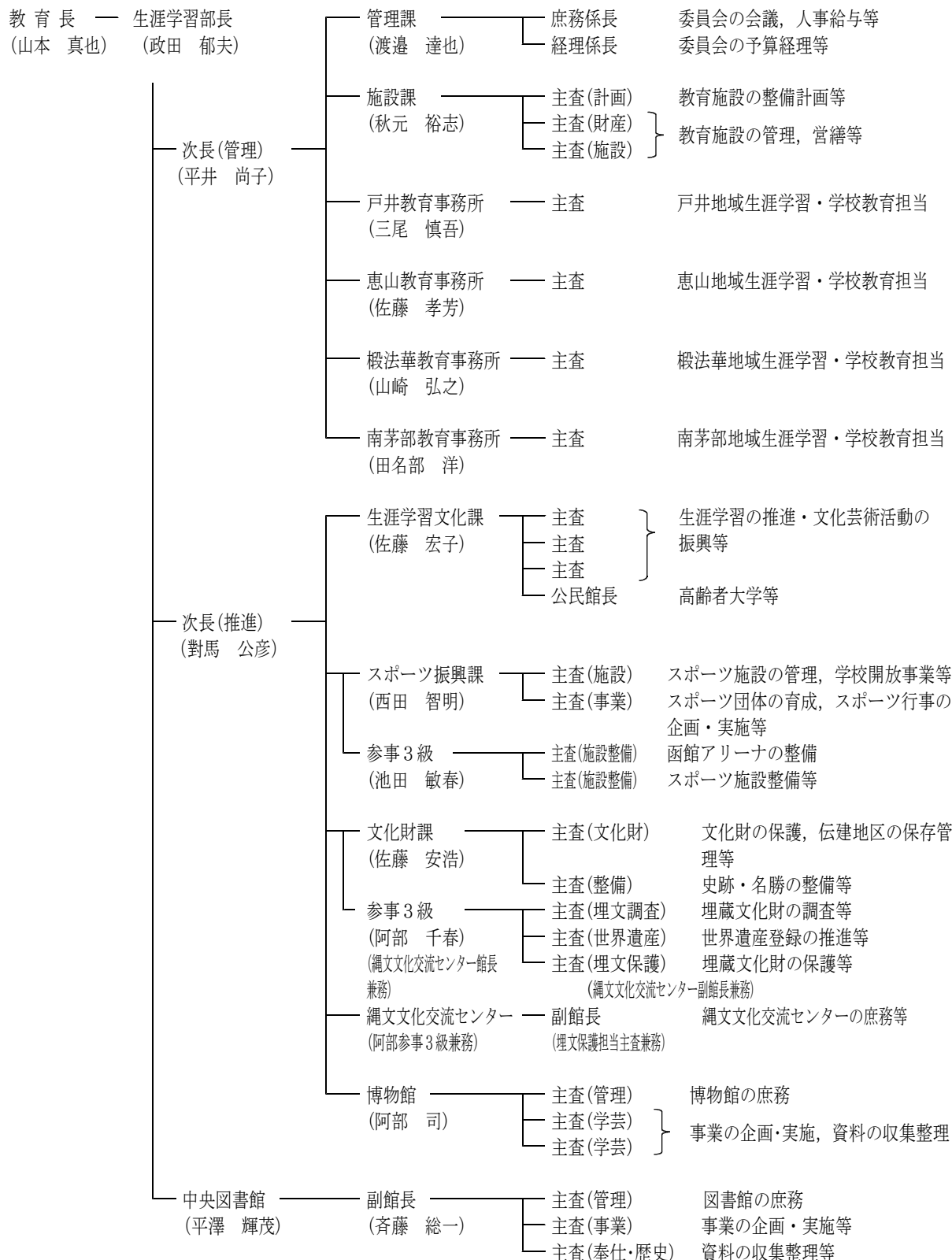
(委員) 学校教育・社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者および公募(9人以内)

(任期) 平成26年3月28日まで

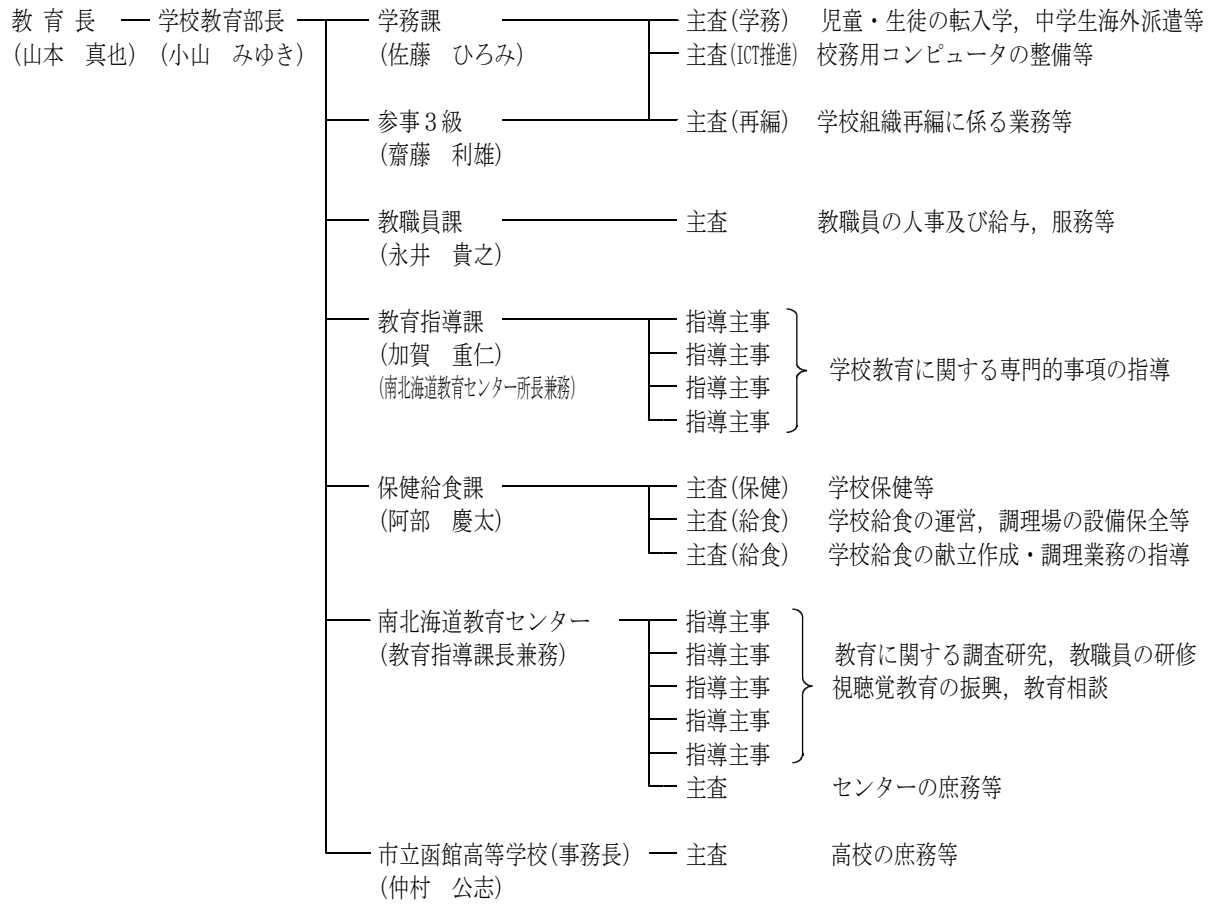
氏名	役職名
奥平 理	函館市工業高等専門学校 准教授
雁澤 好博	北海道教育大学函館校 教授
高橋 厚一	函館市小学校長会 (函館市臼尻小学校長)
加藤 詔三	函館市南かやべ縄文文化創生の会 会長
高谷 静子	函館市南茅部女性団体連絡協議会 会長
嵐田 美代子	北の縄文CLUB 事務局長
小林 功	(株)函館観光コンシェルジュセン ター 事務局長
大桃 誠	公募
本間 商人	公募

3 行政組織（平成25年4月1日現在）

(1) 生涯学習部



(2) 学校教育部



4 組織の編成

(1) 教育委員会関係職員総数

(平成25年6月1日現在)

区 分	職 員 数
事務局関係職員数	136人
学校関係職員数	1,582人 (うち市費職員293人)
合 計	1,718人

※ 学校関係職員数のうち市費職員には嘱託職員を含む

(2) 事務局関係職員数

※ 派遣主事除く，社会教育主事は再掲 (平成25年6月1日現在)

部 名	区 分 課 名	一般行政職			栄 養 士	指 導 主 事	社 会 教 育 主 事	計
		一 般 事 務	一 般 技 術	学 芸 員				
生 涯 学 部	管理課	16						16
	施設課	5	4					9
	戸井教育事務所	3						3
	恵山教育事務所	2	1					3
	椴法華教育事務所	3						3
	南茅部教育事務所	3	1					4
	生涯学習文化課	14					(1)	14
	スポーツ振興課	8	2					10
	文化財課	5	1	5				11
	博物館	6		4				10
	図書館	11		1				12
	計	76	9	10			(1)	95
学 校 教 育 部	学務課	11						11
	教職員課	6						6
	教育指導課	1				4		5
	保健給食課	8			3			11
	南北海道教育センター	2	1			5		8
	計	28	1		3	9		41
合 計	104	10	10	3	9	(1)	136	

(3) 学校関係職員数内訳

※ 嘱託職員を含む

(平成25年6月1日現在)

区 分	教 育 職 員						そ の 他 の 職 員						合計
	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	小計	事務	技術	実習 助手	調理	用務	小計	
小学校	44	46	586	46	15	737	76			27	81	184	921
中学校	28	27	386	26	10	477	39			10	46	95	572
高等学校	1	2	64	2		69	5		1		2	8	77
幼稚園	2	2	6			10	1				1	2	12
計	75	77	1,042	74	25	1,293	121	0	1	37	130	289	1,582

5 教育財政



縄文文化交流センター（平成23年10月1日供用開始）

(1) 平成25年度一般会計予算（当初）

歳入

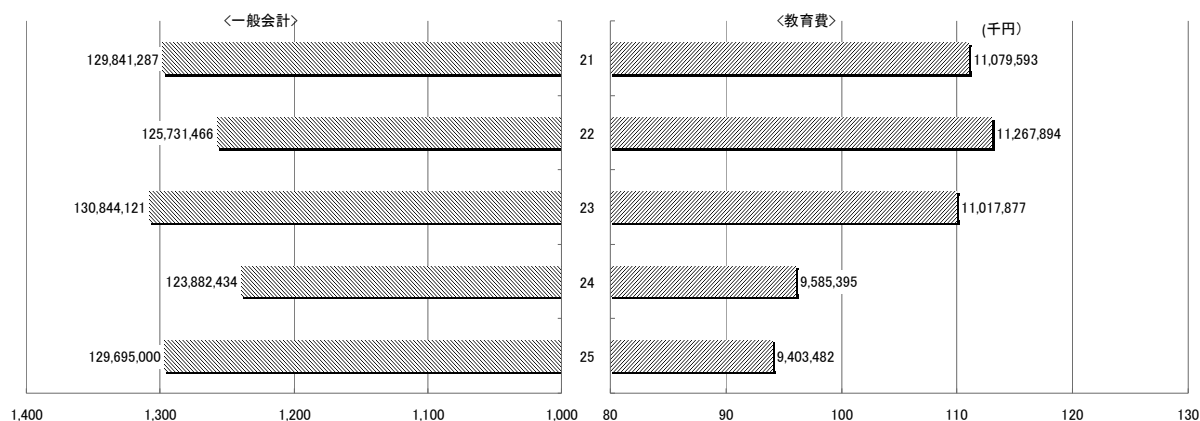
款	予 算 額	構成比	
		千円	%
1 市 税	31,344,000		24.2
2 地 方 譲 与 税	866,700		0.7
3 利 子 割 交 付 金	72,000		0.1
4 配 当 割 交 付 金	23,000		0.0
5 株式等譲渡所得割交付金	8,000		0.0
6 地方消費税交付金	2,819,000		2.2
7 ゴルフ場利用税交付金	20,000		0.0
8 自動車取得税交付金	127,200		0.1
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	5,000		0.0
10 地方特例交付金	105,100		0.1
11 地 方 交 付 税	35,052,000		27.0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	58,300		0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	837,004		0.6
14 使 用 料 及 び 手 数 料	3,199,610		2.5
15 国 庫 支 出 金	25,412,433		19.6
16 道 支 出 金	5,245,102		4.0
17 財 産 収 入	434,589		0.3
18 寄 付 金	252,644		0.2
19 繰 入 金	1,297,861		1.0
20 繰 越 金	1		0.0
21 諸 収 入	8,183,856		6.3
22 市 債	14,331,600		11.1
計	129,695,000		100

歳出

款	予 算 額	構成比	
		千円	%
1 議 会 費	415,831		0.3
2 総 務 費	8,475,887		6.5
3 民 生 費	48,717,043		37.6
4 衛 生 費	8,370,519		6.5
5 労 働 費	188,881		0.1
6 農 林 水 産 費	790,658		0.6
7 商 工 費	8,125,477		6.3
8 土 木 費	9,336,788		7.2
9 消 防 費	1,105,302		0.8
10 教 育 費	(9,403,482) 6,217,473		(7.3) 4.8
11 公 債 費	14,615,772		11.3
12 諸 支 出 金	5,220,847		4.0
13 職 員 費	18,014,522		13.9
14 予 備 費	100,000		0.1
計	129,695,000		100

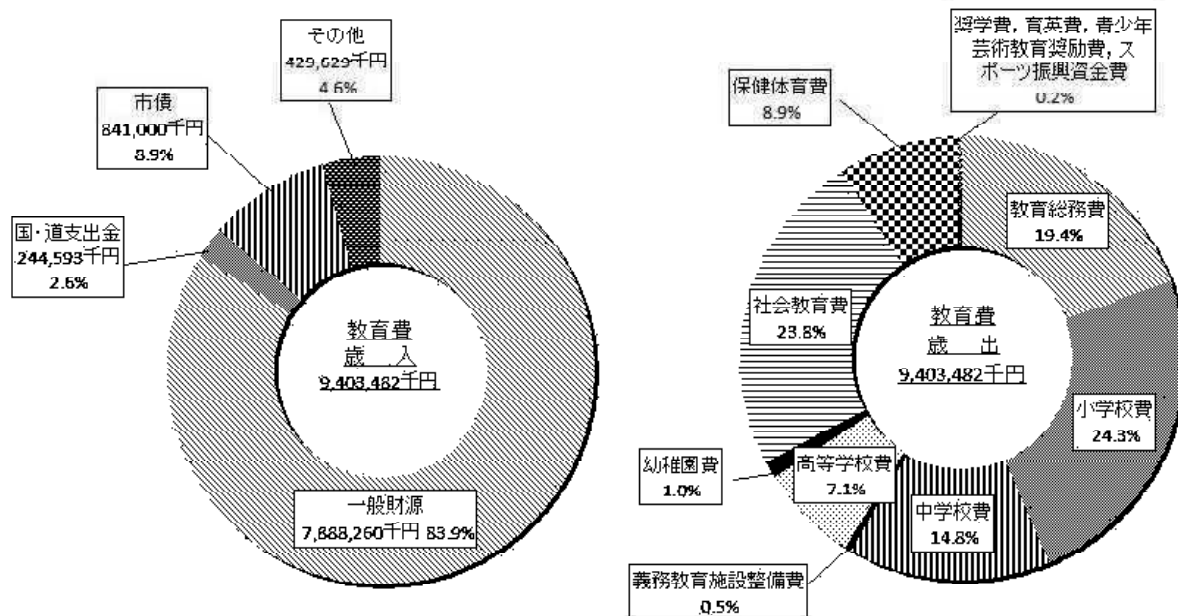
※（ ）は職員費を含んだ場合の額

(2) 教育費の推移



年 度	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5
人 口 A	22. 3. 31時点 283,301人	23. 3. 31時点 280,845人	24. 3. 31時点 277,831人	25. 3. 31時点 275,263人	25. 7. 31時点 275,457人
一 般 会 計 B	千円 129,841,287	千円 125,731,466	千円 130,844,121	千円 123,882,434	千円 129,695,000
教 育 費 C ※ 職員費含む	千円 11,079,593	千円 11,267,894	千円 11,017,877	千円 9,585,395	千円 9,403,482
市民一人当たりの経費 B/A	円 458,316	円 447,690	円 470,949	円 450,051	円 470,836
市民一人当たりの教育費 C/A	円 39,109	円 40,121	円 39,657	円 34,823	円 34,138
構 成 比 C/B	% 8.5	% 9.0	% 8.4	% 7.7	% 7.3
備 考	決 算 額	決 算 額	決 算 額	決 算 見 込 額	予 算 額

(3) 平成25年度教育費予算



分担金及び負担金	6,885千円
使用料及び手数料	360,877千円
財産収入	362千円
寄附金	45,876千円
繰入金	8,142千円
諸収入	7,487千円

項目	予算額	内 訳					
		職員費	構成比	経常費	構成比	事業費	構成比
	千円	千円	%	千円	%	千円	%
1 教育総務費	1,826,147	732,643	40.1	179,014	9.8	914,490	50.1
2 小学校費	2,285,770	823,796	36.0	1,401,474	61.3	60,500	2.7
3 中学校費	1,385,788	407,839	29.4	935,612	67.5	42,337	3.1
4 義務教育施設整備費 (小学校分) (中学校分)	50,000 (34,165) (15,835)	—	—	—	—	50,000 (34,165) (15,835)	100.0
5 高等学校費	664,829	596,299	89.7	68,530	10.3	—	—
6 幼稚園費	96,869	83,303	86.0	13,566	14.0	—	—
7 社会教育費	2,239,794	401,495	17.9	1,713,825	76.5	124,474	5.6
8 保健体育費	834,327	140,634	16.8	231,754	27.8	461,939	55.4
9 奨学費	11,455	—	—	305	2.7	11,150	97.3
10 育英費	2,400	—	—	—	—	2,400	100.0
11 青少年芸術教育奨励費	3,242	—	—	50	1.5	3,192	98.5
12 スポーツ振興資金費	2,861	—	—	561	19.6	2,300	80.4
計	9,403,482	3,186,009	33.9	4,544,691	48.3	1,672,782	17.8

(4) 平成25年度教育費予算の主な内容 (単位：千円)

生涯学習の推進

南茅部公民館整備事業費	南茅部公民館の全面改修	317,000
函館市公民館整備事業費	改修を行うための実施設計	14,700
学校開放事業経費 (文化開放)	文化開放13校	2,927
生涯学習推進費	学習機会を提供する「まなびつと広場」の実施等	1,074

文化芸術の振興・文化財の保存整備

文化芸術アウトリーチ事業費	小・中学校への芸術家派遣	2,500
市民創作「函館野外劇」開催補助金		8,000
はこだて国際民俗芸術祭開催補助金		3,000
イカール国際ミュージックキャンプ開催補助金		900
特別史跡五稜郭跡環境整備事業費	石垣調査および暗渠排水路内部調査等	20,000
史跡垣ノ島遺跡整備事業費	史跡整備に向けた発掘調査等	10,000

スポーツ・レクリエーションの振興

学校開放事業経費 (スポーツ開放)	校庭開放15校, スポーツ開放55校, プール開放21校	4,014
函館ハーフマラソン大会開催補助金	参加定員 4,000人	17,000
函館アリーナ整備事業費	実施設計	30,188
(仮称)日吉多目的グラウンド整備事業費	実施設計, もと北高校校舎等解体	330,000
新規スポーツ施設利用促進事業費	函館アリーナ・日吉多目的グラウンドへの大会誘致の推進	1,139
千代台公園陸上競技場整備事業費	第2種公認検定に向けたトラック走路等の改修	155,459
スポーツ合宿誘致補助金	実業団等のスポーツ合宿の誘致推進	1,500

義務教育の充実

学力向上支援事業費	放課後および長期休業中のアフタースクールの開設	2,531
いじめ・不登校等対策推進費	いじめ等巡回相談員1名の配置等	1,478
中学生海外派遣事業関係経費	韓国・高陽市への派遣	2,033
学校給食調理場環境改善事業費	給食調理場環境改善のための設備・備品等の導入・更新	30,000
新学習指導要領対応教材整備費	教材整備指針に沿った必要教材の整備	21,999
地域人材活用・体験学習活動費	地域人材を活用した講座の開催や体験学習の実施	7,277
校舎等耐震改修事業費	校舎・屋内運動場の耐震改修実施設計	50,000
学校給食食材検査費	学校給食用食材の放射性物質検査の実施	760

高校教育の充実

姉妹校交流推進費	韓国・高陽市白馬高校との姉妹校交流の推進	300
----------	----------------------	-----

特別支援教育の充実

特別支援教育支援員関係経費	小中学校への特別支援教育支援員の配置	42,200
特別支援教育推進事業費	特別支援教育巡回指導員2名の配置等	5,140

Ⅱ 生涯学習

1	生涯学習の推進	13
2	函館市社会教育の重点	14
3	社会教育事業の概要	
	(1) 平成25年度事業の紹介	15
	(2) 平成24年度事業の実績	30
4	社会教育・スポーツ施設の概要	
	(1) 社会教育施設の概要一覧	48
	函館市公民館・亀田公民館	50
	函館市戸井公民館	51
	函館市南茅部公民館	51
	函館市戸井生涯学習センター	52
	函館市戸井総合学習センター	52
	函館市榎法華総合センター	53
	函館市亀田福祉センター	54
	函館市青年センター	55
	函館市青少年研修センター(ふるる函館)	56
	函館市亀田青少年会館	57
	函館市戸井青少年会館	58
	函館市南茅部青少年会館	58
	函館市中央図書館	59
	市立函館博物館	60
	函館市戸井郷土館	61
	函館市恵山郷土博物館	61
	函館市重要文化財旧函館区公会堂	62
	函館市北洋資料館	63
	函館市文学館	64
	函館市北方民族資料館	65
	箱館奉行所	66
	函館市縄文文化交流センター	67
	函館市大船遺跡埋蔵文化財展示館	68
	函館市戸井埋蔵文化財展示館	68
	函館市民会館	69
	函館市芸術ホール(ハーモニー五稜郭)	70

(2) スポーツ施設の概要一覧	71
千代台公園陸上競技場	73
千代台公園野球場(オーシャンスタジアム)	74
西桔梗野球場	75
函館市戸井運動広場	75
函館市恵山運動広場	76
函館市南茅部運動広場	76
函館市日吉サッカー場	77
根崎公園ラグビー場	77
千代台公園庭球場	78
函館市南茅部市民庭球場	78
函館市民体育館	79
函館市恵山総合体育館	80
函館市古部体育館	80
函館市南茅部スポーツセンター	81
函館市民プール	82
函館市恵山プール	83
函館市南茅部プール	83
千代台公園弓道場	84
根崎公園アーチェリー場	84
函館市湯川海水浴場	85
函館市入舟町前浜海水浴場	85
函館市臼尻スキー場	86
函館市民スケート場	86
(3) 社会教育・スポーツ施設の利用状況	87
5 学校開放事業の概要	
(1) スポーツ開放事業	88
(2) 文化開放事業	89
(3) 学校開放状況の推移	90
6 財団法人函館市文化・スポーツ振興財団	91

1 生涯学習の推進

生涯学習推進の基本的な考え方

人生80年時代を迎え、市民一人ひとりが生きがいとゆとりある人生を過ごすためには、生涯にわたって学び続け、さまざまな学習や諸活動を通じて、自らを高め、心豊かなものとしていくことが大切です。

また、科学技術の進展や情報化、国際化などのさまざまな社会変化や環境、福祉、防災等の諸課題も身近なものとなっており、私たちは絶えず、新たな知識や技術などを身につけていくことが必要となっています。

生涯学習のめざすところは、子どもからお年寄りまで、多くの市民が生涯にわたり、自由で主体的な学習活動に取り組むことにより、自己の充実や豊かな人間性をはぐくみ、家庭や職場、地域全体が活性化していくことにあります。

このため、生涯学習推進基本構想では、市民の学習活動が円滑に行われ、学習成果が実を結ぶことのできるよう、6つの生涯学習推進の基本施策を設定し、行政や企業、民間教育機関、さらには家庭、学校、地域などの各分野がそれぞれの役割や機能を十分発揮し、総合的な推進体制のもとで「生涯学習社会の実現」をめざすこととしています。

《生涯学習推進の基本施策》

I 生涯学習の基礎づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたって自発的な意思で学習に取り組む態度を醸成する。 ○市民が気軽に生涯学習に取り組むための学習環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の充実 ・学校教育の充実 ・社会教育の充実 ・団体・サークルの育成
II 学習活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習関連事業の体系化や学習プログラムの研究・開発を行い、気軽に参加できる学習の場や学習機会を拡充する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習事業の体系化整備 ・多様な学習プログラムの開発 ・文化活動の推進 ・スポーツ・レクリエーション活動の推進
III 学習情報システムの整備	<ul style="list-style-type: none"> ○学習者の要望に応じた適切な情報提供と、指導・助言できる学習相談体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習情報の提供 ・学習相談体制の充実
IV 指導者の養成と活用	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な分野で市民の学習活動を支援する人材を確保し、資質の向上や活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の養成・確保 ・リーダーバンクの設置と活用 ・ボランティア活動の推進
V 学習活動施設の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ○施設運営の弾力化や事業運営の多様化など、利用者の視点に立った体系的な施設整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動施設の整備 ・学習活動施設の有効活用 ・学校施設等の開放
VI 生涯学習推進体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○行政の推進組織や市民主体で構成する組織を設置し、他の教育機関等との連携により、総合的な生涯学習推進体制を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進組織の整備 ・関係機関との連携・協力

2 函館市社会教育の重点

総括重点

「豊かな人間性を培うため、市民が意欲的に学べる生涯学習の推進に努める。」

(1) 生涯各期において、自発的で充実した社会教育活動の奨励に努める。

- ① 生涯各期に対応した系統的な事業実施と自発的な活動の促進
- ② 学習活動を奨励・援助するための学習情報の提供と学習相談体制の充実
- ③ 各種学習グループ・サークルや活動団体の育成
- ④ 社会教育施設の整備や学校の文化開放による学習活動の場の充実



高齢者大学

(2) 潤いのある個性豊かな芸術・文化活動の振興と文化遺産の保護継承に努める。

- ① 芸術活動や文化事業の振興と各種文化団体の育成
- ② 多面的な国際交流の促進と民間交流団体の自主的活動の促進
- ③ 文化財の保存整備や伝統的建造物群の保護対策推進
- ④ 文化施設および文化財の教育的活用と郷土愛の醸成



函館市民文化祭

(3) 健康の保持・増進のため、進んで参加できるスポーツや余暇活動の振興に努める。

- ① 各種体育・スポーツ行事の充実とスポーツ活動への支援
- ② ニュースポーツやレクリエーションの振興と啓発
- ③ スポーツ振興基金による指導者の育成、団体への助成
- ④ 体育・スポーツ団体およびクラブの育成
- ⑤ 社会体育団体等における指導者の育成と確保
- ⑥ スポーツ施設等の整備充実と学校開放の推進



函館ハーフマラソン大会

3 社会教育事業の概要

(1) 平成25年度事業の紹介

1 生涯学習部生涯学習文化課

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
HAKODATE まなびっと広場	市民の多様な学習活動を単位認定という形で応援することで、より一層の生涯学習の推進を図る。	小学生～一般	通年
まなびっと2013 体験講座	生涯学習を始めるきっかけ作りと経験、知識等を持つ方を学びたい方へ紹介する。	小学生～一般	4～3月(毎月1回) 8月上旬(イベント)
学習情報・指導者情報等の提供	リーダーバンクの設置、学習情報・社会教育関係活動情報の提供。(プチまなびっとの発行、インターネットホームページにより情報提供)	一般市民	通年
成人祭	成人としての自覚と認識の高揚を図るとともに、新成人を祝福、激励する。	新成人	1月13日
ウィークエンド・サークル活動推進事業	特別支援学級に在籍する児童生徒に体験活動の場と機会を提供し、ボランティアの大学生・高校生等とのふれあいの中で、学校外活動を推進する。	小・中学生	8～12月
家庭教育支援事業	子育て中の親や家庭教育に携わる人を対象に、セミナーを開催し、家庭の教育力の向上を図る。	家庭教育関係者一般	通年
社会学級	教養と知識・技術等を学びあい、コミュニケーションを深め生涯学習に資するため、市内小・中学校を学習の場として開設。	一般成人	通年
社会教育関係団体の育成	社会教育関係事業・活動に対する後援、委員会賞の交付。	社会教育関係団体等	通年
青少年芸術教育 奨励事業	青少年の文化・芸術活動の一層の振興を図るため、文学・美術・書・音楽の4部門から作品を募集し、函館市青少年芸術教育奨励賞を授与するとともに、各部門金賞受賞者を視察研修に派遣する。	市内在住、もしくは市内に所在する学校へ通学する小学生～高校生	7～11月
函館市文化賞表彰	函館市の文化向上に功績のあった個人・団体を表彰する。	一般市民	11月3日
学校開放事業(文化開放)	小・中学校(13校)の特別教室等を開放し、市民にサークル活動の場を提供する。	一般市民	通年
文化芸術活動団体の育成	文化芸術関係事業・活動に対する後援および委員会賞の交付を行う。	一般市民	通年
五稜郭ゆかりのまち 交流事業	星形城郭「五稜郭」を有するまちとして「五稜郭ゆかりのまち協定」を締結した長野県佐久市との交流事業を展開する。	一般市民	通年
文化芸術アクトリーチ事業	子どもたちが文化芸術に触れる機会を拡充し、文化芸術活動の楽しさや素晴らしさを体感してもらうため、学校へ活動者等を派遣し、豊かな創造力の育成を図る。	市内小中学生	6～3月

2 公民館・亀田公民館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
公民館講座	市民の自ら学ぼうとする学習意識の高揚と、仲間づくりなどによる潤いのある生活、教養の向上、健康の増進、感性の醸成を図ることをねらいとして開設する。		
	子ども絵画教室	小学生	6～9月
	子ども公民館講座(絵手紙教室・土鈴づくり体験・書き初め会・囲碁教室)	〃	5～1月
	親子陶芸教室(1期, 2期)	親子	8月～12月
	家庭教育学級～親子体操	〃	9月
	郷土の歴史教室	一般市民	7～11月
	コーラス入門講座	〃	6～7月
	陶芸入門講座(水曜教室, 木曜教室, 金曜教室)	〃	5～7月
	陶芸入門講座(夜間)	〃	7～8月
	パソコン入門講座(1期, 2期)	〃	1月
	きもの着付け講習会(1期, 2期)	〃(女性)	7・12月
	ボランティア育成講座	一般市民	9～12月
	くらしの講座	〃	5～8月
	子ども公民館講座(書き初め会)	小学生	1月
	家庭教育学級～親子でダンス	親子	6～8月
	初歩の絵手紙教室	一般市民	4～3月
	いきいき教室	〃	5～8月
ドラジュフラワーとラッピング体験講座	〃	10～11月	
押し花基礎講座	〃	5～6月	
ビーズクラフト体験講座	〃	7～8月	
小筆に親しむ講座	〃	8～9月	
初歩のきもの着付け教室	〃(女性)	5～10月	

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
函館市高齢者大学 青柳校・湯川校	高齢社会が進む中、高齢者における「生涯学習」の重要性が求められていることから、社会の複雑な変化に対応できる能力や、家庭生活・社会生活に果たすべき役割を学ぶとともに、豊富な経験や知識を社会に還元することを目的とする。	高齢者 (満60歳以上の市民)	5～11月
異世代音楽交流会	高齢者大学コーラスクラブと青柳小学校3,4年生による交流会	高齢者・小学生	10月
公民館講座受講生 作品展	日頃の学習成果を発表することにより、互いの学習意欲の向上を図る。公民館事業の周知と生涯学習の推進を目的とする。	講座受講生	3月

3 青少年研修センター(ふるる函館)

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
宿泊型プログラム	春だあ！野草の白玉団子 お泊り会 ジュニアボランティア お泊り会(初夏) アウトドア体験いっぱい！ファイヤーキャンプ 秋だあ！アップルパイ祭り お泊り会 国際交流だあ！ お泊り会 X'mas キャンドルづくり！お泊り会 冬だあ！テントで冬眠？スノーキャンドル！ お泊り会 ジュニアボランティア お泊り会(冬)真っ暗のなかの共生学習 青年ボランティア養成宿泊研修	小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 高校生以上	5月18～19日 6月8～9日 9月7～8日 10月26～27日 11月23～24日 12月21～22日 1月25～26日 2月15～16日 2月15～16日
日帰り型プログラム	はこだて国際民俗おやつパーティー 激写！ピンホールカメラ 秘密の要塞！函館山探険隊 ビー玉で遊ぼう！コリントゲーム器づくり 親子で体験！子育てを楽しもう 光る！貯める！魔法のペンでカレンダーづくり	小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生・その保護者 小中学生	4月21日 5月4日 6月1日 8月3日 11月10日 12月1日
ボランティア育成に 関わる研修講座	子どもだってボランティアは楽しい ときどきボランティア講座	小中学生	10月6日
その他	ふるる祭 2014	一般市民	3月9日

4 青年センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座	心身からリラックス～ヨガ教室 美しいくびれを手に入れる！ベリーダンス 腰痛、肩こりにも効く！骨盤矯正ストレッチ教室 しなやかに美しい身体を目指す！ピラティス教室 手打ちそば教室 陶芸教室 小学生限定！陶芸1日体験教室 小学生限定！陶器の風鈴を作ろう！ 夏休み自由研究特別教室 キッチンサイエンス 新そば入荷しました！手打ちそば教室 冬休み自由研究特別教室	一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 一般市民 小学生 小学生 小学生 一般市民 一般市民 小学生	4～5月,11～12月 6月,10月 6月 6～7月,2～3月 6～7月 6月,2月 7月,12月 7～8月 8月 8月 11月 1月
若者の居場所づくり に関する事業	無料コミュニティ・カフェ「ダベリ Bar」	高校生	通年
その他	ミニ四駆競技大会 七夕イベント 国際交流のつどい NPOまつり 2013青年センターフェスティバル 青年戦隊クリーンレンジャー 地球まつり 初笑い！夢助落語会	小学生以上 一般市民 青年と外国人留学生 一般市民 一般市民 青年 一般市民 一般市民	5月12日,1月26日 7月7日 8月29日 9月1日 9月8日 10月6日 11月2日 1月13日

5 亀田青少年会館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座	折り紙でつくるこいのぼり キャンドルナイト 折り紙七夕かざりづくり 花壇菜園づくり 電子ろうそくづくり 亀田川のいきものをさがそう	主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 全利用者・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者	4月28日 6月23日 6月30日 6月 7月27日 7月28日

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座	タオル犬づくり 風鈴づくり まちかど探検隊 バスバイク イカ墨染色教室 手品ショー 折り紙でつくるクリスマスかざり 万華鏡づくり 風力発電機づくり ランプシネードづくり 折り紙でつくるおひなさま キッズコンサート	主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 全利用者・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生・保護者 全利用者・保護者	8月4日 8月11日 9月 10月12日 11月 12月 12月 12月 1月 1月 1月 2月 年6回
指導者の養成 および団体活動の 育成	青少年活動団体との共催事業	主に小学生・保護者	通年
職業、交友、健康そ の他の生活相談	子ども会議 子育てカフェ	主に小学生 保護者	3月 年6回
若者の居場所づくり	ジャンケン大会 ○×クイズ大会 逆ジャンケン大会 お誕生会 たなぼたまつり ミニキャンプ もちつきの集い フリースロー大会 外遊び	全利用者・保護者 全利用者・保護者 全利用者・保護者 全利用者・保護者 主に小学生・保護者 主に小学生 全利用者・保護者 主に中学生 主に小学生・保護者	毎月第1土曜日 毎月第2土曜日 毎月第3土曜日 毎月第4土曜日 7月7日 8月 12月 年12回 毎週土・日曜日
自主事業	お花見 菜園収穫祭	全利用者・保護者 全利用者・保護者	5月5日 11月
その他	ボランティア通貨の発行 プチブックスタート	全利用者・保護者 未就学児童	通年 お誕生会

6 亀田福祉センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
函館市亀田老人大学	高齢社会が進む中、高齢者における「生涯学習」の重要性が指摘されていることから、高齢者の学習意欲に応え、社会の変化に対応できる能力を身につけ、その豊富な経験や知識を家庭や地域社会で生かすべく学習することを目的とする。	高齢者 (満60歳以上の市民)	4～11月
子どもチャレンジ教室	折り紙ヒコーキの不思議 空気砲の不思議 紙プーメランの不思議 熱気球の不思議 マジック トランプ編 マジック お楽しみ編 空手に挑戦 夏休み作品！タイルクラフトに挑戦 歯ブラシで作ろう！振動ロボット 楽しくヒップホップ 英語教室①～③ 親子でプラモ(ワイルドミニ四駆) 親子で簡単指編みマフラー 餅つき 親子参加 書初め マット運動 桜餅づくり べこ餅づくり	小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小学生 小学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小中学生 小学生 小学生 小中学生 小中学生	4月 4月 5月 5月 6月 6月 7月 7月 8月 9月 10月～11月 11月 12月 12月 1月 2月 3月 3月
教養講座	ベビーマッサージ 盆栽入門 ヨガ 浴衣着付教室 初級韓国語教室 男の料理教室 男のストレッチ 大人の折り紙教室 超初級パソコン講座	母親と赤ちゃん 18歳以上 18歳以上 高校生以上 18歳以上 18歳以上 18歳以上 18歳以上 18歳以上	4月20日 5月26日 6月29日 7月7・14・21日 8月28・29日 9月 10月 10月 11月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
教養講座	初級パソコン講座	18歳以上	12月
	函館の歴史・文化を学ぶ	18歳以上	1月
	太極拳	18歳以上	2月
	「ボランティア講座」点字入門	18歳以上	3月
	お気軽体操ストレッチ前期コース	18歳以上	4月～9月
	お気軽体操ストレッチ後期コース	18歳以上	10月～3月
	わくわくエクササイズ前期コース	18歳以上	4月～9月
	わくわくエクササイズ後期コース	18歳以上	10月～3月

7 生涯学習部スポーツ振興課

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
函館ハーフマラソン大会&コミュニティランニング	日本陸上競技連盟公認コース(21.0975km)によるハーフマラソン大会および0.4～5kmのコース設定による市民健康マラソン大会を行う。	一般市民	9月
学校開放事業	学校の体育施設を地域のグループなど市民の自主的スポーツ活動や子どもの遊び場に開放する。 (1) 校庭開放 15校 (2) スポーツ開放 54校 (3) 遊泳開放 21校	一般市民	通年 (遊泳開放は夏休み期間の土日)
海水浴場設置	市内に海水浴場を設置し、夏期のスポーツ・レクリエーション活動の場を提供する。(湯川, 入舟町前浜)	一般市民	7～8月
スポーツ関係団体の育成	スポーツ関係事業・活動に対する後援・奨励。	一般市民	通年

8 博物館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
博物館講座「自然科学」 (単講座)	宇宙と天体シリーズ 「春の星座を見てみよう」「夏の星座を見てみよう」 * 星座観測の基礎を学び函館で見える星座を天体望遠鏡などで観測する。	小学生と保護者	5月7月
	地域の身近な自然を調べる「浜辺の漂着物を調べよう」 * 砂浜に打ち上げられた漂着物を観察することで、漂着物や海の役割について考える。	小・中学生と保護者	6月
	親子で学ぶ「不思議な石 石灰石」 * 石灰石を使った実験をとおして、鉱物について考える。	小4～中学生と保護者・一般	6月
	夏休み自由研究「鉄道車両の仕組みとJR見学会」 * 普段利用している鉄道車両の仕組みを JR 運転所を見学しながら体験する。	小・中学生と保護者	7月
	わくわく科学教室「ドライアイスで遊ぼう」 * ドライアイスの役割を学びながら、どうい物質かについて考えてみる。	小学生	7月
	わくわく科学教室「親子でなき砂を作ろうーシリカゲルって何ー」 * 水や水分を操ることにより、物質がさまざまに変化することを実験を通じて学ぶとともに、なき砂を作る。	小4～中学生と保護者	8月
	夏休み自由研究「ピンホールカメラを作ろう」 * ピンホールカメラを作り、写真のとり方の原理を学びます。	小4～中学生と保護者	7月
	わくわく科学教室「親子でイカを科学する」 * 函館市の魚であるイカの解剖を通して、その見方や考え方について学習する。	小・中学生と保護者	11月
	わくわく科学教室「もしも原子がみえたなら」 * 原子・分子について考えながら、併せて1億倍に拡大した模型を発泡スチロールで製作する。	小学生と保護者	1月
博物館講座「考古」 (単講座)	「黒曜石で矢じりを作ろう」 * 旧石器人・縄文人と同じ方法で石器を作り、当時の生活用具加工術や狩猟について学びます。	小4～小6と保護者	8月
博物館講座「民族」 (単講座)	学芸員こぼれ話「函館博物館の民族資料」 * 函館博物館が所蔵するアイヌやアリュートなどの民族資料の来歴などについてお話しします。	一般市民	5月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
博物館講座「民族」 (単講座)	親子でクッキング！「アイヌの伝統料理」 *親子でアイヌの伝統料理を作り、試食します。(アイヌ文化活動アドバイザー派遣事業)	小4～中学生と保護者	7月
	学芸員こぼれ話2「函館にくらしたアイヌの人々」 *これまであまり認識されてこなかった、函館にくらしたアイヌの人々についてお話しします。	一般市民	10月
博物館講座「歴史」 (単講座)	学芸員こぼれ話3「小島倉太郎の奇妙な冒険」 *明治初期の函館でロシア語通訳として活躍した、小島倉太郎の冒険譚についてお話しします。	一般市民	1月
博物館講座「美術」 (単講座)	美術鑑賞会 蠣崎波響 *生誕250年を記念し、蠣崎波響の作品を、茶室で鑑賞します。	一般市民	5月
	体験！日本画教室 日本画家安積徹氏の指導のもと、初めての日本画に挑戦してみよう。	一般市民	7月
	親子でつくる「ペタペタアート」 *ポスターなどの身近にある紙の素材を持ち寄り、それをちぎって紙を貼り、一つの絵を完成させる。	小学生と保護者	7月
博物館講座「民俗」(単講座)	夏休み自由研究「昔の生活を調べよう」 *戦前・戦後の生活を写真や道具、お年寄りの話を参考に調べます。	小学生(保護者同伴可)	8月
博物館講座 企画展「新島襄と幕末の箱館」 関連講座(単講座) 主催 同志社大学／共催 函館市教育委員会	講演会「新島襄・八重と函館」 *作家の福本武久氏をお迎えし、新島襄・八重と函館との関わりについてお話いただきます。	一般市民	6月
博物館講座 「旧函館博物館1号公開」	「旧函館博物館1号公開」 *1879年5月25日開場の旧函館博物館1号が、1日限り当時の姿で蘇ります。	一般市民	5月
博物館講座「自然科学」 (通年講座)	自然観察入門講座「自然の物知り博士を目指そう」 *函館山を中心に植物・鳥類などを四季を通して観察を行い、自然観察の方法を学ぶとともに、函館で見られる生きものの分布図を作る。	小3～一般市民(小学生は保護者同伴)	4～3月
	四季の星空観測講座「函館・四季の夜空観測」 *天体観測の基礎知識を学び、函館市内から見える星座・惑星を四季を通して実際の夜空を天体望遠鏡・双眼鏡などで観測し記録していく。	小4～一般市民(小学生は保護者同伴)	5～1月
企画展	「函館商人の人生模様」 *北前船で日本海を舞台に活躍した船乗りが、函館の地に錨を降ろし新たな舞台で人生を展開する様子を、残された記録から読み解き、垣間見える函館商人の知られざる姿を紹介します。	一般市民	4～5月
企画展	「新島襄と幕末の箱館」 *幕末にアメリカに渡り、後に同志社大学を創設した新島襄の生涯と業績を、幕末に繁栄した開港地「箱館」と共に紹介します。	一般市民	6～9月
企画展	「新収蔵資料展」 *平成24年度に新たに博物館に収蔵された資料を一堂に展示公開する。	一般市民	9～11月
展示解説セミナー	「函館商人の人生模様」 「新島襄と幕末の箱館」 「新収蔵資料展」	一般市民	4月・5月 6月 9月
館報「サラニップ」の発行	博物館の業務、事業、資料関係に係る機関に周知する。	関係機関	3月
「研究紀要」の発行	博物館活動の一環である学芸員などの研究成果を発表する。	関係機関	3月

9 中央図書館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
絵本等の読み聞かせ	絵本の読み聞かせと紙芝居を実施する。	幼児・児童	通年
えほんふれあい事業	市立函館保健所が行っている乳幼児10ヶ月児健診を受診する親子を対象に「おすすめ絵本」冊子を配布し、ボランティアによる読み聞かせを行う。	乳幼児・父母	通年
郷土の歴史講座	郷土史に関する各種テーマについての講義を行う。	一般市民	随時
市民文芸作品の募集	小説・詩・俳句・短歌など文芸8部門の作品募集と作品集の刊行。	一般市民	7～9月募集
点訳奉仕者養成講座	図書館等における点訳奉仕活動を志す市民を対象に、視覚障がい者等の利用者サービスに必要な点字を打つ基本作業を学ぶ。	一般市民	6～8月
初心者のための読み聞かせ講座	読み聞かせの基礎や絵本の選び方を学ぶ。	一般市民	6～8月
夏休み子ども図書館員	小学校高学年（5・6年生）の生徒を対象に図書館の仕事を体験してもらい、図書館の仕組みや本の調べ方などを学ぶ。	生徒	7・8月
図書館利用者講座	図書館の上手な利用の仕方や資料の調べ方などを学ぶ。	一般市民	10月
中央図書館開館記念イベント	11月27日の開館記念日の前後に講演会や読み聞かせ会などのイベントを実施し、図書館利用の促進を図る。	一般市民	11月
図書館 de クリスマスⅧ	クリスマスに合わせた上映会や読み聞かせ会、クリスマスカード製作体験など親子で楽しめるイベントを実施する。	児童・父母・一般市民	12月
図書館ボランティア養成講座	図書館ボランティアを目指す市民がボランティアの基礎、役割、実技を学ぶ。	一般市民	2月

10 縄文文化交流センター

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
縄文体験講座	縄文時代の人々のくらしを楽しみながら体験することにより、縄文文化を通じた交流活動の促進を図る。 ・ミニチュア土器づくり ・カックウの顔づくり ・土笛づくり ・縄文ペンダントづくり ・縄文編み ・組紐アクセサリーづくり ・拓本とり	一般市民	通年
	・夏休み、冬休み限定 縄文体験メニュー 上記に加え、夏休み・冬休み限定の縄文体験メニューを実施する。	一般市民	7月下旬～8月中旬、12月下旬～1月中旬
縄文体験定期講座	「海浜学習体験～縄文人が食べていた貝を探そう～」 海岸の清掃活動をした後、縄文時代の職について学習し、岩場の生物を観察する。	一般市民	5月
	「縄文染め」(年4回) 縄文文化を育んだ豊かな自然の植物から抽出した染料液でハンカチを染める。	一般市民	5・7・10・1月
縄文体験定期講座	「鹿角釣り針づくり」(2回) 縄文時代の人々も使っていた鹿角の釣り針を作り、海釣り体験を行う。 ・第1回 鹿角で釣り針をつくろう！	一般市民	6月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
縄文体験定期講座	・第2回 わくわく海釣り体験	一般市民	6月
	「土器づくり」(3回) 縄文土器についての知識を学び、実際に縄文土器を作成する。 ・第1回 縄文土器について ・第2回 縄文土器づくり ・第3回 土器野焼き体験	一般市民	9月・10月

1.1 市民会館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
鑑賞型事業	ざいだん出前コンサート 春風亭一之輔のドッサリまわるぜ2013 地中海の情熱ミロシユ・ギター・リサイタル 山田和樹指揮横浜シンフォニエッタ函館特別公演 劇団四季ソング&ダンス60 感謝の花束 函館公演 寺内タケシとブルー・ジーンズ スーパーコンサート2013 札幌交響楽団ニューイヤーコンサート	一般市民	5~9月 5月26日 7月11日 9月11日 10月24日 10月31日 1月16日
育成学習型事業	函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ育成事業 函館ダンスフェスティバル2013 伝説のダンサーMASAOによるワークショップ ざいだん「邦楽こども教室」 函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ第14回定期演奏会 ざいだん「邦楽こども教室」 冬期短期コース 春期短期コース	小~高校生 小・中学生 小学生 一般市民 小・中学生 小・中学生	4~3月 6月1日 6~2月 9月29日 1月5~9日 3月25~29日
奨励型事業	函館ダンスフェスティバル2013 予選大会 FINAL	一般市民 一般市民	6月1日 6月2日
参加創造型事業	市民文化祭 舞台芸術部門 函館市民ミュージカル 「伝言~時のかなたより~」 展示部門 函館アートフェスティバル ステージパフォーマンス ワークショップ	一般市民	11月10日 11月7~11日 11月9日 11月9日
広報事業	財団ニュース「ステップアップ」の発行 市内および近郊の文化・スポーツ情報の提供機関誌	一般市民	毎月1日発行 30,000部

1.2 芸術ホール (ハーモニー五稜郭)

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
鑑賞型事業	リサイタル・シリーズ 岡本知高 Concerto del Sopranista 2013 大谷康子ヴァイオリン・リサイタル 及川浩治ピアノ・リサイタル 函館市芸術ホール開館15周年記念 高嶋ちさ子&加羽沢美濃カジュアルクラシックス 函館市芸術ホール開館15周年記念 宝くじ文化公演 加藤健一事務所「モリー先生との火曜日」 函館市芸術ホール開館15周年記念 川井郁子 with 西村由紀江 ウィンター・コンサート 2014 スプリング・コンサート 第1回 ぶふらっとコンサート SPECIAL 第2回 宮崎加奈古&菅原久仁義ジョイントコンサート 函館市芸術ホール開館15周年記念 綾戸智恵ライブ	一般市民	5月12日 6月22日 8月30日 7月31日 8月6日 12月13日 1月26日 2月11日 1~3月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
育成学習型事業	ステージラボ 2013 バックステージツアー 入門編 親子編 弦楽クリニック ステージラボ 2013×北海道舞台塾シアターラボ レッツ!ワークショップ 演技編 ヴォイストレーニング編 声優編(トーク&ワークショップ) シアターラボ函館 フリー稽古場 シアターラボ函館 本公演	一般市民	5月14日 7月23日 7~2月 8月10日 10月11~12日 11月2日 未定 3月2日
参加創造型事業	市民文化祭 展示部門「清秋・函館市文団協芸術展」 「ぶんだん秋の庵」 舞台芸術部門「華麗・錦秋の夕べ」	一般市民	10月31日 ~11月4日 10月31日 ~11月4日 11月3日
奨励型事業	ハコダテライヴステージ「五稜郭街舞台」 音楽ライヴ編 ダンス・パフォーマンス編 スペシャルライヴ 函館新人演奏会~音楽の新しい風~ HAKODATE WINTER JAZZ FESTIVAL 2013 ステージラボ 2013 コンプレックス・シアターVol.2 コンプレックス・シアター ゲスト公演 メモリアル・コンサート・フォー・ユーVol.16 市民美術展第14回「はこだて・冬・アート展」	一般市民	6月15日 9月14日 2月9日 7月20日 12月23日 12月3~8日 12月7日 1月11日 3月2~9日

1.3 北洋資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
第19回 函館の「海と港」 児童絵画展	市内の小学生から「海と港」に係わる絵画を募集し、展示することにより、多くの市民、特に次世代を担う子どもたちに「海と港」の重要性を認識してもらうことを目的に開催する。	市内の小学校に在学する児童	7月21~27日
北洋資料館講演会 「北洋漁業と 古き良き函館」	戦前から戦後にかけて盛業した北洋漁業、戦後の函館の復興を担った北洋漁業が終了して20年を経た現在、北洋漁業の歴史、そしてその時代背景を貴重な写真や動画を通して講演を行い、賑わいのあった古き良き函館を共感していただくと共に、北洋漁業への興味関心を高め、さらなる北洋資料館の認知と来場者の増員を図ることを目的に開催する。	一般市民	7月28日

1.4 北方民族資料館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
体験学習講座 ムックリ製作・演奏体験	アイヌ民族の伝統的な楽器である、ムックリ(口琴)の製作・演奏体験をとおして、アイヌ文化に対する理解を深める。	小学4年生以上	4～3月
体験学習講座 北方民族文様の切り紙 細工体験	アイヌ民族やサハリンのウイльта民族の伝統的な文様を、手軽に切り紙細工で再現することによって北方民族の文化に触れる。	一般市民	4～3月
収蔵資料展 「北の神々と靈魂の世界 -祈る・占う・信じる-」	函館市北方民族資料館には、明治以来収集されてきたアイヌ民族資料をはじめ、北方民族の生活用具、考古学資料など、世界的に貴重な資料が収蔵されている。これらのコレクションの中から、これまで紹介する機会の少なかった資料に視点を当て展示・紹介する。	一般市民	7月27日 ～11月4日
夏休み自由研究 「親子体験 北方民族文様の切り紙細工をしよう」	アイヌ民族やサハリンのウイльта民族に伝わる美しい文様を、切り紙細工で再現し、親子で北方民族の文化を体験する。	小学生と保護者	8月3日
アイヌ文様木彫り教室	アイヌ民族の伝統工芸である木彫りに施された彫刻について、技法や文様などを作品作りをとおして学ぶ。	一般市民	9月7～8日
アイヌ文様 刺しゅう教室 初級編	アイヌ民族伝統の着物や服飾品などに美しく施された刺しゅうについて、技法や文様について作品作りをとおして学ぶ。	一般市民	10月5～6日
アイヌ文様 刺しゅう教室 入門編	アイヌ民族伝統の着物や服飾品などに美しく施された刺しゅうについて、技法や文様などを作品作りをとおして学ぶ。	一般市民	10月7日
ミュージアム・トーク 「カムイ(神)と交流する、 ひと・もの・心」	アイヌ民族をはじめ北方民族の歴史や文化について、第一線の研究者を招いて研究成果をわかりやすく講演してもらう。	一般市民	11月2日

1.5 文学館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
文学館企画展	「石川啄木の遺児たち」 企画コーナー「収蔵資料展」～新井満筆「希望の木」と道南ゆかりの作家の資料初公開 石川啄木直筆資料展 「明治40年9月の書簡(札幌)より」	一般市民	4～10月 9～11月 10～4月
チャリティーイベント 3・11を忘れない! 新井満さんの講演と朗読 と歌唱の午後 「千の風から希望の木へ」	2011・3・11東北地方太平洋沖地震が発生して、早3年目を迎えた。函館と岩手県は、啄木を通して深いつながりがあり石川啄木記念館とも長年交流を続けてきている。この度「一本松」を擁する陸前高田市を応援しようと、作家・作詞作曲家の新井満氏の呼びかけにより開催する。	一般市民	7月7日
函館・盛岡啄木交流 かるた大会	市内小学校の児童に「啄木かるた」に挑戦しながら、石川啄木について興味と親しみを持ってもらうことを目的として実施する。 また、優勝チームを盛岡市に派遣し、盛岡市児童との「啄木かるた大会」等の交流や、啄木ゆかりの地の見学で見聞を深める。	小学生	7月27日
石川啄木講座	「真似し小僧・啄木」	一般市民	8月17日
自由研究	「クイズ・石川啄木と函館」 「さし絵に挑戦!」	小学生	7～8月 1月10日

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
文学の夕べ	第1回「函館で小説を書くこと」 第2回「司馬遼太郎と函館」 第3回「啄木の遺児 京子・房江」 第4回「大正期函館モダン文化と長谷川海太郎 “一人三人のモンスター” 誕生の謎に迫る」 第5回「野田高梧と『東京物語』 ～小津安二郎とともに～」 第6回「啄木のリズム」 特別企画「朗読で綴る函館の文学 VOL.9」	一般市民	6月11日 8月6日 9月3日 10月15日 11月12日 2月1日 2月22日
文学館講演会	「作家・谷村志穂文芸講演会」	一般市民	9月14日
文学紀行	「伊豆路の文学探訪の旅～文豪たちが愛した伊豆を訪ねて～」	一般市民	10月25～27日
連続講座 「函館・文学の散歩道」	全3回	一般市民	9～12月

16 重要文化財旧函館区公会堂

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
プロムナードコンサート	来館者にヴァイオリンやピアノの生演奏を聴いて楽しんでもらうとともに、公会堂のよさを知ってもらう。	来館者	5～9月
公会堂コンサート	弦楽器、ピアノ、合唱等のミニコンサート(28コンサート)	一般市民	6～10月
高校生によるお茶会	函館西高等学校茶道部のお手前を披露するとともにお茶を振る舞う。	一般市民	9月14日
公会堂コンサート 30回記念ステージ	昭和59年9月に第1回目の公会堂コンサートが開催されて以来、本年度が第30回目に当たることから記念コンサートを開催する(ヴァイオリン演奏・独唱)	一般市民	9月28日

17 市民プール

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
ワンポイントレッスン	水泳教室に定期的に参加できない人や上達を目指し個人レッスンを受けたい人を対象に1教室3名の教室を開催する。	一般市民	4～3月
水泳教室	「市民水泳教室」(午前の部・午後の部) 「サタディナイトコース」 「きっちり4泳法マスターコース」 「きっちり4泳法ナイトコース」 「パワフルスイム」 「バラエティ水曜コース」 「バラエティ金曜コース」 「専科コース」 「少年少女わんぱく水泳教室」 「ウォータビクス教室」 「ウォータビクスナイト教室」 「ロング50マスターコース」 「水中ウォーキング」(昼の部・夜の部) 「ゆっくりゆっくり水泳教室」 「幼児の水遊び教室」 「少年少女4泳法マスターコース」	満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 小学生 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 満18歳以上 4・5歳児 小学3年生～中学生	4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月 4～3月
市民プールまつり	幼児、小・中学生、父母と一緒に楽しめる各種レクリエーションを行う。25m・50m・幼児プールは無料開放する。	一般市民	9月1日
市民水泳記録会	参加者のタイムを大会と同様の計器類により計測し、意欲の向上を図る。	小学生以上	12月8日

18 市民体育館

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
スポーツ教室	「ジュニア室内サッカー」(1~3年生・4~6年生) 「シニアスポーツ」 「親子体育」(午前・午後) 「わんぱく」 「ミニバスケット」 「やさしい筋力アップストレッチ」 「心身リフレッシュ体操」 「ソフトバレー」	小学生 一般市民 幼児と保護者 小学生 小学4~6年生 一般市民 一般市民 一般市民	4~3月 4~3月 4~11月 4~3月 4~3月 4~3月 4~11月 4~10月
市民スポーツ研修会	旬な話題を取り上げ、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツ指導者のより一層の研修意欲を盛り上げる研修会を実施し、市民の知識を深め資質の向上を図り、スポーツ活動のさらなる促進と活性化を図る。	一般市民	5月29日
セルフコンディショニング研修会	コンディショニングトレーナーである有吉与志恵氏を講師に招き、一般市民を対象にセルフコンディショニング研修会を開催し、健康・体力の保持および増進の運動啓発に寄与する。	満18歳以上の一般市民	7月21日
レバンガ北海道バスケットボールクリニック	北海道唯一のプロバスケットボールチームであり、道南出身の野口大介選手も所属しているレバンガ北海道を招聘し、昨年に引き続きバスケットボール教室を開催する。今年は、選手兼経営者でもある折茂武彦氏を招き、バスケットボール競技の人口の拡大を図るとともに、函館市のスポーツ振興に寄与する。	小学生~一般 (一般募集なし)	7月13日
市民スポーツ講演会	選手兼経営者としてご活躍の、レバンガ北海道の折茂武彦氏を招き、幅広くスポーツに関心のある方を対象とした講演会を開催する。日本一と称される3ポイントシューターとして、昨シーズン前人未踏の8,000得点を達成し自身の記録を更新。選手兼経営者としての活躍の裏側など、バスケットボールに対する熱い思いを語っていただく。	一般市民	7月13日
古田史朗のバレーボール塾	函館市出身で昨年までV・プレミアリーグの東レアローズ男子バレーボール部に所属し、全日本代表選手としても国際大会で活躍した古田史朗氏を招き、小学生を対象とした夏休み短期集中型の教室を開催する。子どもたちの運動不足解消とともに、函館市のスポーツ振興に寄与する。	小学生	7~8月
初めてのヒップホップダンス教室	「国際バルスリズムトレーナー」の資格を持ち、ダンスの国際大会で優勝経験のある、石井ちえ氏を招き、小学生を対象とした夏休み短期集中型の教室を開催する。夏休みの子どもたちの運動不足解消を図ると共に、函館市のスポーツ振興に寄与する。	小学生	7~8月
函館市地域スポーツ指導員育成研修講座	函館市内においてスポーツ活動を実践しているグループやクラブの指導者、これから指導者を目指そうとしている方々を対象に、スポーツ指導における基礎的な理論、技術、導入の方法等についての講座を設け、学校開放や町会、職場、一般サークルなどで指導にあたる指導者の育成を図る。	函館市民で 満25歳以上の健康で指導者を 目指している方	9~11月
momちゃんダイエット・フィギュアロビクス研修会	「momちゃん(美しい肉体)」という新造語を作り上げ、韓国に運動シンドロームを起こした韓国を代表するトレーナーのチョン・ダヨン氏が独自の理念のもとに開発した「フィギュアロビクス」。筋肉運動と有酸素運動を複合させたその新概念のサーキットプログラムをチョン・ダヨン氏の愛弟子である、森村康代氏を講師に招き「フィギュアロビクス」の理論と実践を学ぶことにより、市民の健康・体力の保持および増進を図る。	満18歳以上の一般市民	10月13日
ふわふわアドベンチャー in 函館市民体育館	バルーン製の巨大滑り台やジャンプ台、キャラクタードームなどの「ふわふわ」を体験してもらう中で、親子の触れ合いを目的とする。冬期間の運動場所の確保という観点からも函館市のスポーツ振興に寄与する。	小学生以下の子 もとその保護者	11月2日~ 11月4日

1.9 千代台公園野球場（オーシャンスタジアム）

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
プロ野球パ・リーグ公式戦「北海道日本ハムファイターズVS埼玉西武ライオンズ」	プロ野球の観戦を通して、スポーツの振興と発展を図る。	一般市民	7月17日
第5回オーシャンスタジアム杯少年野球大会	野球少年の憧れの球場であるオーシャンスタジアムで野球を楽しみ、競技力の向上・チームの結束を高めるとともに、地域スポーツの活性化を図る。	小学生の野球チーム	10月5日 10月12日

2.0 千代台公園庭球場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
テニス教室（第1期・第2期、昼・夜コース）	テニスを通して健康・体力づくりとスポーツの振興充実を図る。	18歳以上	5～6月 9～10月

2.1 千代台公園陸上競技場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
千代台公園みどりのリサイクル	小学生を対象に、公園内の落ち葉を資源として活用することにより、生態系の保全や環境への負担を軽減し、公園の美観を守る地域学習の場を提供する。	小学生	5月23日
グリーンパークみんなであそぼ!	幼児・児童を対象に陸上競技場で芝生で楽しめるレクリエーションを実施する。	幼児および小1～4年生と保護者	7月27日
2013小学生トライアスロン大会	3人でチームを組んで競技を行うことにより、協調性を養いながら体力づくりや健康増進を図る。	小3～6年生	9月21日

2.2 市民スケート場

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
スケート教室	初心者スケート教室 ジュニアフィギュアスケート教室 親子フィギュアスケート教室	小学生 小学～中学生 親子(満4歳～小3)	12～1月 12～1月 12～1月
スケート場初すべりお年玉プレゼント	日頃のスケート場来場に感謝するとともに、今後の利用者増につながるよう初滑りのイベントを開催する。	未定	1月2日
伊藤みどり in 函館フィギュア・スケート教室	アルベールビルオリンピック銀メダリストの伊藤みどり氏を講師に招き、直接実技指導を受ける。	未定	未定
スケート場イベントデー	簡単なゲームなどによりスケートの楽しさを伝える。	一般市民	未定
スケート実技講習会	冬期間の市民の健康・体力づくりやスケート普及を図るため、指導者を対象に指導方法の講習を行う。	18歳以上	未定

2.3 箱館奉行所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
箱館奉行所解説付見学会	箱館奉行所外観や再現ゾーンの詳しい解説を実施する。	高校生以上	6月
箱館奉行所紹介講座	奉行所の簡単な歴史と復元の歩みや見どころを紹介する。	高校生以上	7月
箱館奉行所開館3周年記念事業	箱館奉行所開館3周年を記念し先着300人に記念品を贈呈する。	通常入館者	7月
兵糧庫特別公開	五稜郭で唯一現存する建物である兵糧庫の期間限定で内部を公開する。	無料開放	8月
兵糧庫解説付見学会	兵糧庫に関係する歴史や復元の様子を詳しく解説する。	無料	8月
和のマナー講座	普段公開していない近習詰所で、日本に伝わる和のマナーやおもてなしの心を確認する。	中学生以上	9月
箱館奉行所講座	「図説新選組」の著者、横田淳氏を招き、五稜郭から元町・西部地区を中心に講話をする。	高校生以上	9月

2.4 戸井教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
大間町との交流事業	青森県大間町音楽祭へ参加し友好を深め、音楽活動の高揚を図る。	文化団体	11月3日
戸井地区文化祭	地域社会に結びついた芸術文化の創造と普及をねらいに文化祭を開催し、地域文化の振興を図る。	一般市民	10月20日
生涯学習セミナー事業	生きがいをもった、心豊かな人づくりを目的とし、趣味の拡充・教養を高めるための学習の機会を提供する。 *体験教室「フラダンス」(1回)	一般市民	9月
戸井地区ふれあい学園	高齢者の健康づくりと生きがいのある生活実現を図るため、社会参加を促進する学習活動や高齢者の持つ知識や技能を活用できる学習活動を提供する。	戸井地域市民 (60歳以上)	5～7月 11～3月
小学生水泳教室	水に慣れ親しみ、正しい泳ぎ方を身につけること等、レベルにあった指導を通して泳ぐことの楽しさを知ってもらうことを目的とする。	小学2年生以上	8月6～9日
戸井地区玉入れ大会	生涯スポーツの一環として、幅広い年齢層の人たちが共にスポーツ玉入れを楽しめる機会を提供することにより、参加者同士の交流や親睦、健康増進・体力の向上を目指すとともに地域の活性化と生涯スポーツの振興に寄与する。	中学生以上の 一般市民	5月22日
戸井地区ゲートボール大会	ゲートボール競技を通じて屋外スポーツの楽しさを知り、ゲートボール愛好者同士の交流による仲間づくり、高齢者の健康増進および生きがいづくりを目的とする。	一般市民	6月6日
戸井地区冬季ゲートボール交流会	冬期間において、戸井地区のゲートボール愛好者が一堂に会し、屋内での交流会をとおして競技力の向上と高齢者の生きがいづくり並びに健康の維持・増進を図る。	一般市民	12～2月
戸井地区バドミントン大会	児童・生徒の交流による仲間づくりと健全育成並びに地域住民の健康増進と地域スポーツの振興を図る。	小学生以上の 一般市民	11月17日
道南駅伝競走大会	生涯スポーツの普及と青少年の健全育成を目的に、戸井地区内11.42kmを1チーム4人で競う駅伝大会。	小学生以上の 一般市民	10月13日

2.5 恵山教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
文化財等の公開 (恵山郷土博物館)	郷土の歴史資料・先住民資料の収集・保管および展示をし、広く市民に郷土の歴史を学び郷土愛の育成に努めるとともに教育・学術文化の発展に資する。	一般市民	4月25日～ 6月30日
夏の体験学習会 (各種体験および施設見学)	ものづくり体験や工場見学などをとおして創造力・生産の喜びなどを学習し併せて親子のふれあいの大切さを学ぶ。	小学生	6月
第5期函館市恵山ふれあい高齢者大学	恵山地域住民を対象に高齢者に対して生きがいと喜びを提供し、自らの生活をより充実させるための生涯学習活動や積極的に社会活動参加を促し、高齢者同士の交流の場の提供および一般教養や趣味・芸術文化活動等の醸成を図る。	恵山地域市民 (60歳以上)	6月～2月 年6回
秋の体験学習会(実りの秋、収穫体験会)	農産物の収穫体験をし自然の恩恵と恵み体験させるとともに創造力・生産の喜びなど五感で学習し併せて親子のふれあいの大切さを学ぶ。	小学生	10月
恵山地区文化祭およびステージ発表会	恵山地区の文化・芸術・芸能等の研究・研鑽している地域の活動の紹介や発表の場を設けることにより文化活動の高揚と発展・振興を図る。	サークルおよび 一般市民	10月
ジュニアリーダー宿泊研修	ジュニア(小学生)リーダー養成を目的に、集団宿泊や体験学習を通して、規律尊主・自主性・協調性を養い、リーダーにふさわしい資質の向上を図る。	小学校4年生 ～5年生	1月

事業名	趣旨・内容	対象	実施時期
小学生夜間水泳教室	夏場の体力づくりと水に親しみ基本泳法を習得させ体力づくりを図る。	小学校3年生～6年生	7月～8月
小学生ミニバレーボール大会(恵山・戸井地区)	小学生の体力づくりと健康増進を図りミニバレーを通して仲間づくりやスポーツの楽しさを体験させる。	小学校3年生～6年生	2月
小学生バトミントン教室	バトミントン競技の基本技術を学び仲間づくりやスポーツの楽しさを体験させるとともにクラブの育成を図る。	小学校4年生～6年生	11月
ミニバレーボール大会(恵山・戸井・榎法華地区)	ミニバレー競技を通じ技術の向上と冬季間の体力づくりおよび健康増進を兼ね、各地域相互の競技者と親睦を図る。	一般市民	2月
冬季ゲートボール大会(恵山・戸井地区)	冬季間の高齢者の体力づくりと健康増進を目的としてし、併せてスポーツを通じ戸井地域の競技者との交流を図る。	高齢者	2月

2.6 榎法華教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
体験教室事業	地域の人材を活用して陶芸の工程を学び、作品を完成させる達成感や喜びを感じてもらうとともに、世代間交流の機会を提供する。 陶芸教室(年1回)	一般市民 (小学生以上)	7月27日 8月31日
第19回新春書き初め会事業(戸井・恵山地区と共催)	新年の清らかな雰囲気の中で、日本の伝統文化である書き初めに親しみながら、気を引き締め、集中する力を養う。	小・中学生	1月9日
第22回榎法華・風間浦友好地域子ども交流事業	一泊二日の団体生活や体験活動をとおして、友好を深めながら、互いの地域の特色を知るとともに協力する気持ちを養う。	小4～小6	8月1～2日
第40回榎法華ふれあい大運動会事業	レクリエーションスポーツをとおして、地域市民の交流促進と健康増進を図る。	榎法華地区市民	6月22日
生涯スポーツ普及事業	健康づくりのきっかけを作るとともに生涯スポーツとしての普及・振興を図り、4地区市民の交流を深める。 4地区交流パークゴルフ大会(4支所管内)	4地区市民または勤務する方	9月27日
健康推進事業	登山をとおして自身の健康づくりや健康増進について考えるきっかけを作るとともに、山登りの楽しさやマナーについて理解を深める。 恵山登山(春・秋)	一般市民 (小学生以上)	5月18日 9月7日
高齢者ふれあいきいき学級事業	高齢者の健康づくりと豊かな知識・経験を活用し、様々な交流や生きがい、ふれあいを感じる機会を提供する。 ・健康講座「軽運動」 ・文化伝承講座「鏡もちをつくろう」	榎法華地区市民 (60歳以上および小・中学生)	7月10日 12月26日
榎法華地区文化祭事業	榎法華地区における芸術文化活動の発表や地区住民の交流、芸術鑑賞の機会を提供し、文化振興を図る。 (3年に1回開催)	榎法華地区市民	10月26日

2.7 南茅部教育事務所

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
親子わくわくキャンプ	キャンプを体験することにより、野営の初歩的な技術の習得と共同作業での規律や協力することの大切さを学び、親子のふれあいと地域の子どもの間の交流を深める。 ・オリエンテーリング、屋外炊事、テント泊	小3～小6とその保護者 (南茅部地区居住者優先)	8月6・7日

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
函館市南茅部沿岸漁業大学	函館市の南茅部地域において、浜に生きるお互いが生活理念や漁業環境の変化に的確に対応しながら、より豊かな、より安全な生き甲斐に満たされた生活が営まれるように関係団体は、共同して生涯教育の機関を設置する。		
	資格取得講座 ・玉掛け技能資格取得講座 ・二級小型船舶操縦士資格取得講座	一般市民 (南茅部地区 居住者優先)	5月 6月
	女性専科講座 料理教室	一般市民 (女性・南茅部地区居住者優先)	3月
	高齢者専科講座 健康教室	一般市民 (高齢者・南茅部地区居住者優先)	9～10月
	市民教養講座 地域講座・南茅部高校共催講座・その他講座	一般市民 (南茅部地区居住者優先)	11～3月
	専修課程講座		2月
南茅部地域野球大会	野球を通して地域住民の親睦と交流を図る。	一般市民	5月19日
南茅部地域少年野球大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与え野球を通して親睦を図る。	小学生	8月17日
南茅部地域マラソン大会	マラソンを通して地域住民の親睦と交流を図る。	幼児～一般	9月7日
南茅部地域ソフトバレーボール大会	ソフトバレーボールを通して地域住民の親睦と交流を図る。	中学生～一般	10月17日
南茅部地域小学生フットサル大会	日頃の練習の成果を発揮する機会を与えフットサルを通して親睦を図る。	小学生	12月
南茅部地域スキー大会	スキーを通して地域住民の親睦と交流を図る。	幼児～一般	2月2日
南茅部地域バスケットボール大会	バスケットボールを通して地域住民の親睦と交流を図る。	中学生～一般	2月27日

28 南茅部プール

事業名	趣旨・内容	対象	実施期日
一般水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	中学生～一般	4～10月(48回)
ワンポイント水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	中学生～一般	4～10月(20回)
少年少女水泳教室	泳力向上と体力づくりを目的とする。	小3～小6	4～10月(72回)
ちびっ子水遊び教室	水慣れから水泳の初歩を学ぶ。	小1～小2	4～10月(68回)

(2) 平成24年度事業の実績

1 生涯学習部生涯学習文化課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
HAKODATEまなびとと広場	通年		延べ登録者数 3,206人
まなびとと2012体験講座	4月～3月(毎月1回程度) 7月29日(イベント)		537人
学習情報・指導者情報等の提供	通年		
成人祭	1月14日		約1,540人
ウィークエンド・サークル活動推進事業	7～12月	各30人	延106人
家庭教育支援事業(家庭教育セミナー)	11～2月(6回)		602人
社会学級	通年(30学級)		758人
社会教育事業の後援・奨励	通年		
函館市青少年芸術教育奨励事業	7月～11月		1,142人
学校開放事業(文化開放)小・中学校(13校)	通年		21,181人
五稜郭ゆかりのまち交流事業 「はこだて絵手紙展」	12月17日～21日 1月10日～15日		函館市 155通 佐久市 191通
文化芸術アウトリーチ事業	6月～3月		延べ1,959人
市制施行90周年記念第29回「平和の日」函館の集い	3月3日		950人

2 公民館・亀田公民館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
公民館講座			
子どもの絵画教室	5月～9月(8回)	20人	20人
子ども陶芸教室	8月～9月(5回)	20人	7人
子ども公民館講座 絵てがみ教室	6月～11月(5回)	15人	9人
子ども公民館講座 土鈴づくり体験	8月(1回)	20人	24人
子ども公民館講座 書き初め会	1月(1回)	10人	5人
コーラス入門講座	5月～6月(4回)	20人	21人
陶芸入門講座(昼)	4月～6月(5回)	20人	10人
陶芸入門講座(夜間)	6月～7月(5回)	20人	9人
郷土の歴史教室	8月～12月(10回)	50人	80人
くらしの講座	8月～11月(4回)	20人	18人
ビーズクラフト入門講座	5月～6月(4回)	10人	5人
ボランティア育成講座	11月～12月(4回)	50人	17人
ステンドグラス基礎講座	10月～12月(6回)	10人	13人
エアロ体操入門講座	5月～6月(4回)	10人	8人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
パソコン入門講座 (第1期)	6月 (3回)	10人	10人
パソコン入門講座 (第2期)	9月 (3回)	10人	10人
子ども公民館講座 書き初め会	1月 (1回)	10人	7人
家庭教育学級～親子でダンス	5月～7月 (3回)	20人	12人
健康づくり講座 (フィットネス)	4月～5月 (4回)	40人	26人
初歩の絵手紙教室	4月～3月 (20回)	45人	40人
初歩のきもの着付教室	5月～11月 (16回)	30人	29人
小筆に親しむ教室	6月 (4回)	25人	10人
パッチワーク基礎講座	5月 (4回)	20人	13人
紙粘土基礎講座	8月～9月 (4回)	20人	23人
押し花基礎講座	9月～11月 (4回)	20人	5人
高齢者大学	5月～11月 (23回)	300人	302人
函館短期老人大学	5月～11月 (22回)	120人	119人
公民館講座受講生作品展	3月 (1回)		119人

3 青少年研修センター (ふるる函館)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
宿泊型プログラム			
春だあ！くるくるバームクーヘンお泊り会	5月12日～13日	60人	60人
ジュニアボランティアお泊り会 (夏)	6月9日～10日	60人	80人
夏だあ！イカダで漂流体験？お泊り会	7月26日～27日	60人	61人
アウトドア体験いっぱい！ファイヤーキャンプ	9月1日～2日	80人	77人
秋だあ！秋の味覚でピザ祭りお泊り会	9月29日～30日	60人	58人
国際交流だあ！お泊り会	10月13日～14日	50人	50人
冬だあ！テントで冬眠？風船でかまくら？お泊り会	1月8日～9日	60人	44人
ジュニアボランティアお泊り会 (冬) 真っ暗の中の共生学習	2月16日～17日	60人	59人
日帰り型プログラム			
ハチミツ？みつろう？天然のキャンドルづくりだあ	4月28日	50人	57人
街なカクレンボ	7月8日	30人	29人
小鳥のために巣箱をつくろう	8月1日	60人	59人
子どもだってボランティアは楽しい ときどきボランティア講座	10月28日	80人	21人
はこだて国際民俗おやつパーティー	11月18日	50人	48人
どんな音色？木琴をつくろう	12月2日	60人	59人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
青少年活動に関わる研修講座(一般市民、指導者向け)			
野外活動には必須!救命救急を学ぼう +ダッチオープンピザ焼き体験講習会	9月23日	30人	4人
ふるる祭	3月3日	450	452人

4 青年センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
教養講座			
ヨガ春教室	4月6・13・20日,5月11・18・25日	各20人	延べ128人
とろふわチーズスフレ	6月2日	12人	11人
大皿を作ろう!	6月4日	10人	7人
骨盤矯正ストレッチ教室	6月6・15・22・29日	各12人	延べ40人
陶芸1日体験教室	6月30日	20人	16人
キッチンサイエンス	8月26日	—	32人
石川美子の陶芸教室「花の器を作ろう」	10月21日	10人	11人
新そば入荷しました!手打ちそば教室	11月18日	各20人	15人
カラダの内側からキレイになる リンパ体操教室	11月26日	15人	18人
ヨガ12~1月教室	12月14・21日,1月18・25日	各20人	延べ73人
自由研究先取り!陶芸1日体験	12月15日	20人	20人
陶器のペンダントを作ろう	12月22日	20人	20人
ヨガ2~3月教室	2月1・8・15日,3月1・8・15日	各20人	延べ102人
若者の居場所づくりに関する事業(「ダベリBar」拡大イベント)			
ライフデザインセミナー	7月28日	20人	7人
スプリング・コンサート in 函館市青年センター「ダベリBar」	12月20日	—	30人
中高生向け「ダンスをはじめよう!」	1月5・6・7・8日	80人	77人
きみも記憶にぜったい自信がもてる!	2月3日	40人	9人
七夕まつり	7月7日	—	166人
線香花火ナイト	7月7日	—	60人
国際交流のつどい	8月30日	—	45人
青年センターフェスティバル	9月9日	—	500人
青年戦隊!クリーンレンジャー	10月14日	—	28人
第8回地球まつり	11月3日	—	700人
初笑い!夢助落語会	1月20日	—	73人
ミニ四駆競技大会	1月26日	—	43人

5 亀田青少年会館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
「教養講座」			
手品ショー	4月1日	50人	45人
花壇菜園づくり	4月15日	なし	10人
キッズコンサート(市民オーケストラ)	4月28日	なし	55人
折り紙でつくるこいのぼり	5月3日	30人	7人
ヘリコプターづくり	6月17日	10人	5人
キャンドルナイト	6月24日	30人	30人
折り紙でつくるたなばたかざり	6月24日	30人	6人
風鈴づくり	7月28日	20人	23人
亀田川の生きものをさがそう	7月29日	50組	82人
コースターづくり	8月4日	20人	13人
ランタンづくり	8月11日	20人	10人
キッズコンサート(小田桐陽一)	8月31日	なし	23人
南茅部バスハイク	9月9日	80人	15人
紙ひこうき大会	10月14日	10人	1人
キッズコンサート(松山英生・上田之政)	10月28日	なし	32人
イカ墨染色教室	11月11日	10組	41人
キッズコンサート(勝海亮トリオ)	11月18日	なし	25人
折り紙でつくるクリスマスかざり	11月25日	15組	31人
ランプシェード	12月23日	20組	41人
3D万華鏡づくり	1月6日	20組	26人
風力発電機づくり	1月13日	20組	33人
キッズコンサート(佐藤知歩・吉本侑佑)	2月24日	なし	34人
折り紙で作るおひなさま	3月3日	10組	17人
「指導者の養成および団体活動の育成」			
青少年活動団体との共催事業	通年	なし	4,579人
NE水彩画展	通年	なし	—
初心者少年少女卓球大会	1月27日	80人	89人
「職業、交友、健康その他の生活相談」			
しあわせのマルシェ	6月10日	なし	420人
子ども会議	3月30日	なし	8人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
「若者の居場所づくり」			
ジャンケン大会	毎月第1土曜日	なし	各回10人
〇×クイズ大会	毎月第2土曜日	なし	各回10人
逆ジャンケン大会	毎月第3土曜日	なし	各回10人
お誕生会	毎月第4土曜日	なし	各回10人
たなばたまつり	7月7日	なし	155人
餅つきの集い	12月2日	50人	69人
雪遊び会	1月17日	なし	10人
節分大会	2月2日	なし	6人
フリースロー大会	日曜日不定期	なし	各回10人
「自主事業」			
お花見	5月5日	30人	19人
「その他」			
ボランティア通貨の発行	通年	なし	87人
プチブックスタート	毎月	なし	3人

6 亀田福祉センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
函館市亀田老人大学	4月～11月(25回)	320人	320人
子ども放送局(子どもを対象とした体験学習事業)	4月～3月(24回)	各回15～25人	延べ274人
教養講座			
お気軽体操ストレッチ前期・後期	4月～3月(24回)	各60人	延べ1,058人
わくわくお気軽体操ストレッチ	6月～9月(9回)	各40人	133人
わくわくエクササイズ	10月～3月(11回)	各40人	207人
ベビーマッサージ	4月17日	10人	7人
男の料理教室	7月1日	10人	8人
浴衣着付け講座	9月28日	10組	7組
パソコン超基礎講座	7月18日	6人	6人
親子ヒップホップ	10月28日	10人	6人
函館の歴史・文化を学ぶ	1月26日	30人	33人
ステップダンス	2月20日	10人	8人
楽しい絵本の読み聞かせ	3月16日	10人	9人

7 生涯学習部スポーツ振興課

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
学校開放事業(校庭, スポーツ, 遊泳)	通年 遊泳開放は夏休み期間の土日		100,053人
海水浴場の開設 (湯川海水浴場, 入舟町前浜海水浴場)	7月～8月		31,367人 2,954人
函館ハーフマラソン大会('12)	9月30日	4,000人	3,107人
コミュニティランニング('12)	10月8日	400人	213人

8 箱館奉行所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
五稜郭・箱館奉行所見学会	6月3, 9, 16日	90人	76人
箱館奉行所太鼓櫓登櫓見学会	6月30日	30人	30人
親子体験「木材加工～職人の技にチャレンジ」	7月21日	親子30人	親子35人
箱館奉行所開館1周年記念事業 ーオリジナルポストカードプレゼントー	7月29日	ー	ー
兵糧庫特別開館	8月1～31日	ー	16,241人
箱館奉行所講座「箱館奉行所造営と匠のこころ」	9月29日	150人	98人

9 博物館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
博物館講座			
展示解説セミナー 「函館の麦酒」	4月28日	30人	30人
大人のビール講座1 「開拓使麦酒醸造所から始まるビールの歴史」	5月19日	150人	82人
学芸員こぼれ話 「函館博物館の民族資料」	5月20日	15人	3人
宇宙と天体シリーズ 「春の星座を見てみよう」	5月25日	16人	11人
大人のビール講座2 「ビール博士のビール講座」	5月26日	100人	107人
子どもの飲み物講座 「炭酸飲料の手作り教室」	5月27日	40人	40人
地域の身近な自然を調べる 「浜辺の漂着物を調べよう」	6月10日	16人	2人
展示解説セミナー 「函館博物館の民族資料」	6月17日	15人	7人
親子で学ぶ 「不思議な石 石灰石」	6月23日	20人	7人
展示解説セミナー 「写された幕末・明治の函館」1	7月14日	30人	30人
宇宙と天体シリーズ 「夏の星座を見てみよう」	7月20日	16人	16人
親子で作る「ペタペタアート」	7月21日	20人	13人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
夷酋列像再発見シンポジウム	7月25日	100人	130人
わくわく科学教室 「ドライアイスで遊ぼう」	7月26日	20人	16人
わくわく科学教室 「親子でなき砂を作ろうー シリカゲルって何ー」	7月27日	20人	2人
展示解説セミナー 「写された幕末・明治の函館」 2	7月28日	30人	13人
夏休み自由研究 「ピンホールカメラを作ろう」	7月29日	15人	13人
夏休み自由研究 「鉄道車両の仕組みとJR見学会」	7月31日	50人	50人
夏休み自由研究 「昔の生活を調べよう」	8月8日	15人	11人
「黒曜石で矢じりを作ろう」	9月8日	15人	10人
アイヌの狩猟道具 イバプケニー鹿笛ー制作 体験 (アイヌ文化活動アドバイザー事業)	9月9日	15人	7人
展示解説セミナー 「新収蔵資料展」	10月16日	30人	4人
わくわく科学教室 「親子でイカを科学する」	11月10日	16人	6人
冬休み自由研究 「さし絵に挑戦！」(函館市文学館共催)	1月11日	20人	13人
学芸員こぼれ話 「函館に来た千島のアイヌ」	1月13日	15人	8人
わくわく科学教室 「もしも原子が見えたなら」	1月19日	16人	13人
133年前にタイムスリップ 「旧函館博物館1号公開」	5月25日	ー人	167人
自然観察入門講座 自然の物知り博士を目指そう	4月15日～3月3日	20人	17人
古文書調査	4月4日～11月1日	6人	6人
四季の星空観測講座 函館・四季の夜空観測	5月25日～1月18日	20人	12人
学芸員の「ちょっといい話」	6月9日～2月9日	120人	47人
企画展 「函館の麦酒」	4月28日～6月24日		(入館者数) 3,417人
企画展 「写された幕末・明治の函館」	7月14日～9月23日		(入館者数) 5,212人
企画展 「新収蔵資料展」	10月16日～11月18日		(入館者数) 712人

10 中央図書館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
絵本等の読み聞かせ	通年(414回)		6,161人
えほんふれあい事業	通年(50回)		1,508人
郷土の歴史講座	7月7日 12月8日 1月26日 2月9日 3月2日		130人 126人 157人 92人 103人
市民文芸作品	募集 7月1日～9月30日 作品集3月発行		138人
初心者のための読み聞かせ講座	6月18日～8月6日	36人	22人
点訳奉仕者養成講座	6月5日～8月21日	20人	19人
夏休みこども図書館員	7月31日 8月7日	18人	18人
図書館利用者講座	10月26日	15人	9人
中央図書館開館記念イベント	11月23日		246人
図書館deクリスマスⅧ	12月9日～23日		418人
図書館ボランティア養成講座	2月26日	20人	13人

11 縄文文化交流センター

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
縄文体験定期講座			
縄文釣り体験 第1回 「縄文人と海とのつながりを学ぼう！ ～鹿の角で釣り針をつくってみよう～」	6月10日	20人	13人
縄文釣り体験 第2回 「鹿角釣り針で釣りをしてみよう！」	6月24日	20人	14人
縄文土器づくり 第1回 「縄文土器のおはなし」	9月9日	20人	13人
縄文土器づくり 第2回 「縄文土器をつくろう！」	9月16日	20人	13人
縄文土器づくり 第3回 「縄文土器野焼き体験」	10月6日	20人	8人
縄文染め 第1回 「春の縄文染め」	5月20日	20人	12人
縄文染め 第2回 「夏の縄文染め」	7月15日	20人	23人
縄文染め 第3回 「秋の縄文染め」	10月21日	20人	10人
縄文染め 第4回 「冬の縄文染め」	1月20日	20人	21人
みんなで目指そう世界遺産 ～ふるさとの宝を世界へ～	2月17日	—	73人

12 市民会館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
鑑賞型事業			
ざいだん出前コンサート(6回)	5月～10月	600人	625人
劇団四季ミュージカル 「赤毛のアン」函館公演	6月 5日	965人	1,106人
清水ミチコ トーク&ライブ2012	10月30日	712人	769人
東京都交響楽団函館公演	11月14日	1,058人	965人
東儀秀樹 トーク&ライブ ～雅の世界～	11月20日	804人	645人
上原ひろみ ザ・トリオ・プロジェクト feat. アンソニー・ジャクソン・フィリップス 函館公演	11月21日	750人	838人
五嶋龍ヴァイオリン・リサイタル 2012函館	12月 5日	708人	708人
市制施行90周年記念 子どものためのバレエ 東京バレエ団 「ねむれる森の美女」函館公演	2月 9日	945人	923人
ムノツィル・ブラス金管七重奏団 函館公演	2月23日	924人	786人
育成学習型事業			
函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ			
函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ 育成事業	4月～ 3月	30人	21人
函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ 第13回定期演奏会	9月30日	300人	250人
ざいだん「邦楽こども教室」			
ざいだん「邦楽こども教室」	6月～ 2月	18人	18人
ざいだん「邦楽こども教室」 冬期短期コース	1月 5日～ 1月 9日	14人	14人
ざいだん「邦楽こども教室」 春期短期コース	3月26日～ 3月30日	14人	12人
東京バレエ団団員による 初心者ワークショップ 未経験者向けワークショップ	2月 8日	60人 60人	64人 13人
ムノツィルのメンバーによる バンドクリニック	2月23日	5バンド	53人
奨励型事業			
函館ダンスフェスティバル2012 予選大会	5月17日	500人	575人
FINAL	8月12日	804人	735人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
参加創造型事業			
市民文化祭			
舞台芸術部門 函館市民オペラの会 20周年記念公演ヴェルディ作曲 「ファルスタッフ」	11月 3日	800人	800人
展示部門 函館アートフェスティバル テーマ「海」	11月 8日～11月12日	—	470人
出展者によるワークショップ テーマ「海」	11月11日	—	43人
出展者によるステージパフォーマンス テーマ「海」	11月11日	—	118人

13 芸術ホール (ハーモニー五稜郭)

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
鑑賞型事業			
初田悦子 アウトリーチ	5月25日	140人	140人
初田悦子 presents 家族でいっしょに楽しい コンサート～子供といっしょにきてきて	5月26日	600人	340人
リサイタル・シリーズ			
河村尚子ピアノ・リサイタル	6月28日	410人	522人
木嶋真優ヴァイオリン・リサイタル	9月22日	400人	504人
札幌メンバーの室内楽 ～秋を愛でるコンサート～	10月14日	350人	499人
市制施行90周年記念事業 ヘンデル作曲《メサイア》初稿版全曲室内演奏会	7月29日	500人	708人
2013スプリング・コンサート			
スプリング・コンサートbふらっと in ふくろうの家	10月28日	40人	20人
スプリング・コンサートbふらっと in ちとせ幼稚園	11月15日	40人	170人
スプリング・コンサートbふらっと in 五稜郭支援学校	12月19日	40人	80人
スプリング・コンサートbふらっと in 函館市青年センター「ダベリBar」	12月20日	40人	30人
bふらっとSPECIAL	1月20日	270人	329人
Duo Prismデュオ・プリズム アンサンブルの魅力	2月17日	270人	457人
Ensemble Krahe アンサンブルクレートリオの午後	3月 3日	270人	421人
東京ブラスタイル函館公演	12月16日	700人	347人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
育成学習型事業			
ステージラボ2012 レッツ!ワークショップーア・ラ・カルトー			
ロボットのぞみパフォーマンス公演in函館	4月14日	115人	134人
パントマイム編	4月15日	30人	22人
コラボレーション編	5月19日～ 5月20日	20人	23人
コミュニティダンス編	5月28日～ 5月29日	20人	13人
俳優編	6月 5日～ 6月 6日	30人	18人
女優編	7月 9日～ 7月10日	30人	19人
声優編	8月 4日 ～8月 5日	40人	44人
フリー稽古場	8月 1日～ 2月11日	10人	17人
ワークショップ参加者修了公演	2月11日	200人	177人
ステージラボ2012 バックステージツアー			
入門編	5月15日	50人	54人
応用編(照明)	6月13日	50人	70人
応用編(音響)	6月14日	50人	55人
親子編	7月31日	70人	46人
高校演劇舞台技術講習会	9月 6日	50人	27人
弦楽クリニック&演奏会			
クリニック	6月 1日～ 3月16日	30人	27人
第22回函館市芸術ホール管弦楽団演奏会	3月17日	400人	309人
東京プラススタイル放課後プロジェクト(ワークショップ)	12月15日	150人	56人
参加創造型事業			
市制施行90周年記念事業 市民文化祭			
展示部門「清秋・函館市文団協芸術展」	11月 1日～11月 5日	—	1,146人
「ぶんだん秋の庵」	11月 1日～11月 5日	—	1,157人
舞台芸術部門「華麗・錦秋の夕べ」	11月 4日	842人	573人
奨励型事業			
オープンギャラリーイベント			
第1回 “Joyful Dance Collection”	5月27日	100人	260人
第2回 ダンス咲く	7月14日	100人	125人
第3回 サマーライブ2012	8月10日	100人	252人
ZAIDAN MUSIC SALON			
第1回 ポップス・ロック編	6月10日	60人	56人
第2回 ジャズ・クラシック編	8月11日	60人	85人
第3回 ポップス・ロック編	10月20日	60人	90人
第4回 ジャズ・クラシック編	12月 8日	60人	90人
HAKODATE JAZZ FESTIVAL 2012	7月 8日	480人	586人
函館新人演奏会～音楽の新しい風～	7月15日	210人	235人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ステージラボ2012			
コンプレックス・シアター(全8回)	9月14日～ 9月17日	400人	322人
市民美術展「はこだて・冬・アート展」			
受賞者作品展	11月17日～11月25日	—	873人
第13回「はこだて・冬・アート展」	2月17日～ 2月24日	—	1,683人
メモリアルコンサート・フォーユーVol.15	1月12日	250人	190人

14 北洋資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
第18回函館の「海と港」児童絵画展	7月16日～ 7月22日	—	572人
平成24年度 北の海・子ども体験教室 「海の森からの贈りもの～海藻おしば」作り	8月 5日	午前20人 午後20人	午前 7人 午後 8人
北洋資料館開館30周年記念事業 北洋漁業出航風景特別写真展	9月16日～10月31日	—	2,716人

15 北方民族資料館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
体験学習講座			
ムックリ製作・演奏体験	4月～ 3月	300人	161人
北方民族文様の切り紙細工体験	4月～ 3月	—	584人
北方民族資料館収蔵資料展 「『チセ』—模型と絵でみるアイヌの住まい—」	7月21日～10月21日	—	11,082人
北方民族資料館講座			
夏休み自由研究「親子体験 北方民族文様の切り紙細工をしよう」	8月 6日	20人	20人
アイヌ文様木彫り教室	9月 8日・ 9月 9日	20人	18人
アイヌ文様刺しゅう教室 初級編	10月 6日・10月 7日	20人	14人
入門編	10月 8日	20人	14人
ミュージアム・トーク 「アイヌの家づくり —住文化にみる快適エコライフ—」	10月20日	60人	86人

16 文学館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
文学館企画展			
「啄木没後100年特別企画 石川啄木の終焉と妻節子」	4月 8日～10月10日	—	13,198人
「挿し絵画家梁川剛一の世界」 ～梁川剛一誕生110年に寄せて～	9月 3日～11月 4日	—	4,688人
文学の夕べ			
第1回～第6回	6月～ 1月	300人	165人
特別企画 朗読で綴る函館の文学 v o l . 8	2月23日	50人	46人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
自由研究			
クイズ・石川啄木と函館	7月16日～ 8月15日	60人	34人
さし絵に挑戦!	1月11日	30人	12人
函館・盛岡啄木交流かるた大会	7月28日	10チーム 30人	9チーム 27人
石川啄木講座 「啄木からのメッセージ～今日を見つめて～」	8月18日	150人	100人
啄木没後100年企画			
「啄木文学散歩」	9月 8日	50人	27人
「啄木詩歌コンサート」	10月 9日	—	50人
文学館講演会 「戦後・出版ブームにみる梁川剛一の足跡」 ～挿し絵画家としての札幌時代～	10月13日	150人	39人
文学紀行「伊勢路の文学探究の旅 ～心のふるさとを訪ねて」	10月26日～10月28日	25人	19人
石川啄木連続講座(全3回)	2月～ 3月	150人	126人

17 重要文化財旧函館区公会堂

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
公会堂プロムナードコンサート	5月～ 9月	—	3, 156人
公会堂コンサート(31コンサート)	6月～10月	3, 720人	2, 767人
市制施行90周年記念事業 サマーコンサート in 公会堂	8月25日	120人	120人
高校生によるお茶会	9月16日	200人	200人

18 市民体育館

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数	
スポーツ教室				
卓球 (硬式・ラージボール)	第1期	4月～ 5月	30人	30人
	第2期	9月～10月	30人	中止
ジュニア室内サッカー (小学1～3年生)	第1期	4月～ 7月	60人	60人
	第2期	8月～11月	60人	60人
	第3期	1月～ 3月	30人	34人
ジュニア室内サッカー (小学4～6年生)	第1期	4月～ 7月	30人	27人
	第2期	9月～11月	30人	25人
シニアスポーツ	第1期	4月～ 7月	40人	41人
	第2期	8月～11月	40人	50人
	第3期	1月～ 3月	30人	33人
親子体育(午前)	第1期	4月～ 6月	40組80人	23組46人
	第2期	9月～11月	40組80人	29組59人
親子体育(午後)	第1期	4月～ 7月	40組80人	36組77人
	第2期	9月～11月	40組80人	40組88人
わんぱく	第1期	4月～ 6月	60人	55人
	第2期	9月～11月	60人	50人
	第3期	1月～ 2月	30人	30人

事業名		実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ミニバスケット	第1期	4月～ 6月	30人	30人
	第2期	9月～11月	30人	29人
	第3期	1月～ 2月	30人	30人
ソフトバレー	第1期	5月～ 7月	30人	18人
	第2期	10月～11月	30人	20人
やさしい筋力アップ ストレッチ	第1期	4月～ 7月	30人	31人
	第2期	9月～11月	30人	32人
	第3期	1月～ 3月	30人	33人
心身リフレッシュ体操	第1期	4月～ 6月	40人	26人
	第2期	9月～11月	40人	25人
コア・ストレッチ研修会		6月 9日 6月10日	— 200人	38人 207人
東レアローズ古田史郎バレーボール塾		5月14日～ 5月18日	30人	19人
がんばれ!レバンガ北海道バスケットボール教室		8月 5日	200人	147人
函館市地域スポーツ指導員研修会				
	軽スポーツ	9月～10月	40人	40人
	卓球	10月	40人	15人
	レクリエーション	11月	40人	37人
市民スポーツ講演会		10月 2日	300人	216人
ふわふわアドベンチャーツアー in 函館市民体育館		11月 3日 11月 4日	—	7,000人 6,500人
市制施行90周年記念事業 函館市文化・スポーツ振興財団 理事長杯ソフトバレーボール大会		2月16日 2月17日	300人 300人	220人 330人
市制施行90周年記念事業 バレーボールV・プレミアリーグ女子函館大会		3月16日 3月17日	1,500人 1,500人	1,831人 1,810人
市民スポーツ研修会		3月18日	—	9人

19 市民プール

事業名		実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ワンポイントレッスン		4月～ 3月	—	1,234人
水泳教室				
市民水泳教室(8回) (午前の部・午後の部)		4月～ 3月	400人	399人
サタディナイトコース(4回)		4月～ 3月	80人	55人
きっちり4泳法マスターコース(8回)		4月～ 3月	160人	164人
きっちり4泳法ナイトコース(4回)		4月～ 3月	40人	37人
バラエティコース(4回)		4月～ 3月	40人	76人
専科コース(4回)		4月～ 3月	80人	105人
少年少女わんぱく水泳教室(8回)		4月～ 3月	760人	604人
ウォータビクス教室(8回)		4月～ 3月	240人	143人
ウォータビクスロング教室(2回)		4月～ 3月	80人	35人
水中ウォーキング(8回) (午前の部・午後の部)		4月～ 3月	560人	382人

事業名		実施時期	定員(募集人員)	参加者数
ロング50マスターコース(4回)		4月～ 3月	80人	81人
パワフルスイム(8回)		4月～ 3月	400人	150人
ゆっくりゆっくり水泳教室(8回)		4月～ 3月	160人	73人
幼児の水遊び教室(5回)		4月～ 3月	150人	127人
少年少女4泳法マスターコース		4月～ 3月	80人	67人
平井伯昌「スイムクリニック in 函館2012」				
特別水泳教室		5月15日	30人	31人
五輪直前座談会		5月15日	600人	489人
市民プールまつり		10月 8日	-	528人
市民水泳記録会		12月23日	200人	125人
着衣水泳体験研修会		3月17日	80人	46人

20 千代台公園野球場 (オーシャンスタジアム)

事業名		実施時期	定員(募集人員)	参加者数
プロ野球パ・リーグ公式戦 「北海道日本ハムファイターズVS 埼玉西武ライオンズ」		5月12日 5月13日	20,000人 20,000人	20,308人 20,319人
第4回オーシャンスタジアム杯 少年野球大会		10月 6日・10月13日	8チーム 160人	8チーム 142人

21 千代台公園庭球場

事業名		実施時期	定員(募集人員)	参加者数
テニス教室	第1期	5月～ 6月	90人	76人
(昼コース・夜コース)	第2期	9月～10月	90人	74人

22 千代台公園陸上競技場

事業名		実施時期	定員(募集人員)	参加者数
グリーンパークみんなであそぼ! 「みどりのリサイクル運動」		5月23日	82人	86人
グリーンパークみんなであそぼ!		7月14日	500人	297人
2012小学生トライアスロン大会		9月 8日	28チーム 84人	20チーム 60人

23 市民スケート場

事業名		実施時期	定員(募集人員)	参加者数
スケート実技講習会		12月17日	30人	17人
スケート教室				
初心者スケート教室A, B, C		12月18日～12月28日	120人	119人
親子フィギュアスケート教室		12月22日～12月30日	15組30人	12組25人
ジュニアフィギュアスケート教室		1月 9日～ 1月12日	40人	30人
スケート場初すべりお年玉プレゼント		1月 2日	400人	400人
伊藤みどり in 函館フィギュア・スケート教室		1月 4日～ 1月 7日	45人	38人
スケート場イベントデー		1月27日	400人	400人

24 戸井教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
戸井地区ふれあい学園	5～7・10～3月(8回)		延べ199人
大間町との交流事業(大間町音楽祭参加)	11月4日		5人
戸井地区文化祭	10月28日		443人
道南駅伝競走大会	10月21日		81チーム 368人
体験教室「フラダンス」	11月16日		18人
新春書き初め会 (恵山・楸法華地区と共催)	1月9日		戸井地区参加者 21人
少年体育事業			
小学生水泳教室	8月7～10日(4回)	40人	実36人
小学生ミニバレーボール大会 (恵山地区との共催)	2月23日		戸井地区参加者 6チーム 27人
一般体育事業			
玉入れ大会	5月23日		11チーム84人
ゲートボール大会	6月7日		6チーム33人
バドミントン大会	11月18日		29ペア58人
ゲートボール交流会	12～2月(4回)		延べ97人

25 恵山教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
春の体験学習会 (各種体験および施設見学)	5月26日	40人	35人
第4期函館市恵山ふれあい高齢者大学	5月～2月(年6回)	60人	延べ208人
秋の収穫体験学習 (実りの秋・収穫体験会)	10月6日	40人	51人
恵山地区文化祭およびステージ発表会	10月27日～10月28日		527人
新春書き初め会 (戸井・楸法華地区と共催)	1月9日		27人
小学生夜間水泳教室	7月25日～8月7日	29人	延べ103人
小学生ミニバレーボール大会(恵山・戸井地区)	2月25日	120人	91人
小学生バドミントン教室	11月20日～22日	30人	延べ55人
ミニバレーボール大会 (恵山・戸井・楸法華地区)	2月5日	100人	38人
冬季ゲートボール大会(恵山・戸井地区)	3月1日	50人	37人

26 榎法華教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
体験教室事業			
陶芸	4月・5月(各1日) 9月・10月(各1日)	7人 7人	4人 7人
第39回榎法華ふれあい大運動会事業	6月23日		350人
第21回風間浦・榎法華 友好地域子ども交流会事業	7月26～27日		42人
健康推進事業「恵山登山」	5月19日 9月22日	30人 30人	37人 31人
第18回新春書き初め会事業 (戸井・恵山地区と共催)	1月9日		70人
生涯スポーツ普及事業			
4地区交流パークゴルフ大会	10月14日	60人	57人
高齢者ふれあいいきいき学級事業			
健康講座「軽運動」	7月10日		13人
文化伝承講座「鏡もちをつくろう」	12月26日		30人

27 南茅部教育事務所

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
文化振興事業			
南茅部地域文化祭	11月2・3日		出展690点 来館339人
青少年事業			
親子わくわくキャンプ	8月7・8日	30人	43人
親子でおもちゃ作り&もちつき大会	12月26日	30人	39人
函館市南茅部沿岸漁業大学事業			
資格取得講座			
小型移動式クレーン運転技能資格 取得講座	5月10日～12日	30人	17人
二級小型船舶操縦士資格取得講座	6月5日～17日	12人	10人
高齢者専科講座			
いきいき健康増進・健康指導	10月11日	42人	35人
特別講演会講座			
昆布の価値	10月23日		150人
専修課程講座			
道南太平洋のスケトウダラの 調査結果と資源状況	2月8日	100人	45人

事業名	実施時期	定員(募集人員)	参加者数
女性専科講座			
地域の食材を利用した健康料理	2月21日		22人
地域教養講座			
古部女性部開設講座	2月8日		17人
木直女性部開設講座	2月16日・26日		45人
尾札部女性部開設講座	2月27日		20人
川汲女性部開設講座	3月12日		21人
安浦女性部開設講座	3月2日		10人
白尻女性部開設講座	3月5日		9人
大船女性部開設講座	3月4日		13人
磨光小学校開設講座	12月～2月(4回)		82人
白尻小学校開設講座	2月20日		35人
南茅部高校共催開設講座	12月13日		34人
漁協青年部開設講座	12月22日		127人
南茅部地域大会			
野球大会	5月19日		3チーム 36人
少年野球大会	8月18日		4チーム 57人
マラソン大会	9月8日		202人
ソフトバレーボール大会	10月18日		7チーム 35人
小学生フットサル大会	12月1日		18チーム 111人
スキー大会	2月3日		39人
バスケットボール大会	2月28日		4チーム 28人
一般水泳教室	4月～9月(22回)	20人	延べ101人
少年少女水泳教室	5～10月(44回)	30人	延べ280人
ちびっ子水遊び教室	5～10月(32回)	20人	延べ204人

4 社会教育・スポーツ施設の概要

(1) 社会教育施設の概要一覧

分類	施設名	開設年月日	建物延面積	施設概要
学 習 活 動 拠 点 施 設	函館市公民館	S 22. 5. 3	1,230.97㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造3階建(本館), レンガ造2階建および木造平屋建(別館), 敷地1,302.11㎡ ≪概要≫ 講堂(353.76㎡/346人), 第1集会室(59.79㎡/50人), 第2集会室(57.62㎡/40人), 第3集会室(29.23㎡/15人), ロビー, 事務室 他
	函館市 亀田公民館	S 38. 6. 29	489.24㎡	≪構造≫ 木造モルタル2階建, 敷地657.62㎡ ≪概要≫ 講堂(158.67㎡/80人), 第1集会室(33.06㎡/20人), 第2集会室(39.75㎡/30人・和室), 第3集会室(52.93㎡/30人・和室) 調理室(40.47㎡/24人), 事務室 他
	函館市 戸井公民館	S 42. 4. 1	576.34㎡	≪構造≫ 補強ブロック造平屋建(一部中2階), 敷地2,474.52㎡ ≪概要≫ 講堂, 和室, 第1研修室, 第2研修室, 実習室
	函館市 南茅部公民館	S 47. 9. 2	1,429.21㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建, 敷地3461.48㎡ ≪概要≫ 講堂(299.19㎡/384人), 第1会議室(35.20㎡/30人) 第2会議室(47.30㎡/32人), 第1研修室(70.40㎡/60人) 第2研修室(75.75㎡/70人), 第3研修室(58.80㎡/50人) 調理室(55.35㎡/24人), 図書室, ロビー, 事務室 他
	函館市戸井 生涯学習センター	H10. 4. 1	694.62㎡	≪構造≫ 木造一部鉄骨造平屋建, 敷地3,119.05㎡ ≪概要≫ 講堂, 研修室(A, B, C), 茶室, 調理実習室, 工房
	函館市戸井 総合学習センター	S 53. 10. 1	1,628.00㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造3階建, 敷地1,483.44㎡ ≪概要≫ 大会議室, 小会議室, 研修室, 研修会議室, 青年研修室, 調理実習室
	函館市榎法華 総合センター	S 55. 9	1,444.25㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリートおよび鉄骨造2階建 ≪概要≫ 大ホール, 研修室(第1, 第2, 第3), 会議室, 調理実習室 視聴覚室, プレイルーム, 控室
	函館市 亀田福祉センター	S 46. 11. 1	2,323.49㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造3階建, 敷地3016.49㎡ ≪概要≫ 講堂(576㎡/500人), 和室(90㎡/40人), 調理室(48㎡/25人) 会議室(3室/20~100人), 研修室(3室/20~30人), 特別室(135㎡/60人), 談話ホール, 美原図書室(130.46㎡), 事務室他
	函館市 青年センター	S 44. 5. 17	1,786.20㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリート造2階建(本館), 鉄骨造平屋建(体育館) 敷地2,360㎡ ≪概要≫ 体育館(540㎡), 音楽視聴覚室(46㎡/15人), 調理実習室(44㎡/15人), 第1クラブ室(59㎡/24人), 第2クラブ室(30㎡/15人), 会議室(84㎡/48人), 相談室(22㎡), 和室(14畳/10人), ロビー(163㎡), 談話ホール(41㎡), 事務室 他
	函館市青少年 研修センター (ふるる函館)	H8. 7. 21	2,178.48㎡	≪構造≫ 木造2階建(宿泊棟), 鉄骨造平屋建(研修棟・体育館) 鉄筋コンクリート造平屋建(浴室棟), 敷地8,395.02㎡ ≪概要≫ 研修室(大研修室/120人, 中研修室/50人, 小研修室/30人) 体育館(445.50㎡), 宿泊室(洋室12室/80人, 和室2室/40人) 食堂(120人), メモリアルホール 他
函館市 亀田青少年会館	S 47. 4. 3	514.05㎡	≪構造≫ 鉄筋コンクリートブロック造平屋建, 敷地3,453㎡ ≪概要≫ 体育室(286.00㎡), 研修室(63.90㎡/30人), 事務室 他	
函館市 戸井青少年会館	S 43. 11. 1	553.17㎡	≪構造≫ 補強コンクリート造一部鉄骨造平屋建 敷地1,171.50㎡(借地) ≪概要≫ 体育室, 集会室(第1, 第2, 第3), 研修室, 調理室	
函館市 南茅部青少年会館	S 46. 12. 24	482.00㎡	≪構造≫ 鉄骨造平屋建, 敷地2,630.00㎡ ≪概要≫ 体育館(330㎡), 研修室, 事務室 他	

分類	施設名	開設年月日	建物延面積	施設概要
学習活動拠点施設	函館市中央図書館	H17.11.27	7,687.13㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下1階地上2階建 《概要》 エントランススペース, 開架スペース, 視聴覚ホール レファレンスコーナー, 読書テラス, 研修室 ボランティアルーム, 閉架書庫, 貴重資料室 他
	函館市千歳図書館	H15.4.4	551.29㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造2階建(187.84㎡) 《概要》 開架書架(363.45㎡), 書庫, 事務室 他
	函館市美原図書館	S51.5.21	130.46㎡	《概要》 開架書架(113.96㎡), 事務室(16.5㎡)
	函館市湯川図書館	S57.11.15	110.20㎡	《概要》 開架書架(68.0㎡), 読書コーナー(2.0㎡) 児童コーナー(12.0㎡), 事務室(12.0㎡) 他
	函館市旭岡図書館	H2.1.12	181.32㎡	《概要》 開架書架(115.40㎡), 読書コーナー(4.0㎡) 児童コーナー(8.0㎡), 事務室(14.3㎡) 他
	函館市港図書館	H8.4.2	255.59㎡	《概要》 開架書架(187.13㎡), 事務室(15.23㎡) 他
	函館市桔梗配本所	S53.5.25	26.00㎡	《概要》 児童コーナー(26.00㎡)
学習活動援助施設	市立函館博物館	S41.4.28 (現博物館)	2,502.39㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造3階建, 敷地900.00㎡ 《概要》 展示室(1,175.66㎡), 収蔵庫(291.16㎡), 研究室(115.31㎡) 図書室(38.55㎡), 集会室(78.53㎡), 事務室(52.10㎡) 他
	市立函館博物館 郷土資料館	S44.11.1	286.75㎡	《構造》 耐火煉瓦造2階建, 敷地191.99㎡
	函館市 戸井郷土館	S48.1.24	352.80㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造2階建, 敷地(公民館敷地内)
	函館市 恵山郷土博物館	S43.7.27	178.00㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造2階建, 敷地800.00㎡
	函館市重要文化財 旧函館区公会堂	S58.4.27	1,900.12㎡	《構造》 木造2階建棧瓦葺(本館), 木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺(附属棟) 敷地7,730.60㎡ 《概要》 1階(大食堂, 球戯室, 事務室 他), 2階(大広間 他)
	函館市北洋資料館	S57.9.16	665.34㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造平屋建, 敷地(芸術ホール敷地内) 《概要》 展示室(334.80㎡) 他
	函館市文学館	H5.4.1	1,026.86㎡	《構造》 煉瓦および鉄筋コンクリート造陸屋根3階建, 敷地970.80㎡ 《概要》 展示室(624.93㎡), 収蔵庫(30.18㎡), 資料保存室(53.97㎡) 事務室 他
	函館市 北方民族資料館	H5.4.1	3,043.11㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造地下1階付陸屋根4階建, 敷地1,735.74㎡ 《概要》 展示室(613.82㎡), 収蔵庫(346.70㎡), 研修室(74.40㎡) 事務室 他 ※(H元・11・3函館市北方民族資料館・石川啄木資料館として開館)
	箱館奉行所	H22.7.29	979.40㎡	《構造》 木造平屋建(一部:太鼓櫓5層)
	函館市縄文文化 交流センター	H23.10.1	1,733.43㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造2階建, 敷地7,140.65㎡ 《概要》 展示(4室), 体験学習室, 図書資料室, 多目的スペース, 事務室他
	函館市大船遺跡 埋蔵文化財展示館	H12.4.28	185.49㎡	《構造》 木造パネル工法平屋建
	函館市戸井埋蔵 文化財展示館	H10.9.22	588.00㎡	《構造》 鉄骨造平屋建 敷地, 908.16㎡
	函館市南北海道 教育センター	S49.9.1	1,946.35㎡	《構造》 鉄筋コンクリート造3階建一部鉄骨造2階建, 敷地3,608.70㎡ 《概要》 会議室4, 研修室2, 音楽室, 資料室, 理科室2, 視聴覚研修室 録音室, 語学室, 技術室 他
芸術活動・観覧施設	函館市民会館	S45.7.1	7,277.33㎡	《構造》 鉄骨鉄筋コンクリート造独立基礎外壁茶系磁気質山丁掛窯変タ イルパイル打ち地下1階地上4階建, 敷地35,340.05㎡ 《概要》 大ホール(固定席1,370席, 楽屋5室), 小ホール(342㎡/500席) 大会議室(276㎡/300席), 小会議室(1号・72㎡/30人, 2号・72㎡/ 26人), 和室(28畳/40人), 展示室(360㎡), 事務室 他
	函館市芸術ホール (ハーモニー五稜郭)	H10.5.9	5,945.71㎡	《構造》 鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階地上4階建(一部鉄筋コンクリート造) 敷地13,068.50㎡ 《概要》 ホール(固定席708席, 移動席130席, 車イス席4席), 楽屋3室 ギャラリー(400㎡), リハーサル室(182㎡), 練習室(1号・27㎡/ 2号・20㎡), 会議室(56㎡), 録音調整室(10㎡), 事務室 他

函館市公民館・亀田公民館

1 施設の概要

(1) 公民館

- ・設 立 昭和22年5月3日
- ・所 在 地 函館市青柳町12番17号
(TEL22-3320・FAX22-8196)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建(本館),
レンガ造2階建及び木造平屋建(別館)
- ・敷地面積 1,302.11㎡
- ・建物延面積 1,230.97㎡
- ・建物内容 講 堂 ～ 346人(固定席)
第1集会室 ～ 50人(机30人, 椅子50人)
第2集会室 ～ 40人(机24人, 椅子40人)
第3集会室 ～ 15人(机10人, 椅子15人)



(2) 亀田公民館

- ・設 立 昭和38年6月29日
- ・所 在 地 函館市富岡町1丁目18番3号
(TEL・FAX41-2445)
- ・構 造 木造モルタル2階建
- ・敷地面積 657.62㎡
- ・建物延面積 489.24㎡
- ・建物内容 講 堂 ～ 80人(机 50人, 椅子80人)
第1集会室 ～ 20人(机 10人, 椅子20人)
第2集会室 ～ 30人(座卓26人, 座 30人)
第3集会室 ～ 30人(座卓24人, 座 30人)
調 理 室 ～ 24人



(3) 開館時間, 休館日

- ・開 館 時 間 午前9時～午後9時
- ・休 館 日 月曜日(月曜が祝日の時は火曜日), 国民の祝日,
年末年始(12月29日～1月3日)

2 運営の方針

社会教育法に基づき地域住民の実生活に即する教育, 学術および文化に関する各種事業を実施し, 地域住民の教養の向上, 健康増進, 情操の純化を図り生活文化の振興, 社会福祉の増進に寄与するとともに, 生涯学習体制の確立を目指し社会連帯意識の向上を図り, 明るく住みよい豊かなまちづくりの中心的役割を果たす公民館としてその機能発揮に努める。また, 勤労者向けの講座や, 人づくりを主眼とした講座を重視しながら地域住民に社会教育, 生涯教育の浸透を図る。

3 主要事業

事業名	内 容	期 間
公民館講座	郷土の歴史, 子ども絵画, 陶芸, きもの着付など25講座	4月～3月
高齢者大学	青柳校・湯川校 単年制 一般教養他 23回	5月～11月

4 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
公 民 館	29,323人	29,867人	29,137人
亀田公民館	23,011人	20,514人	20,375人
計	52,334人	50,381人	49,512人

函館市戸井公民館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和42年4月1日
- ・所 在 地 函館市浜町290番地1 (TEL82-2273)
- ・構 造 補強ブロック造平屋建 (一部中2階)
- ・敷地面積 2,474.52㎡
- ・建物延面積 576.34㎡
- ・建物内容 講堂 (184.3㎡), 第1研修室 (49.7㎡), 第2研修室 (29㎡), 和室 (33.7㎡), 実習室 (29㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日, 国民の祝日 (その日が月曜日に当たるときは, その日およびその翌日), 年末年始 (12月29日～1月3日)



(2) 施設の特徴

郷土館との併設により, 展示資料や図書室を備えた複合施設。

(3) 運営の方針

市民の自主的な社会教育活動を促進し, 各種サークル活動の振興育成を図る。

(4) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	4,785人	3,606人	2,560人

函館市南茅部公民館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和47年9月
- ・所 在 地 函館市川汲町1520番地4 (TEL25-3789・FAX25-3790)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建
- ・敷地面積 3,461.48㎡
- ・建物延面積 1,429.21㎡
- ・建物内容 講 堂 : 384人 (机 300人, 椅子384人)
第1会議室 : 30人 (机 10人, 椅子 30人), 第2会議室 : 32人 (机 20人, 椅子 32人)
第1研修室 : 60人 (座卓36人, 座 60人), 第2研修室 : 70人 (机 40人, 椅子 70人)
第3研修室 : 50人 (座卓30人, 座 50人), 調理室 : 24人, 図書室 : 20人
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 土・日曜日, 国民の祝日, 年末年始 (12月29日～1月3日)



(2) 施設の特徴

南茅部地域の中心部に位置し, 講堂, 会議室, 調理室, 図書室等を備え, 同地域の社会教育行政の中心的役割を果たしている。

(3) 運営の方針

函館市民憲章ならびに函館市教育目標に基づき, 公民館が学習の場, ふれあいの場, 憩いの場として市民の生涯にわたる自主的な社会教育活動を促進するとともに, 生涯学習体制の確立を目指し, 社会連帯意識の向上を図り, 明るく住みよい豊かなまちづくりの中心的役割を果たす公民館として, その機能発揮に努める。

(4) 主催事業 (南茅部教育事務所事業)

- 文化振興事業 — 南茅部地域文化祭
- 青少年事業 — 親子わくわくキャンプ, 親子でおもちゃ作り&もちつき大会
函館市南茅部沿岸漁業大学事業 (外郭団体)
- 沿岸漁業大学事業 — 資格取得講座, 女性専科講座, 高齢者専科講座, 市民教養講座, 専修課程講座

(5) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	6,178人	7,410人	6,503人

函館市戸井生涯学習センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成10年4月1日
- ・所 在 地 函館市浜町33番地2 (TEL82-2234)
- ・構 造 木造一部鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 3,119.05㎡
- ・建物延面積 694.62㎡
- ・建物内容 講堂 (223.56㎡), 研修室A (35.64㎡)
研修室B (35.64㎡), 研修室C (102.06㎡)
茶室(34.02㎡), 工房(34.02㎡), 調理室(45.36㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 日曜日, 国民の祝日, 年末年始 (12月29日～1月3日)



(2) 施設の特徴

陶芸の工房や茶室を備えた, 各種教室などに使用される市民の生涯学習活動施設。

(3) 運営の方針

市民の生涯学習に関する活動, および地域における集会の場を提供し, 学習センター施設の機能発揮を図る。

(4) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	2,678人	1,788人	2,988人

函館市戸井総合学習センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和53年10月1日
- ・所 在 地 函館市浜町308番地1 (TEL82-3111)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 1,483.44㎡
- ・建物延面積 1,628.00㎡
- ・建物内容 大会議室(496.4㎡),
研修会議室(244.75㎡),
青年研修室(57.75㎡), 研修室(52.5㎡),
小会議室(58.85㎡), 調理実習室(57.75㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 日曜日, 国民の祝日, 年末年始 (12月29日～1月3日)



(2) 施設の特徴

ステージ照明を備えた大会議室や, ステージ付の和室 (研修会議室) があり, 文化祭や各種講演会開催のほか, 地域の集会等にも利用される施設。

(3) 運営の方針

市民に生涯学習に関する活動その他地域における集会等の場を提供し, もって市民の生涯学習活動の振興と学習センター施設機能の発揮を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	2,348人	2,678人	2,710人

函館市楳法華総合センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和55年9月
- ・所 在 地 函館市新浜町156番地1 (TEL86-2451・FAX86-2838)
- ・構 造 鉄筋コンクリートおよび鉄骨造2階建
- ・建物延面積 1,444.25㎡
- ・建物内容 大ホール 440.00㎡(内舞台100.00㎡) 固定席無し 収容人数 約450人
第1研修室 和室46.74㎡ 収容人数 約30人
第2研修室 洋室56.26㎡ 収容人数 約20人
第3研修室 和室36.85㎡ 収容人数 約15人
会 議 室 45.10㎡ 収容人数 約20人
視 聴 覚 室 45.10㎡ 収容人数 約20人
調理実習室 90.20㎡ 調理実習台7台設置(内1台講師用) 収容人数 約24人
プレイルーム 34.10㎡ 収容人数 約10人
- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休 館 日 日曜日および土曜日、国民の祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

(2) 施設の特徴

函館市楳法華支所と隣接し、楳法華地域の市民が集会等に利用しやすいよう、大ホール等様々な広さの研修室を備え、平成23年度には、利用者の安全性や利便性の向上を図るため、自動ドアやエレベーター、障がい者用トイレを設置するなど、バリアフリー化改修工事を行い、高齢者や障がい者対応の施設。また、生涯学習関係事業や行政関係事業等、各種事業の会場としても利用されている。

(3) 運営の方針

市民に生涯学習に関する活動その他地域における集会等の場を提供し、もって市民の生涯学習活動の振興に資する。

(4) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	3,571人	2,834人	4,659人



函館市亀田福祉センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年11月1日
 - ・所 在 地 函館市美原1丁目26番12号 (TEL42-7023・FAX42-9792)
 - ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
 - ・敷地面積 3,016.49㎡
 - ・建物延面積 2,323.49㎡
 - ・建物内容 講 堂 ～ 500人 (机100, 椅子500)
 - 第1会議室 ～ 100人 (机 34, 椅子100)
 - 第2会議室 ～ 96人 (机 32, 椅子 96)
 - 第3会議室 ～ 20人 (机 4, 椅子 20) ただし、講堂使用者のみ
 - 特 別 室 ～ 60人 (机 20, 椅子 60)
 - 第 1 和 室] ～ 40人 (座卓13, 座60)
 - 第 2 和 室]
 - 第 1 研修室 ～ 15人 (座卓4, 椅子 15)
 - 第 2 研修室 ～ 15人 (机 6, 椅子 18)
 - 第 3 研修室 ～ 20人 (机 6, 椅子 12)
 - 調 理 室 ～ 25人
-
- ・開館時間 午前9時～午後10時
 - ・休 館 日 月曜日, 毎月最終金曜日, 年末年始 (12月29日～1月3日)

(2) 運営の方針

各種団体、サークル等が開催する会議・研修会等に会場を提供し、市民の自主的な社会活動の促進、生涯学習の促進に努め、福祉センター施設の機能発揮を図る。

(3) 主催事業

- 函館市亀田老人大学 4月～11月
- 子どもチャレンジ教室 毎月第2・4土曜日

(4) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	127,611人	137,534人	136,700人



函館市青年センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和44年5月17日
- ・所 在 地 函館市千代台町27番5号(TEL51-3390)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建(本館)
鉄骨造平屋建(体育館)
- ・敷地面積 2,360㎡
- ・建物延面積 1,786.20㎡
- ・建物内容 体育館(バドミントン, ソフトバレー, 卓球)
会議室, 第1クラブ室, 第2クラブ室,
音楽視聴覚室, 調理実習室, 和室, ロビー,
談話コーナー, 相談室, 事務室



(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 水曜日, 年末年始(12月31日～1月3日)

(3) 運営の方針

- ・青少年の教養の向上, 健康の増進ならびに情操の純化を図ります
- ・函館市における青少年の交流・情報発信・学習育成・余暇活動の拠点となるべく努めます
- ・サークル活動や社会活動にすでに参加し, もしくは参加しようとしている青少年へのサポートやアドバイスをを行います
- ・青少年の健全育成に不可欠な幅広い年代層との交流を促進するため, 広く一般にも施設や主催講座を開放します
- ・施設の知名度向上および利用促進のため, 各種団体等の事業および市民による活動発表等に積極的に施設を貸し出します

(4) 施設の特徴

函館市の中心部, 各種スポーツ施設のある千代台公園の入口に位置し, 交通至便で若者がふれあい, 語らい, 憩う場として気軽に利用できる体育館や活動室を備えた勤労青少年の活動施設。

(5) 利用対象

- ・勤労青少年(15歳以上29歳未満は無料)
- ・一般市民(勤労青少年の利用がない場合, 有料で利用できる)
- ・ロビーは一般市民も無料で利用できる。

(6) 主催事業

教養講座, 国際交流事業, 青年センターフェスティバル, 若者の居場所づくり事業「ダベリBar」 他

(7) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
主催(共催)事業	17,059人	9,836人	3,474人
青年利用	18,072人	17,891人	12,984人
一般利用	45,864人	44,095人	35,011人
計	80,995人	71,822人	51,469人

函館市青少年研修センター（ふるる函館）

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成8年7月21日
- ・所 在 地 函館市谷地頭町5番14号
(TEL23-5961・FAX23-1315)
- ・構 造 木造2階建（宿泊棟）
鉄筋コンクリート造平屋建（浴室棟）
鉄骨造平屋建（研修棟・体育館）
- ・敷地面積 8,395.02㎡
- ・建物延面積 2,178.48㎡
- ・建物内容 宿泊室（収容人員120名）
洋室宿泊室：4名定員2室, 6名定員8室,
12名定員2室
和室宿泊室：20名定員2室
研修室：大研修室120名, 中研修室50名,
小研修室30名, 体育館, 食堂, メモリアルホール等
- ・休 館 日 月曜日, 祝日, 年末年始（12月29日～1月3日）, 器材点検日（随時）



(2) 施設の特徴

「青少年の健全育成と市民の生涯学習活動の場」としての施設。函館山東側山麓に位置し、周囲には立待岬や函館公園などがあり、歴史的建造物の点在する西部地区にも徒歩で行けるなど、歴史学習や自然観察など利用目的に合わせ、幅広い研修が可能。

(3) 運営の方針

次に掲げる事項に留意して運営を行うものとする。

- ・立地条件を生かした特色ある事業や運営を行うよう努める。
- ・利用者の年齢および利用目的に応じた運営を行うよう努める。
- ・広く青少年教育関係者の理解と協力を得るよう努める。
- ・民間有志指導者（ボランティア）の協力を得るよう努める。
- ・社会教育関係機関との連携に努める。
- ・利用者の安全に努める。

(4) 利用対象

原則として小学生以上で、具体的な研修計画を有し、引率者（指導者）がいる5人以上の団体とする。

(5) 研修活動

① 主催事業

- ・青少年向け宿泊型プログラム（野外体験, ボランティア体験, 国際交流等）
- ・青少年向け日帰型プログラム（自然体験, 工作体験, 国際交流, 郷土教育等）
- ・一般市民, 指導者向け青少年活動に関わる研修講座（救命救急講習等）
- ・一般市民, ボランティア希望者向けボランティア育成に関わる研修講座（ボランティア体験学習）
- ・その他（ふるる祭）

② 施設利用者向けプログラム

- ・各種体験プログラム（自然体験, 工作体験, 歴史体験等）
- ・各種食育プログラム（郷土料理, お菓子, 野外炊事等）

(6) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	23,269人	27,393人	26,324人

函館市亀田青少年会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和47年4月3日
- ・所 在 地 函館市亀田本町19番21号
(TEL41-4383)
- ・構 造 鉄筋コンクリートブロック造平屋建
- ・敷地面積 3,453㎡
- ・建物延面積 514.05㎡
- ・建物内容 体育室, 研修室, ロビー, 事務室等



(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後9時
- ・休館日 月曜日, 年末年始(12月31日～1月3日)

(3) 運営の方針

- ・地域社会を取り巻くいろいろな問題を解決するため, 子ども達の居場所づくりを推進し, 子ども達の育ちを喜びあえる地域社会づくりを目指します。
- ・季節毎の行事・ものづくり教室・レクレーションを通して, 子ども達や保護者が楽しく利用できる施設として運営します。
- ・体育室をバスケットタイムとして開放することで, 中高生・勤労青少年の利用を促します。
- ・町会活動と連携を図り, 地域と一体となった運営を行うことで, 地域コミュニティの再生を図ります。

(4) 主催・共催事業

- ・レクレーションや軽スポーツ大会
- ・花壇・菜園づくり
- ・ものづくり教室
- ・スポーツ教室(卓球など)
- ・文化教室(絵画・英語など)
- ・お誕生会や季節毎の行事(七夕・節分・ひなまつりなど)

(5) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
主 催 事 業	4,021人	6,103人	8,846人
共 催 事 業	5,403人	5,195人	4,579人
優 先 利 用	9,905人	8,359人	9,544人
一 般 利 用	7,853人	7,920人	7,239人
計	27,182人	27,577人	30,208人

函館市戸井青少年会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和43年11月1日
- ・所 在 地 函館市釜谷町755番地 (TEL82-2088)
- ・構 造 補強コンクリート造一部鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 1,171.50㎡ (借地)
- ・建物延面積 553.17㎡
- ・建物内容 体育室(231.87㎡), 第1~3集会室(59.62㎡),
研修室(111㎡), 調理室(14.91㎡)
- ・開館時間 午前9時~午後9時
- ・休館日 月曜日(月曜日が国民の祝日に当たる
ときはその翌日), 休日の翌日,
年末年始(12月29日~1月3日)



(2) 施設の特徴

体育室と図書を備えた, 青少年が気軽に利用できる施設。

(3) 運営の方針

青少年の教養の向上および健康の増進を図り, 豊かな情操を養い, 青少年の健全な育成を図る。

(4) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	3,787人	3,303人	3,160人

函館市南茅部青少年会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年12月24日
- ・所 在 地 函館市安浦町302番地 (TEL・FAX無)
- ・構 造 鉄骨造平屋建
- ・敷地面積 2,630.00㎡
- ・建物延面積 482.00㎡
- ・建物内容 体育館(330㎡), 研修室, 事務室等
- ・開館時間 午前9時~午後9時
- ・休館日 年末年始(12月29日~1月3日)



(2) 施設の特徴

南茅部地域の中心部付近に位置し, 体育館, 研修室等を備えた青少年が自由に活動できる施設。

(3) 運営の方針

青少年の教養の向上・健康の増進ならびに情操の純化を図るための活動の場として開放し, 青少年の健全育成に寄与できるような運営に努める。

(4) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	206人	242人	597人

函館市中央図書館

1 施設の概要

(1) 中央図書館

- ・設 立 平成17年11月27日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町26番1号
(TEL35-6800 FAX35-5524)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
地下1階地上2階建
- ・敷地面積 11,707.81㎡
- ・建物延面積 7,687.13㎡
- ・収蔵冊数 653,364冊



(2) 各図書室等

- ・千歳図書室 (函館市千歳町15番10号 TEL23-9811 蔵書数: 47,184冊)
- ・美原図書室 (函館市美原1丁目26番12号 TEL45-5125 蔵書数: 29,727冊)
- ・湯川図書室 (函館市湯川町2丁目40番13号 TEL57-4120 蔵書数: 22,409冊)
- ・旭岡図書室 (函館市西旭岡町2丁目51番12号 TEL50-2340 蔵書数: 15,830冊)
- ・港図書室 (函館市港町2丁目7番1号 TEL43-8211 蔵書数: 23,937冊)
- ・桔梗配本所 (函館市桔梗4丁目1番18号 TEL47-1510 蔵書数: 7,004冊)
- ・移動図書館 (ともしび号 TEL35-6800 蔵書数: 13,014冊)

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 中央図書館 午前9時30分～午後8時 (視聴覚ホール・研修室は午後9時)
各図書室 午前10時～午後5時
旭岡図書室 午後1時～午後5時
桔梗配本所 午後1時～午後4時45分 (土曜日および学校の長期休業日は午前10時開館)
- ・休館日 中央図書館 水曜日, 年末年始(12月29日～1月3日), 図書特別整理期間(年1回およそ1週間)
各図書室 月曜日(桔梗配本所は日曜日), 祝休日,
年末年始(12月29日～1月3日), 図書特別整理期間(年1回およそ1週間)

2 運営の方針

図書館においては、今後ますます進展する情報化社会において、市民の学習意欲の高揚に即応できるよう「親しまれ、信頼される図書館」づくりを基本方針とし、多様な市民要求に応えられるよう、適切な資料の収集充実に努める。また、より高密度な奉仕体制をめざして、逐次地域図書館施設、移動図書館車による図書館奉仕網の整備促進と他の関係機関および関連施設との連携に努め、生涯学習の推進に資する。

3 奉仕体制

- ・個人貸出し— 市民在住者および通勤通学者を対象に貸出 (貸出期間-2週間)
- ・予約制度— 読みたい本の予約とリクエストができる
- ・図書相談— 調査研究や図書・読書に関する相談
- ・複写サービス— 図書館資料の複写サービスのため複写機を設置
- ・障害者サービス— 視力障害者に対する点字図書、録音テープの貸出

4 図書館資料利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
貸出人数(総数)	403,578人	428,363人	387,153人
貸出冊数(総数)	1,630,126冊	1,645,795冊	1,585,638冊
蔵書数(総数)	773,187冊	790,029冊	812,469冊

市立函館博物館

1 施設の概要

(1) 博物館本館

- ・設 立 明治12年5月25日
- ・所 在 地 函館市青柳町17番1号
(TEL23-5480・FAX23-0831)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建
- ・敷地面積 900㎡
- ・建物延面積 2,502.39㎡
- ・常設展示 北海道の旧石器時代を代表する樽岸の石器
市内各遺跡等の発掘資料、志海苔古銭
ブラキストンの石斧、箱館戦争関係資料
高松凌雲の医療器具、明治の函館博物資料
各種絵画および美術工芸品



(2) 郷土資料館 (旧金森洋物店)

- ・設 立 昭和44年11月1日
- ・所 在 地 函館市末広町19番15号
(TEL・FAX23-3095)
- ・構 造 耐火煉瓦造2階建
- ・敷地面積 191.99㎡
- ・建物延面積 286.75㎡
- ・常設展示 明治13年の金森洋物店建築時を再現し、
明治のハイカラ文化、伝統的建造物群を紹介



(3) 開館時間、休館日

- ・開館時間 (4月1日～10月31日)午前9時～午後4時30分
(11月1日～3月31日)午前9時～午後4時
- ・休館日 月曜日、祝日、毎月の最終金曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

2 運営の方針

総合博物館として、市民の生涯学習推進、調査研究、レクリエーションに資するため、博物館体制の充実および博物館活動の促進を図り、教育・学術文化の発展に努める。

3 主要事業

事業名	内 容	期 間
企 画 展	「函館商人の人生模様」	4月23日～5月31日
企 画 展	「新島襄と幕末の箱館」	6月14日～9月1日
企 画 展	「新収蔵資料展」	9月21日～11月3日
博物館講座	単講座～自然科学、考古、歴史、民俗、民族、美術21講座 通年講座～自然科学2講座	5月～1月 4月～3月

4 入館状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
博物館本館	11,497人	9,245人	10,579人
郷土資料館	6,141人	6,151人	5,746人
計	17,638人	15,396人	16,325人

函館市戸井郷土館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和48年1月24日
- ・所 在 地 函館市浜町290番地1 (TEL82-2273)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・敷地面積 公民館敷地内
- ・建物延面積 352.80㎡
- ・建物内容 展示室(225.77㎡), 資料収納室(22㎡), 図書室(50㎡)
- ・開館時間 午前9時～午後5時
- ・休 館 日 月曜日, 国民の祝日(その日が月曜日に当たるときは, その日およびその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)



(2) 施設の特徴

縄文時代の土器類, 昭和初期の人々の暮らしの道具類を展示しているほか, 公民館との複合施設として図書室を備えた施設。

(3) 運営の方針

郷土に関する資料を収集し, 保管し, 及び展示して市民の利用に供し, もって市民の文化的向上並びに教育及び学術の発展に資する。

(4) 展示の内容

北海道有形文化財指定の「戸井の板碑」を始め, 縄文時代の土器類や昭和初期の漁具や暮らしの道具類を展示。

(5) 入館状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	74人	94人	208人

函館市恵山郷土博物館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和43年7月27日
- ・所 在 地 函館市柏野町117番地146 (TEL85-2400)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・敷地面積 800.00㎡
- ・建物延面積 178.00㎡
- ・開館時間 午前9時00分～午後5時00分
季節開館(4月25日～6月30日)
- ・休 館 日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)



(2) 施設の特徴

郷土恵山の歴史的資料

(3) 運営の方針

先住民族の重要埋蔵文化財の公開, 郷土開拓資料の公開を通して, 開発を担う後継者の養成, 郷土愛の啓発を行う。

(4) 展示の内容

郷土恵山の歴史を知る上での貴重な資料を展示し開館する。

(5) 入館状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	4,527人	4,595人	6,040人

函館市重要文化財旧函館区公会堂

(1) 施設の概要

- ・開館 昭和58年4月27日
(明治43年9月20日公会堂として開堂)
- ・所在地 函館市元町11番13号 (TEL22-1001・FAX22-8284)
- ・構造 木造2階建棧瓦葺(本館)
木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺(附属棟)
- ・敷地面積 7,730.60㎡
- ・建物延面積 1,900.12㎡
- ・重要文化財指定 昭和49年5月21日

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日), 午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・臨時開館 午前9時～午後3時(1月1日～1月3日)
- ・休館日 年末(12月31日), 館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・北方民族資料館, 文学館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・北方民族資料館, 文学館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・北方民族資料館, 文学館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・公会堂コンサート(弦楽器, ピアノ, 合唱等)年間約30回開催
- ・公会堂プロムナードコンサート(ヴァイオリン・ピアノ)

(5) 入館状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
個人利用	113,348人	102,616人	117,898人
団体利用	21,774人	25,240人	26,164人
計	135,122人	127,856人	144,062人



函館市北洋資料館

(1) 施設の概要

- ・開館 昭和57年9月16日
- ・所在地 函館市五稜郭町37番8号 (TEL55-3455・FAX55-3586)
- ・構造 鉄筋コンクリート造平屋建
- ・建物延面積 665.34㎡

(2) 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時 (4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時 (11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始 (12月31日～1月3日), 館内整理日 (随時)

(3) 入館料

- ・一般～100円, 学生・生徒・児童～50円
(団体10人以上は一般～80円, 学生・生徒・児童～40円)

(4) 展示の内容

展示室は334㎡で3つのコーナーに分かれ、約500点を展示

- ・むかしの北方漁業
漁業の始まりから北方民族漁業, 和人の進出とニシン・サケ漁, 樺太・南千島の漁業開発, そして明治時代までを実物・写真などで紹介している。
- ・北洋漁業の歩み
北洋漁業の概要をはじめ, カニ網, サケ・マス流し網, 底びき網の各漁業, そして北洋基地「函館の歴史」などを実物・模型・写真を使って立体的に展示している。
- ・200海里時代とこれからの北洋漁業
これからの漁業の将来展望を50枚のスライドを使い解説するマルチ映像, 北洋のサケなどの漁場をボタン操作で確認できる模型を展示している。
- ・その他, 荒海を独航船で行く「3分間北洋航海体験室」がある。

(5) 主催事業 (文化・スポーツ振興財団事業)

- ・第19回函館の「海と港」児童絵画展, 北洋資料館講演会「北洋漁業と古き良き函館」

(6) 入館状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
個人利用	9,785人	8,659人	9,563人
団体利用	3,504人	2,262人	2,339人
計	13,289人	10,921人	11,902人



函館市文学館

(1) 施設の概要

- ・開館 平成5年4月1日
- ・所在地 函館市末広町22番5号
(TEL22-9014・FAX22-9065)
- ・構造 煉瓦および鉄筋コンクリート造
陸屋根3階建
- ・敷地面積 970.80㎡
- ・建物延面積 1,026.86㎡



(2) 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)
館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・公会堂, 北方民族資料館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・公会堂, 北方民族資料館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・公会堂, 北方民族資料館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

(4) 展示内容

- ・1階展示ホール＝函館ゆかりの作家たち
函館の歴史的歩みを背景に、明治期以降の日本文学史の流れの中で、北海道・函館文学をみつめ、函館の風土性、郷土性が生み出した著名な作家たちを紹介する。
[主な作家～高橋掬太郎, 久生十蘭, 長谷川海太郎, 亀井勝一郎, 井上光晴, 梁川剛一, 辻仁成, 佐藤泰志, 宇江佐真理ほか]
- ・2階展示ホール＝漂泊の詩人石川啄木
函館生活から始まる北海道漂泊時代, 啄木が生まれ育った浜民・盛岡時代, そして独自の文学を形成した在京時代と, 啄木26年と2ヶ月の生涯を詳しく紹介し, 特別展示室では, 今まで公開される機会の少なかった啄木の自筆資料を展示している。
[日記, ノート類, 宮崎郁雨あて書簡など]

(5) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・チャリティ・イベント 3・11を忘れない!新井満さんの講演と朗読と歌唱の午後「千の風から希望の木へ」
- ・石川啄木講座, 文学紀行, 文学館講演会, 文学の夕べ, 企画展 他

(6) 入館状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
個人利用	16,465人	14,840人	16,302人
団体利用	1,144人	1,346人	1,400人
計	17,609人	16,186人	17,702人

函館市北方民族資料館

(1) 施設の概要

- ・開館 平成5年4月1日
(平成元年11月3日函館市北方民族資料館
・石川啄木資料館として開館)
- ・所在地 函館市末広町21番7号
(TEL22-4128・FAX 22-8874)
- ・構造 鉄筋コンクリート造地下1階
付陸屋根4階建
- ・敷地面積 1,735.74㎡
- ・建物延面積 3,043.11㎡



(2) 開館時間、休館日

- ・開館時間 午前9時～午後7時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後5時(11月1日～3月31日)
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)
館内整理日(随時)

(3) 入館料

- ・一般～300円, 学生・生徒・児童～150円
(団体20人以上は一般～240円, 学生・生徒・児童～120円)
- ・公会堂, 文学館または旧イギリス領事館のいずれかとの2館共通入館料
一般～500円, 学生・生徒・児童～250円(団体割引なし)
- ・公会堂, 文学館および旧イギリス領事館のいずれか2館との3館共通入館料
一般～720円, 学生・生徒・児童～360円(団体割引なし)
- ・公会堂, 文学館および旧イギリス領事館との4館共通入館料
一般～840円, 学生・生徒・児童～420円(団体割引なし)

(4) 展示内容

明治の初め、開拓使等が収集した市立函館博物館旧蔵資料、北方民族学の世界的研究者・馬場脩、児玉作左衛門が収集した、国指定重要有形民俗文化財を含むアイヌ・ウィルタなどの北方民族資料を中心に収蔵。展示ホールと1～7の展示室に「装いの美学」「北の神々」「暮らしの中の手仕事」「北方民族HAKODATE COLLECTION」「あそびの世界」「アイヌ民族学の先駆者たち」「アイヌ絵の世界」のテーマ別に資料を展示する。アイヌ民族文様を刺繍・彫刻した衣装や生活用具、母から娘へと受け継がれてきたアイヌの首飾り(タマサイ)、大陸との交易で手に入れた山丹服(蝦夷錦)、アリュート民族がラッコ猟などに使用した三人乗りの皮舟(パイダルカ)など、300点を超える貴重な資料を見ることができる。

(5) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・北方民族資料館講座, 体験学習講座, 企画展 他

(6) 入館状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
個人利用	20,882人	18,576人	20,549人
団体利用	3,011人	3,041人	3,116人
計	23,893人	21,617人	23,665人

箱館奉行所

(1) 施設の概要

- ・ 設 立 平成22年7月29日
- ・ 所 在 地 函館市五稜郭町44番3号
- ・ 構 造 木造平屋建（一部：太鼓櫓は5層）
- ・ 建物延面積 979.40㎡
- ・ 開館時間 4月1日～10月30日 午前9時～午後6時
11月1日～3月31日 午前9時～午後5時
- ・ 休 館 日 12月31日～1月3日

(2) 施設の特徴

建築当時と同じ位置に、建築資材の産地や種類、部材の寸法や仕上げ、工法までも精密に再現。

(3) 入館料

- 一 般 個人500円、団体（20名以上）400円
- 学 生・生 徒・児 童 個人250円、団体（20名以上）200円

(4) 運営の方針

五稜郭跡および箱館奉行所の歴史を紹介することにより、もって市民の文化的向上に寄与する。

(5) 展示の内容

日本伝統建築による建物再現、五稜郭と箱館奉行所の歴史解説、建築関連出土遺物の展示 等



(6) 入館状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	229,489人	237,126人	188,729人

函館市縄文文化交流センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成23年10月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町551番地1
- ・構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- ・建物延面積 1,733.43㎡
- ・開館時間 4月1日～10月30日 午前9時～午後5時
11月1日～3月31日 午前9時～午後4時30分
- ・休 館 日 毎週月曜日（月曜が休日の場合は、その日に最も近い平日），毎月最終金曜日，
年末年始（12月29日～1月3日）

(2) 施設の特徴

国宝「中空土偶」ほか市内の縄文時代の遺跡から出土した遺物を展示・公開する登録博物館であり、「道の駅」機能も備えている（「道の駅」縄文ロマン南かやべ）。

(3) 入館料

- 一 般 個人300円，団体（20名以上）240円
- 学生・生徒・児童 個人150円，団体（20名以上）120円

(4) 運営の方針

函館市の縄文時代の貴重な文化遺産を市民共有の歴史的資産として次代に引き継ぎ、それらを活用して地域間交流や各種事業を展開することにより、文化財の保護とともに、個性豊かなまちづくりならびに地域振興に寄与することを目的とする。

(5) 展示の内容等

- ・国宝「中空土偶」をはじめ、市内の縄文時代の遺跡から出土した土器や石器等の遺物を展示
- ・土器づくりや縄文編み等の体験学習の実施および定期講座の開催



(6) 入館状況

	平成23年度	平成24年度
利用者数	28,292人	44,791人

函館市大船遺跡埋蔵文化財展示館

(1) 施設の概要

- ・ 設 立 平成12年4月28日
- ・ 所 在 地 函館市大船町575番地1
- ・ 構 造 木造パネル工法平屋建
- ・ 建物延面積 185.49㎡
- ・ 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- ・ 休 館 日 無休(開館期間4月20日～11月12日)



(2) 施設の特徴

大船遺跡を中心に、函館市内の縄文遺跡などについてパネルによる展示解説。

(3) 運営の方針

南茅部地域に花開いた縄文文化の息吹を感じさせ、もって市民の文化的向上に寄与する。

(4) 展示の内容

遺跡紹介、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の紹介、大船遺跡ジオラマ等

(5) 入館状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	13,063人	15,254人	12,056人

函館市戸井埋蔵文化財展示館

(1) 施設の概要

- ・ 設 立 平成10年9月22日
- ・ 所 在 地 函館市泊町177番
- ・ 構 造 鉄骨造平屋建
- ・ 敷地面積 2,908.16㎡
- ・ 建物延面積 588.00㎡
- ・ 収容能力 展示室(137㎡), 管理諸室(451㎡)
- ・ 開館時間 午前9時～午後5時
- ・ 休 館 日 土・日曜日, 国民の祝日,
年末年始(12月29日～1月3日)



(2) 施設の特徴

縄文時代の土器類を展示しているほか、数多くの石器や土器、骨角器を保管している。

(3) 運営の方針

郷土から出土した埋蔵文化財を保存し、および展示してその活用を図り、もって市民の文化的向上に寄与する。

(4) 展示の内容

戸井地区内の各遺跡、貝塚から発掘された縄文時代の土器類を展示。

(5) 入館状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	4人	5人	0人

函館市民会館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和45年7月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町1丁目32番1号
(TEL57-3111・FAX57-3115)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造独立基礎
外壁茶系磁気質山丁掛窯変タイル
パイル打ち地下1階地上4階建
- ・建物延面積 7,277.33㎡
- ・建物内容 大ホール 固定席1,370席
(車いす使用席12席含む)
楽屋5室, 舞台243㎡

小ホール 椅子500席
大会議室 椅子300席
展示室 (展示用360㎡)
小会議室1号 (応接室風72㎡・30人)
小会議室2号 (円卓会議室風72㎡・26人)
和室 (28畳・40人), 事務室, 応接室等



(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始 (12月31日～1月3日), 器材点検日 (随時)

(3) 運営の方針

優れた舞台芸術の発表や鑑賞の場として, 市民の文化意識の高揚を図るとともに, ホールとして市民に親しまれ活用される運営に努める。また, 市民の創造的な文化活動を助長する事業を展開・推進することにより, 市の活性化とまちづくりに寄与するとともに, 市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらす事業を行う。

(4) 主催事業 (文化・スポーツ振興財団事業)

- ・鑑賞型事業 ～ ミロシュ・ギター・リサイタル, 劇団四季「ソング&ダンス」,
山田和樹指揮横浜シンフォニエッタ, 寺内タケシとブルージーンズ,
札幌交響楽団ニューイヤーコンサート 他
- ・参加創造型事業 ～ 市民文化祭 (舞台芸術部門, 展示部門) 他
- ・育成学習型事業 ～ ざいだん邦楽こども教室, 函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ定期演奏会 他
- ・奨励型事業 ～ 函館ダンスフェスティバル2013

(5) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
大ホール	130,738人	114,548人	106,790人
小ホール	46,885人	45,870人	45,087人
大会議室	25,330人	28,701人	25,199人
その他諸室	34,600人	34,135人	33,820人
計	237,553人	223,254人	210,896人

函館市芸術ホール（ハーモニー五稜郭）

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成10年5月9日
- ・所 在 地 函館市五稜郭町37番8号
(TEL55-3521・FAX55-3586)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階
地上4階建（一部鉄筋コンクリート造）
- ・建物延面積 5,945.71㎡
- ・建物内容 ホール 目的に応じて音楽舞台と
多目的舞台に転換



音楽舞台 [最大幅17m×高さ11m×奥行9.5m] 712席
 多目的舞台[プロセニウム幅13.8m×高さ6～8m(可動式)×奥行12.5m,全幅30m] 842席
 (各車イス使用席4席含む)

楽屋3室

ギャラリー(400㎡), リハーサル室(182㎡), 練習室1号(27㎡), 練習室2号(20㎡),
 録音調整室(10㎡), 会議室(楽屋として使用可56㎡),
 オープンギャラリー, カフェテラス, 事務室, 応接室 等

(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日)

(3) 運営の方針

市民の芸術・文化活動の創作, 発表の場, 質の高い音楽演奏などを提供する場として, 地域の芸術・文化振興の核となる運営に努める。また, ギャラリーやオープンギャラリーなどの施設を有効に活用し, 市民会館とあわせ, 市の活性化とまちづくりに寄与するとともに, 市民の生活に潤いと心の豊かさをもたらす事業の実施に努める。

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・鑑賞型事業～リサイタル・シリーズ, 宝くじ文化公演「モリー先生との火曜日」他
- ・育成学習型事業～弦楽クリニック, ステージラボ2013レッツ!ワークショップ 他
- ・参加創造型事業～市民文化祭(舞台芸術部門, 展示部門)
- ・奨励型事業～ハコダテライブステージ「五稜郭街舞台」, 市民美術展「はこだて・冬・アート展」他

(5) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
ホ ー ル	73,096人	72,782人	68,419人
リハーサル室	12,963人	13,842人	12,418人
ギ ャ ラ リ ー	24,501人	25,267人	20,998人
そ の 他 諸 室	8,228人	8,662人	8,844人
計	118,788人	120,553人	110,679人

(2) スポーツ施設の概要一覧

(単位：㎡)

施設名	住所	開設年月日	総面積	プレー面積	施設概要
千代台公園陸上競技場	千代台町 22-24	S36.10.29 (H11.3 改修)	31,200	20,400	第2種公認 全天候トラック9レーン スタンド収容人員15,000人
野球場					
千代台公園野球場	千代台町 22-26	S26.7.4 (H6.3 改修)	23,400	13,650	両翼99.1m, 中堅122m スタンド収容人員20,000人
函館八幡宮外苑野球場	谷地頭町 9	S29.7	13,014	8,300	市有地8,816.24㎡ 借地 4,197.43㎡
新川公園野球場	上新川町 18	S23	8,158	6,700	スタンド収容人員1000人
根崎公園野球場	高松町 29	S49.9.1	12,100	11,000	スタンド収容人員450人 ダッグアウト(2ヶ所)各15㎡
西桔梗野球場	西桔梗町 252-27	H19.5.1	24,032	10,600	両翼90m, 中堅115m ダッグアウト(2ヶ所) 照明設備 スタンド収容人員270人
運動広場					
根崎公園少年運動広場	高松町 581	S57.10.25	6,090	4,950	少年野球・少年サッカー
函館市 戸井運動広場	小安町 525-1	S61.4.1	27,168		多目的グラウンド, テニス・ゲートボールコート クラブハウス(木造平屋建284.31㎡)
函館市 恵山運動広場	川上町 511	S54.6.9	9,600		グラウンド
函館市 古部グラウンド	古部町 252-3	H11.4.1	1,614		
函館市 南茅部運動広場	川汲町 1657(お)	H元 4.1	35,889.91		野球場, グラウンド, 管理棟, 駐車場
球技場					
函館市 日吉サッカー場	日吉町4丁目 7	H9.4.1	47,771	17,940	芝, クレイコート各1面, クラブハウス 収容人員2,500人
根崎公園ラグビー場	湯川町3丁目 6	S44.9.1	20,400	13,500	スタンド収容人員3,000人
庭球場					
函館市 青柳市民庭球場	青柳町 9	S15.8.1	2,380	1,600	クレイコート2面, 更衣室, トイレ
千代台公園庭球場	千代台町 27-2	S43.4.1 (H3~5 改修)	12,900	7,600	砂入人工芝10面, 夜間照明設備 クラブハウス
NHK広場テニスコート	富岡町3丁目 21	S49.8.20	2,400	1,400	アスファルトコート2面
函館市 日吉市民庭球場	日吉町4丁目 7	S60.8.31	3,864	3,400	クレイコート5面

(単位：㎡)

施設名	住所	開設年月日	総面積	プレー面積	施設概要
庭球場					
函館市 南茅部市民庭球場	白尻町 327-3	H2.10.1	3,562	1,672	ゴムチップウレタンコート2面
総合体育館					
函館市民体育館	湯川町 32-2	S50.2.21	7,426.04		主競技場1,720㎡ 収容人員3,000人
函館市 恵山総合体育館	川上町 506	S49.4.1	1,516		
函館市 古部体育館	古部町 252-3	H11.4.1	432		
函館市南茅部 スポーツセンター	白尻町 604-1	S59.7.1	2,291.90		アリーナ, 研修室兼柔剣道室 研修室兼トレーニング室, 控室
プール					
函館市民プール	千代台町 22-25	S46.7.20 (S61.6改修)	6,701.01		50m×21m 8コース(日本水泳連盟公認) 25m×16m 7コース
函館市 恵山プール	川上町 506	S49.7.1	723.61		25m×16m 6コース
函館市 南茅部プール	尾札部町 1608-1	H10.4.1	1,667.08		25m×13m 6コース 低学年プール, ジャグジープール
千代台公園弓道場	千代台町 27-8	S32.8.28 (H12.7改修)	512		道場169㎡ 的数5ヶ 射程距離28m
根崎公園アーチェリー場	湯川町3丁目 6	S44.9.1	4,140		射場2,700㎡ 的数14ヶ 射程距離90m
海水浴場					
函館市 湯川海水浴場	根崎町4~6 10,11番地先	H7.7.9	8,250	7,000	遊泳区域70m×100m, 浮島4.5m×8.5m 通路2.0m×30m, トイレ, シャワー, 更衣室
函館市 入舟町前浜海水浴場	入舟町 22番地先	S55		3,000	遊泳区域60m×50m トイレ, 更衣室
函館市 白尻スキー場	白尻町 593-1	H2.1.10		25,000	ロープ塔(第1・第2ゲレンデ) ロッジ 92.74㎡
函館市民スケート場	金堀町 10-8	H3.1.13 (H14.3改修)	5,024.4 (氷面積)	5,024.4 (氷面積)	スピードスケートリンク(1周250m) サブスケートリンク(29m×60m) 貸スケートコーナー

千代台公園野球場（オーシャンスタジアム）

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和26年7月4日
(全面改修 平成6年5月28日供用開始)
- ・所 在 地 函館市千代台町22番26号
(TEL53-3210・FAX31-7460)
- ・施設面積 23,400㎡
- ・施設概要 グラウンド 13,650㎡
 - ・両翼99.1m, 中堅122m, 内野(クレイ), 外野(芝生), スタンド
 - ・収容人員 約20,000人
 - 内野メインスタンド 鉄筋コンクリート造3階建
 - 内野スタンド 盛土階段スタンド
 - 外野スタンド 盛土芝生スタンド
 - ・主要諸室 事務室, 本部席, 審判席, 放送席, 役員席, 医務室,
公式記録員席, 会議室, ロッカールーム
シャワー室, トイレ, ブルペン, 運営準備室

(2) 開設期間

5月1日～10月31日

(3) 主催事業（文化・スポーツ振興財団事業）

- ・プロ野球パ・リーグ公式戦「北海道日本ハムファイターズVS埼玉西武ライオンズ」
- ・オーシャンスタジアム杯少年野球大会

(4) 施設の利用状況

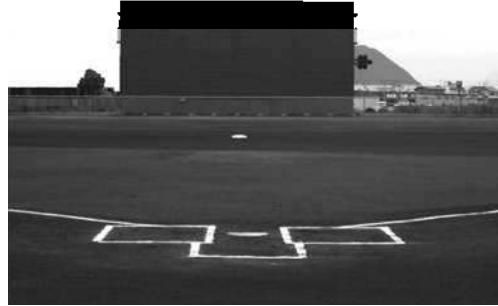
区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	82,226人	80,408人	77,052人



西 桔 梗 野 球 場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成19年5月1日
- ・所 在 地 函館市西桔梗町252番地27
(TEL・FAX49-3384)
- ・施設面積 24,032㎡
- ・施設概要 グラウンド 10,600㎡
 - ・両翼90m, 中堅115m, スタンド
 - ・収容人員 約270人 照明設備
 - ・主要諸室 事務室, ロビー, 更衣室
トイレ, 物品庫



(2) 開設期間等

5月1日～11月第2日曜日まで

供用時間 午前5時から午後10時まで

(3) 運営の方針

スポーツ振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	11,764人	14,362人	13,744人

函 館 市 戸 井 運 動 広 場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和61年4月1日
- ・所 在 地 函館市小安町525番地1 (TEL82-3537)
- ・施設面積 27,168㎡
- ・施設概要 クラブハウス(284.31㎡), 事務室,
医務室, 器具室,
談話室, 更衣室,
多目的グラウンド1面, テニスコート2面,
ゲートボールコート2面, 幼児広場
ランニングロード500m



(2) 開設期間

4月1日～11月30日

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後5時30分
- ・休 館 日 月曜日, 国民の祝日の翌日

(4) 運営の方針

市民がそれぞれの年齢と体力に応じてスポーツを楽しむと共に、憩いの場として活用し、心身ともに健康で明るい生活を送れるよう開放する。

(5) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	6,307人	6,919人	6,371人

函館市恵山運動広場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和54年6月9日
- ・所 在 地 函館市川上町511番地
- ・施設面積 9,600㎡
- ・施設概要 野球グラウンド1面, 器具室, トイレ

(2) 開設期間

1月4日～12月28日

(3) 開館時間, 休館日

日の出から日没まで

(4) 運営の方針

市民の健康増進を図り、体力の向上に寄与するため

(5) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	1,096人	667人	1,018人



函館市南茅部運動広場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成元年4月1日
- ・所 在 地 函館市川汲町1657番地ほか (TEL25-5967)
- ・施設面積 35,889.91㎡
- ・施設概要 野球場 面積14,000㎡ 両翼90m,
中堅110m内野(クレイ), 外野(芝生)
スタンド 収容人員 約700人
〔内野スタンド 鉄筋コンクリート造(200人)
〔外野スタンド 盛土芝生スタンド(500人)
本部室, ダッグアウト,
グラウンド (クレイ)
〔収容人員 約500人, 面積11,200㎡
〔トラック 300m×6, サッカー1面, ソフトボール2面,
管理事務室, トイレ, 休憩所, 器具庫



(2) 開設期間等

4月第4土曜日～10月第4日曜日

供用時間 午前5時～日没

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る

(4) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
野 球 場	5,468人	6,662人	4,556人
グラウンド	3,428人	4,500人	2,910人
計	8,896人	11,162人	7,466人

函館市日吉サッカー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成9年4月1日
- ・所在地 函館市日吉町4丁目7番
(TEL・FAX54-1960)
- ・施設面積 51,634.75㎡(テニスコート含む)
- ・施設概要 芝コート(115m×78m), クレイコート(同左)
各1面(日本サッカー協会競技規則準拠)
管理事務所(鉄骨造2階建) 335.36㎡
1階(195.2㎡)
・事務室, トイレ(男女・身障者用), シャワー室, 更衣室, 器具庫, 物品庫
2階(140.16㎡)
・会議室(80名収容), 多目的広場(ゲートボール場22×17m, 木製遊具),
駐車場64台(管理事務所側34台, テニスコート側30台)



(2) 開設期間等

- 4月1日～ 8月31日まで 午前7時～午後7時まで
 9月1日～ 9月30日まで 午前7時～午後6時まで
 10月1日～11月30日まで 午前7時～午後5時まで

(3) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	13,097人	13,514人	13,118人

根崎公園ラグビー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和44年9月1日
- ・所在地 函館市湯川町3丁目6番(根崎公園内)
- ・施設面積 20,400㎡
- ・施設概要 プレー面積13,500㎡(芝)
スタンド(3,000人収容)
更衣室, 物品庫, ゴールポスト



(2) 開設期間

- 4月第2日曜日～11月第2日曜日

(3) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	3,280人	3,265人	4,780人

千代台公園庭球場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和43年4月1日(改修 平成3～5年)
- ・所 在 地 函館市千代台町27番2号
(TEL・FAX31-6993)
- ・施設面積 12,900㎡
- ・施設概要 テニスコート
砂入人工芝コート10面(プレー面積7,600㎡)
移動式ベンチ40基, 審判台10基
夜間照明
メタルハライドランプ(1000W×80個)
4灯用12基, 8灯用4基(いずれも電撃殺虫器付)
平均照度 800ルクス
放送設備
スピーカー8基, CDダブルカセットデッキ, マイクセット一式
観覧席
盛土コンクリート階段スタンド(ベンチ式席), 収容人員 約800人
クラブハウス
構造: 鉄骨造2階建, 面積: 1階148.55㎡, 2階140.77㎡, 延べ289.32㎡
主要諸室
ロッカー室(男女各1), 男子トイレ(大1小2), 女子トイレ(4), シャワー室(男3基女1基)
大会運営室(サービスカウンター付)



(2) 開設期間等

- 4月1日～11月第2日曜日
- 利用時間 午前6時～午後5時(日中)
午後5時～午後10時(夜間)

(3) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・テニス教室

(4) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	60,811人	60,368人	66,909人

函館市南茅部市民庭球場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成2年10月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町327番地3
- ・施設面積 3,562㎡
- ・施設概要 テニスコート(プレー面積1,672㎡)
全天候型(ゴムチップウレタン塗装)2面

(2) 開設期間等

- 4月第4土曜日～11月第3日曜日
- 開館時間 午前9時～日没

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り, もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	85人	117人	73人



函館市民体育館

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和50年2月21日
- ・所 在 地 函館市湯川町1丁目32番2号
(TEL57-3141・FAX57-3142)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造4階建一部鉄骨造
外壁茶系磁気質三丁掛窯変タイル
- ・敷地面積 35,340.05㎡
- ・建物延面積 7,426.04㎡
- ・建物内容 競技場 1,720㎡～室内競技全種目
収容人員3,000人 固定スタンド席1,000席
移動椅子席 2,000席
第1体育室 (393.6㎡)
第2体育室 (192㎡～柔道練習室)
第3体育室 (192㎡～剣道・空手練習室)
第4体育室 (110㎡)
幼児体育室 (121㎡)
トレーニング室 (174㎡)
会議室 (第1・第2・第3), 更衣・シャワー室, 応接室, 事務室等



(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 年末年始(12月31日～1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

市民生活におけるスポーツ振興と生活内容として営むことのできる生涯体育の基礎をつくり、スポーツの継続化、生活化を促進する。

- ・生涯スポーツの基礎づくりとスポーツのもつ社会的機能・役割の促進
- ・健康な生活を高めるスポーツ活動の促進
- ・市民総参加の活動を目指した普及振興事業の推進
- ・施設利用プログラムの編成と自主スポーツクラブの育成・推進

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・スポーツ教室～親子体育, ジュニア室内サッカー, 筋力アップストレッチ 他
- ・スポーツ振興事業～レバンガ北海道バスケットボール教室 他
- ・指導者養成～函館市地域スポーツ指導員研修会, 市民スポーツ研修会 他

(5) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
個人利用	81,738人	82,520人	82,860人
団体利用	138,018人	143,051人	136,144人
計	219,756人	225,571人	219,004人

函館市恵山総合体育館

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和49年4月1日
- ・所 在 地 函館市川上町506番地(Tel84-2031・FAX84-2031)
- ・構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建
- ・敷地面積 11,801.56㎡
- ・建物延面積 1,516㎡
- ・建物内容 体育館(936㎡), 更衣室(男女各1:128㎡),
談話ホール(90㎡), 器具室, 事務室等(362㎡)



(2) 開設期間

1月4日～12月28日

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時30分～午後4時30分(日・木・土・祝日)
午前9時30分～午後8時30分(火・水・金)
- ・休館日 月曜日・祝日の翌日

(4) 運営の方針

社会体育の振興を図り、市民体育の向上に寄与するため

(5) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	5,885人	4,779人	4,092人

函館市古部体育館

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成11年4月1日
- ・所 在 地 函館市古部町252番地3
- ・構 造 鉄筋コンクリート造平屋建
- ・建物延面積 432㎡
- ・建物内容 体育館(283.36㎡)



(2) 開設期間等

1月1日～12月31日

開館時間 午前9時～午後9時

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	0人	0人	0人

函館市南茅部スポーツセンター

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和59年7月1日
- ・所 在 地 函館市白尻町604番地1
(TEL・FAX25-5039)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- ・建物延面積 2,291.90㎡
- ・建物内容 アリーナ (949.39㎡)
研修室兼トレーニング室 (73.5㎡)
研修室兼柔剣道室 (230㎡)
更衣室 (男女別) , 事務室, 控室



(2) 開館時間・休館日

- ・開館時間 午前9時～午後9時 (日曜日のみ午後5時まで)
- ・休館日 年末年始 (12月29日～1月3日)

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
個人利用	2,338人	2,548人	2,634人
団 体 利 用	14,130人	15,662人	16,058人
計	16,468人	18,210人	18,692人

函館市民プール

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和46年7月20日
(昭和61年 屋内50mプール改修)
- ・所 在 地 函館市千代台町22番25号
(TEL52-7452・FAX52-7657)
- ・構 造 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
2階建一部地階
- ・敷地面積 8,886.54㎡
- ・建物延面積 6,701.01㎡
- ・建物内容 管理棟, 事務室, 会議室, クラブ室
ロビー, シャワー室, 更衣室等
25mプール棟~25×16m×7コース
50mプール棟~50×21m×8コース
15mプール (15m×6m)
幼児プール (変形 67㎡)
採暖室, シャワー室, 監視員室, 放送室
医務室, ロビー, 会議室, 観客席(固定席600席)等



(2) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前10時~午後9時
- ・休館日 年末年始(12月31日~1月3日), 器材点検日(随時)

(3) 運営の方針

市民皆泳をめざし, 水泳活動の拠点として施設の機能と役割を果たす効果的な運営を図る。

① 管理運営目標

- ・安全管理体制の強化 ・施設, 設備の整備拡充
- ・指導体制の充実強化 ・広報, 公聴活動の促進

② 主催事業目標

- ・水泳知識と技術の普及 ・市民皆泳の推進

③ 施設利用目標

- ・余暇時間の健全な活用と個人利用の拡充 ・クラブの育成と拡充

(4) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

市民水泳教室, パワフルスイム, 水中ウォーキング教室, ウォータビクス教室, 市民プールまつり,
市民水泳記録会 他

(5) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
個人利用	29,647人	29,767人	29,684人
回数券利用	7,727人	8,616人	6,829人
団体利用	15,086人	14,717人	14,599人
その他	71,223人	68,949人	74,794人
計	123,683人	122,049人	125,906人

函館市恵山プール

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成49年7月1日
- ・所 在 地 函館市川上町506番地(TEL84-2031)
- ・構 造 鉄筋鉄骨コンクリート造平屋建
- ・建物延面積 723.61㎡
- ・建物内容 25mプール ～ 25×16m×6コース
シャワー室, ロッカー室, サウナ室



(2) 開設期間

7月2日～8月31日

(3) 開館時間, 休館日

- ・開館時間 午前9時30分～午後4時30分(火～日・祝日)
- ・休館日 月曜日・祝日の翌日

(4) 運営の方針

市民の心身の健全な発達を図るとともに、水泳の基本的な技術の習得を図り、もって水に対する事故に対応できる市民の育成を図る。

(5) 主催事業

プール教室(5回)

(6) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	1,924人	1,566人	1,637人

函館市南茅部プール

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成10年4月1日
- ・所 在 地 函館市尾札部町1608番地1
(TEL・FAX63-2269)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部二階建
- ・建物延面積 1,667.08㎡
- ・建物内容 一般用プール 25×13m×6コース,
低学年用プール, ジャグジープール,
更衣室, ミーティング室, トレーニング室, 事務室



(2) 開設期間等

- ・開設期間 4月1日から10月31日まで
- ・開館時間 午後1時～午後6時(水曜日および金曜日にあつては午後8時まで)
- ・休館日 月・火曜日

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り、もって市民の心身の健全な発達に寄与するとともに、効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	8,210人	7,592人	7,034人

千代台公園弓道場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和32年8月28日
(一部改修 平成12年4月～7月)
- ・所 在 地 函館市千代台町27番8号(TEL53-4322)
- ・施設面積 512㎡
- ・施設内容 建築面積 射場・待機場他169㎡, 的場30㎡
的数5ヶ, 射程距離28m



(2) 開設期間等

通年(1月4日～12月28日)ただし、毎週水曜日は休館日
開館時間 午前9時～午後9時

(3) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用人員	12,188人	12,850人	11,768人

根崎公園アーチェリー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和44年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目6番
- ・施設面積 4,140㎡
- ・施設内容 射場 2,700㎡, 的数14ヶ
射程距離 90m, スタンド(1,000人収容)
更衣室, 物品庫



(2) 開設期間

4月第2日曜日～11月第2日曜日

(3) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用人員	1,146人	1,134人	1,195人

函館市湯川海水浴場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成7年7月9日
- ・所 在 地 函館市根崎町4, 5, 6, 10, 11番地先
(函館市熱帯植物園前浜)
- ・施設規模 75×110m (遊泳区域70×100m)
水深0～1.2m, 浮島4.0×9.0m (通路2.0×30m)
- ・設置形態 シーズン設置～杵ロープ, 筋ロープ, 敷きネット
側ネット, 浮島, コースロープ
航路標識灯
- ・付帯施設 トイレ (男女各5), シャワー (男女各3)
更衣室 (男女各1), 監視所 (電話, 放送設備等)
駐車場 (約90台)



(2) 開設期間等

- ・平成25年7月20日～8月18日 (予定)
- ※遊泳時間は午前10時～午後4時30分まで

(3) 運営の方針

市民の心身の健康な発達とスポーツ・レクリエーション活動の普及, 促進を図る。

(4) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用人員	35,794人	31,846人	31,367人

函館市入舟町前浜海水浴場

(1) 施設の概要

- ・開 設 昭和55年
- ・所 在 地 函館市入舟町22番地先
- ・施設規模 60×50m, 水深0～3m
- ・付帯施設 トイレ (男女各1), 更衣室 (男女各1), 監視所, 駐車場 (約10台)

(2) 開設期間等

- ・平成25年7月25日～8月18日 (予定)
- ※遊泳時間は午前10時～午後4時まで

(3) 運営の方針

市民の心身の健康な発達とスポーツ・レクリエーション活動の普及, 促進を図る。

(4) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用人員	1,841人	2,294人	2,954人

函館市白尻スキー場

(1) 施設の概要

- ・開 設 平成2年1月10日
- ・所 在 地 函館市白尻町593番地1 (TEL25-5797)
- ・施設面積 25,000㎡
- ・施設内容 第1ゲレンデ 13,000㎡
第2ゲレンデ 12,000㎡
斜度 最高 約30度, 最低 9度
簡易リフト 第1リフト 170m
第2リフト 206m
ナイター照明6柱, ロッジ(木造平屋造) 92.74㎡



(2) 開設期間等

12月第4土曜日～3月第3日曜日 供用時間 午前9時～午後9時
ただし, リフト運行時間: 午後1:00 (日曜日および祝日にあつては午前9時)～午後9時

(3) 運営の方針

スポーツの振興を図り, もつて市民の心身の健全な発達に寄与するとともに, 効率的な運営を図る。

(4) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用者数	3,267人	2,764人	2,754人

函館市民スケート場

(文化・スポーツ振興財団)

(1) 施設の概要

- ・設 立 平成3年1月13日
(全面改修 平成14年12月14日供用開始)
- ・所 在 地 函館市金堀町10番8号
(TEL54-5233・FAX54-5616)
- ・構 造 仮設式アイスパネル屋外組立解体式
- ・氷 面 積 5,024.4㎡
- ・施設内容 スピードスケートリンク (1周250m)
サブスケートリンク (29m×60m)
休憩所(屋内・外), 貸スケートコーナー等



(2) 開設期間等

- ・開設期間 12月中旬～翌年2月中旬
- ・開場時間 土・日・祝日, 公立小中学校の冬休み期間 午前10時～午後7時
その他の日 正午～午後7時
時間外開場(専用使用の場合に限る) 午後7時～午後10時
- ・休 場 日 12月31日, 1月1日

(3) 主催事業(文化・スポーツ振興財団事業)

- ・各種スケート教室, スケート実技講習会, スケート場イベントデー 他

(4) 施設の利用状況

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
利用人員	36,840人	36,980人	32,123人

(3) 社会教育・スポーツ施設の利用状況

(単位:人)

分類	施設名	22年度	23年度	24年度	備考	
社会教育施設	学習活動拠点施設	公民館	29,323	29,867	29,137	
		亀田公民館	23,011	20,514	20,375	
		戸井公民館	4,785	3,606	2,560	
		南茅部公民館	6,178	7,410	6,503	
		戸井生涯学習センター	2,678	1,788	2,988	
		戸井総合学習センター	2,348	2,678	2,710	
		楳法華総合センター	3,571	2,834	4,659	
		亀田福祉センター	127,611	137,534	136,700	
		青年センター	80,995	71,822	51,469	
		青少年研修センター	23,269	27,393	26,324	
		亀田青少年会館	27,182	27,577	30,208	
		戸井青少年会館	3,787	3,303	3,160	
		南茅部青少年会館	206	242	597	
	学習活動援助施設	中央図書館(移動図書館含)	300,374	316,950	282,448	
		千歳図書室	30,577	33,628	30,362	
		美原図書室	25,311	27,690	25,816	
		湯川図書室	20,143	21,619	21,098	
		旭岡図書室	7,540	7,388	5,790	
		港図書室	13,127	13,172	12,552	
		桔梗配本所	6,506	7,916	9,087	
		博物館	11,497	9,245	10,579	
		郷土資料館	6,141	6,151	5,746	
		戸井郷土館	74	94	208	
		恵山郷土博物館	4,527	4,595	6,040	
		重要文化財旧函館区公会堂	135,122	127,856	144,062	
		北洋資料館	13,289	10,921	11,902	
		文学館	17,609	16,186	17,702	
		北方民族資料館	23,893	21,617	23,665	
		道立函館美術館	47,905	48,376	49,253	総観覧者数
		箱館奉行所	229,489	237,126	188,729	H22.7.29 開館
	縄文文化交流センター	-	28,292	44,791	H23.10.1 開館	
	大船遺跡埋蔵文化財展示館	13,063	15,254	12,056		
	戸井埋蔵文化財展示館	4	5	0		
芸術活動 観覧施設	市民会館	237,553	223,254	210,896		
	芸術ホール	118,788	120,553	110,679		
スポーツ施設	陸上競技場	千代台公園陸上競技場	103,760	111,630	103,125	
	野球場	千代台公園野球場	82,226	80,408	77,052	
		函館八幡宮外苑野球場	6,853	6,922	6,504	
		新川公園野球場	11,711	11,609	11,888	
		根崎公園野球場	13,618	12,137	13,218	
		西桔梗野球場	11,764	14,362	13,744	
	運動広場	根崎公園少年運動広場	5,630	6,310	13,218	
		戸井運動広場	6,307	6,919	6,371	
		恵山運動広場	1,096	667	1,018	
		古部グラウンド	0	0	0	
	球技場	南茅部運動広場	8,896	11,162	7,466	
		日吉サッカー場	13,097	13,514	13,118	
		根崎公園ラクビー場	3,280	3,265	4,780	
	庭球場	青柳市民庭球場	7,293	5,967	5,925	
		千代台公園庭球場	60,811	60,368	66,909	
		NHK広場テニスコート	1,145	809	1,365	
		日吉市民庭球場	4,705	3,788	4,179	
		南茅部市民庭球場	85	117	73	
	総合体育館	函館市民体育館	219,756	225,571	219,004	
		恵山総合体育館	5,885	4,779	4,092	
		古部体育館	0	0	0	
		南茅部スポーツセンター	16,468	18,210	18,692	
	プール	函館市民プール	123,683	122,049	125,906	
恵山プール		1,924	1,566	1,637		
南茅部プール		8,210	7,592	7,034		
弓道場	千代台公園弓道場	12,188	12,850	11,768		
アーチェリー場	根崎公園アーチェリー場	1,146	1,134	1,195		
海水浴場	函館市湯川海水浴場	35,794	31,846	31,367		
	函館市入舟町前浜海水浴場	1,841	2,294	2,954		
スキー場	函館市臼尻スキー場	3,267	2,764	2,754		
スケート場	函館市民スケート場	36,840	36,980	32,123		

5 学校開放事業の概要

(1) スポーツ開放事業

ア 開放の目的

小・中学生の施設を学校教育に支障のない範囲で、市民のスポーツ活動等に開放し、青少年の健全な育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。

イ 開放の区分

(ア) 校庭開放 ～ 児童および幼児（幼児は保護者の付添いのあるもの）の遊び場として利用に供するため、グラウンドおよびレクリエーションの利用に供するため、体育館を開放するもの。

(イ) 遊泳開放 ～ 児童および生徒の団体であって、成人の責任者の引率するものが遊泳に供するため、プールを開放するもの。

(ウ) スポーツ開放 ～ 函館市内に在住または勤務する者の団体であって、成人の責任者の引率するものが行うスポーツおよびレクリエーションの利用に供するため、体育館を開放するもの。

ウ 開放する学校

(ア) 校庭開放（15校）

小学校 青柳、あさひ、北星、港、高盛、千代田、柏野、深堀、北日吉、高丘、北昭和、昭和、北美原、鍛神、東山

(イ) 遊泳開放（21校）

小学校 青柳、あさひ、北星、八幡、万年橋、港、中島、駒場、上湯川、旭岡、亀尾、東、桔梗、中の沢、昭和、中央、北美原、神山、東山、本通、南本通

(ウ) スポーツ開放（55校）

小学校 弥生、青柳、あさひ、中部、北星、八幡、万年橋、港、千代ヶ岱、中島、千代田、柏野、金堀、駒場、日吉が丘、上湯川、深堀、北日吉、亀尾、鱒川、石崎、桔梗、中の沢、北昭和、昭和、亀田、赤川、中央、北美原、鍛神、東山、神山、本通、南本通、戸井西、日新、えさん、椴法華、磨光、大船

中学校 潮見、凌雲、五稜、大川、港、光成、深堀、湯川、戸倉、赤川、桔梗、亀田、桐花、日新、椴法華

エ 開放時間帯

(ア) 校庭開放	土曜日	午後1時～午後4時
	日・祝日(春・夏・冬休み含む)	午前10時～午後1時 午後1時～午後4時
(イ) 遊泳開放	夏休み期間中の土曜日	午後1時～午後3時
	夏休み期間中の日曜日	午前10時～正午 午後1時～午後3時
(ウ) スポーツ開放	月曜日～土曜日(祝日を除く)	午後6時～午後9時

オ 管理体制

開放校に学校開放主事と学校開放管理指導員を置く。

学校開放管理指導員は、教育委員会、学校開放主事の命を受けて、利用者の指導および事故防止等の業務に従事する。

(2) 文化開放事業

ア 開放の目的

文化活動（音楽・芸能・文学・芸術等）などを行うグループ・サークルに対し、練習や活動の場を提供する。

イ 開放する学校および諸室（13校）

小学校（8校）

八幡小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，うさぎ広場，音楽広場

金堀小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，図工室

石崎小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室

鍛神小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，図工室，多目的教室

あさひ小学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，図工室，1階昇降口ホール

中の沢小学校 ～ 家庭科室，音楽室，多目的教室

昭和小学校 ～ 音楽室，視聴覚室，図工室

弥生小学校 ～ 家庭科室，音楽室，視聴覚室，多目的ホール，会議室，図工室

中学校（5校）

港中学校 ～ 家庭科室，図書室

深堀中学校 ～ 家庭科室，図書室，音楽室，視聴覚室，技術室，作法室(和室)
多目的ホール

戸倉中学校 ～ 図書室

桐花中学校 ～ 図書室，音楽室，視聴覚室，美術室，作法室(和室)

桔梗中学校 ～ 家庭科室，視聴覚室

ウ 開放期間および開放時間帯

12月29日～1月3日を除き通年開放。ただし，学校諸行事が優先。

月～金曜日 午後6時～9時

土・日曜日および祝日 午前9時～正午

午後1時～午後4時

午後6時～午後9時

エ 管理体制

開放時に学校開放管理員1名を置く。（業務委託）

(3) 学校開放状況の推移

校庭開放・スポーツ開放

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開放校数	55校	55校	55校
校庭開放	15校	15校	15校
スポーツ開放	53校	53校	54校
校庭・スポーツ開放	13校	13校	15校
利用人員	108,666人	104,786人	100,053人
開放回数	9,918回	9,645回	8,990回

遊泳開放

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開放校数(実施校数)	22校(1校)	22校(1校)	22校(0校)
利用人員	1団体41人	1団体22人	0人
開放回数	2回	3回	0回

文化開放

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度
開放校数	12校	12校	13校
利用回数	1,704回	1,863回	1,779回
利用人員	21,047人	22,710人	21,181人

6 財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

○ 財団法人函館市文化・スポーツ振興財団

設立 平成元年. 2. 15

湯川町1丁目3番1号 函館市民会館内
TEL57-9734 FAX57-3115

(1) 設立趣旨

函館市の社会教育施設の管理に市民の参加と民間経営の手法を導入することにより、効率良い運営とサービスの向上を図るとともに、市民の求めている文化・スポーツ事業や学習活動を市民参加の中で柔軟に計画・実施・運営することにより、市民の文化・スポーツの振興に寄与することを目的とする。

(2) 設立形態および基本財産

民法第34条による公益法人
函館市出捐金 3,000万円

(3) 管理運営施設

市民会館，市民体育館，市民プール，重要文化財旧函館区公会堂，北方民族資料館，北洋資料館，文学館，屋外スポーツ施設（千代台公園野球場，千代台公園陸上競技場，千代台公園庭球場），芸術ホール，千代台公園

(4) 管理運営施設（直営）

市民スケート場（12月～2月）

(5) 事業概要

① 文化振興事業

鑑賞型事業，参加創造型事業
育成学習型事業，奨励型事業

② スポーツ振興事業

鑑賞型事業，参加型事業
学習型事業，養成型事業

③ 文化・スポーツ施設等の管理運営事業

函館市の指定を受けて，文化・スポーツ施設の管理運営を行う。

④ スケートリンク運営事業

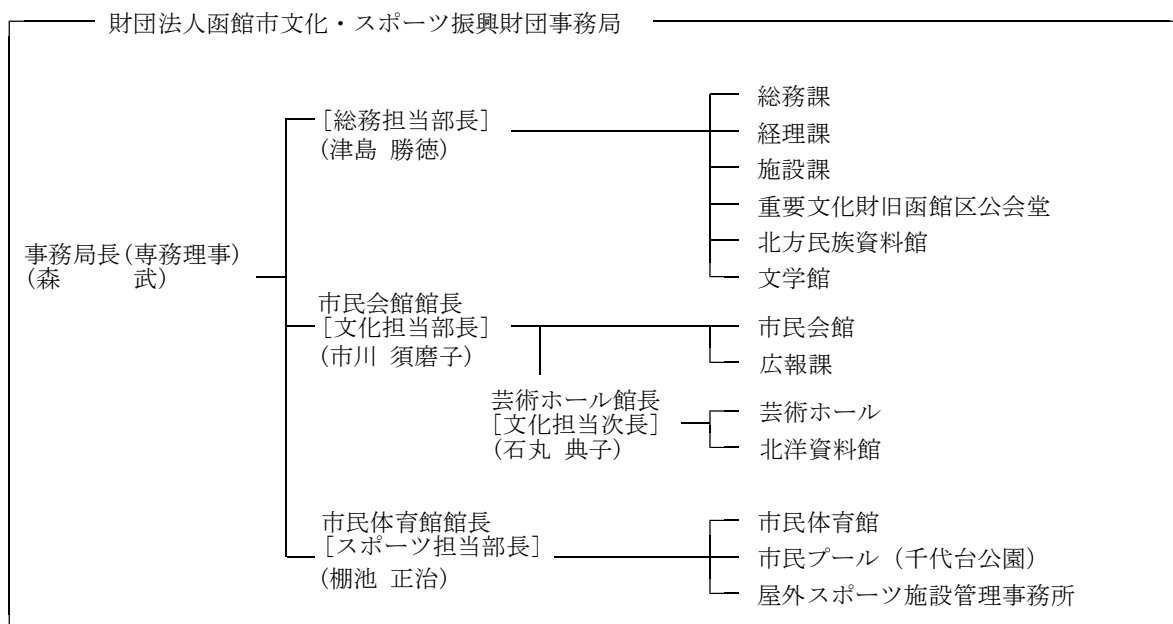
市民のウィンタースポーツの振興・普及を図るとともに，活動の場を提供する。

⑤ 広報事業

文化・スポーツの情報誌を発行し，市民の利便を図るとともに，文化・スポーツ活動の活性化を促進する。
(財団ニュース「ステップアップ」の発行等)

⑥ 収益事業

売店等の収益により，文化・スポーツ事業への還元を図るとともに，重要文化財旧函館区公会堂等をPRする函館らしい商品の開発などを行う。



Ⅲ 学校教育

平成24年度函館市学校教育の重点	93
1 市立学校施設一覧	94
2 児童・生徒	98
3 育英事業	100
4 学校保健	101
5 学校安全	103
6 学校給食	104
7 就学援助	106
8 特別支援	108
9 中学生海外派遣事業	109
10 函館市南北海道教育センター	110

函館市の学校教育の充実に向けて

私たちは、平成20年度からスタートしている「函館市義務教育基本計画」に基づき、地域とともに、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育を進めています。今後とも、新しい学習指導要領や時代の要請を踏まえ、函館の教育の一層の充実を図ります。

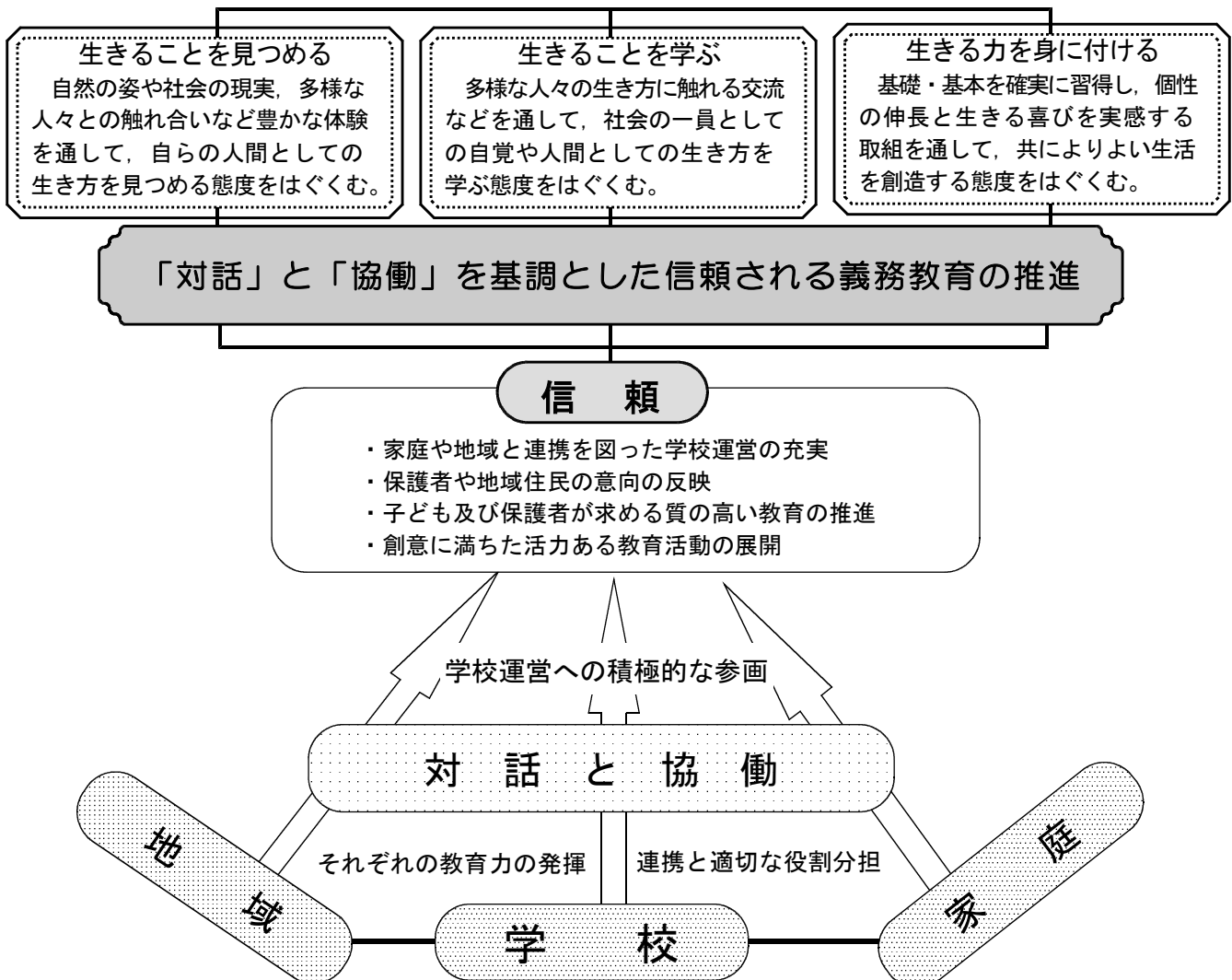
〈函館市義務教育の基本理念〉

心豊かに学び 共に未来のふるさとを拓く子どもをはぐくむ

めざす子ども像

- **個性豊かに生きる子ども**
「確かな学力」を身に付け、個性や創造性を発揮し、自らの生き方を創り出す子どもをはぐくみます。
- **優しさをもって生きる子ども**
責任とモラルを重んじ、他者を思いやり、人間尊重の精神や自他の生命を大切にすることを学ばせ、子どもをはぐくみます。
- **たくましく生きる子ども**
健やかな心と体を持ち、理想や自己の目標に向かって努力する活力に満ちた子どもをはぐくみます。
- **函館に生きる子ども**
ふるさとのよさを見付け、誇りを持ち、先人の生き方に学び、進取の精神をもって新たな文化を創造する子どもをはぐくみます。
- **共に未来を生きる子ども**
社会の変化に主体的に対応する力を持ち、広い視野に立って社会に貢献する子どもをはぐくみます。

基本姿勢 生きることを見つめ 生きることを学ぶ学校教育の創造



1 市立学校施設一覧

(1) 小学校

学 校 名	学級数		児童数		校舎面積 ㎡	屋内運動場 面積 ㎡	校 地 面 積 ㎡		
	普通	特別支援	普通	特別支援			建物敷地	グラウンド	計
1 弥 生	8	1	204	3	4,721	1,137	8,355	3,374	11,729
2 青 柳	9	2	227	2	6,133	1,265	7,721	2,666	10,387
3 あさひ	11	1	263	2	4,402	1,084	4,719	4,182	8,901
4 中 部	6	2	159	7	4,183	835	4,707	6,595	11,302
5 北 星	6	2	118	2	3,422	875	6,835	3,089	9,924
6 八 幡	12	2	379	5	5,600	1,000	9,891	4,043	13,934
7 万年橋	6	2	145	2	3,376	956	6,994	4,670	11,664
8 港	12	2	397	3	5,797	1,018	8,580	9,820	18,400
9 高 盛	7	1	185	1	6,056	1,035	9,486	2,000	11,486
10 千代ヶ岱	6		134		4,283	872	7,317	4,000	11,317
11 中 島	7	1	198	1	3,587	1,062	5,602	5,156	10,758
12 千代田	6	1	108	2	3,640	1,004	8,258	5,022	13,280
13 柏 野	12	2	360	4	5,388	952	8,150	5,453	13,603
14 金 堀	10	2	251	4	4,679	1,044	10,645	9,829	20,474
15 駒 場	12	2	350	9	5,100	998	11,395	14,915	26,310
16 深 堀	11	3	257	14	4,372	829	7,611	8,621	16,232
17 日吉が丘	12	2	333	9	5,945	899	9,766	8,107	17,873
18 北日吉	12	1	361	4	4,129	789	13,397	7,507	20,904
19 湯 川	12	2	338	5	5,790	798	10,587	7,200	17,787
20 高 丘	12	2	331	7	3,604	752	10,118	6,410	16,528
21 上湯川	6		153		5,076	855	11,835	8,000	19,835
22 旭 岡	8	2	224	5	5,117	749	11,004	10,794	21,798
23 亀 尾	3		28		1,442	(併)	3,066	5,087	8,153
24 鱒 川	3	1	12	2	668	(併)	9,946	4,670	14,616
25 東	6	1	102	2	3,246	612	9,914	7,015	16,929
26 石 崎	3	1	18	1	1,968	825	30,441	8,190	38,631
27 桔 梗	20	2	642	9	4,826	1,057	8,923	5,076	13,999
28 中の沢	13		400		3,024	678	6,498	4,813	11,311
29 北昭和	12	1	309	3	3,462	652	8,549	7,750	16,299
30 昭 和	15	4	476	14	6,183	927	15,095	10,799	25,894
31 亀 田	12	5	306	32	5,991	778	12,875	5,080	17,955
32 赤 川	6	1	141	2	3,183	942	8,092	3,469	11,561
33 中 央	12	2	301	7	5,756	867	10,249	9,588	19,837
34 北美原	22		722		4,816	895	7,851	9,161	17,012
35 鍛 神	12	4	394	24	5,728	793	12,013	9,426	21,439
36 神 山	12	2	337	5	4,315	1,002	7,958	6,546	14,504
37 東 山	16	2	480	3	4,413	770	9,115	6,317	15,432
38 本 通	12	2	341	5	5,535	945	9,059	17,229	26,288
39 南本通	11	1	247	3	3,138	772	4,993	8,024	13,017
40 戸井西	4		53		1,604	748	11,230	11,220	22,450
41 日 新	4		44		2,997	747	7,545	4,886	12,431
42 えさん	6	2	104	2	2,958	708	10,221	14,026	24,247
43 椴法華	4	1	33	1	2,329	652	9,941	5,416	15,357
44 磨 光	6	2	145	2	3,629	1,329	19,436	8,789	28,225
45 臼 尻	4	2	34	2	2,406	586	14,124	10,411	24,535
46 大 船	4		42		1,526	570	9,462	5,357	14,819
小 学 校 計	425	71	11,186	210	189,543	38,663	449,569	329,798	779,367

※校舎面積には調理場および別棟の建物を含む。屋内運動場面積には、地域学校連携施設を含む。

平成25年5月1日現在

校舎暖房	体育館暖房	プール種類	上屋	給食	ランチ ルーム	学 校 開 放				学 校 名
						校庭	遊泳	スポーツ	文化	
ガスFF	遠赤外線放射			子	○			○	○	弥 生
ポット式灯油	ダクト式高温風	ステンレス	○	子		○	○	○		青 柳
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	親	○	○	○	○		あさひ
蒸気	ダクト式高温風			単独	○			○		中 部
ガスFF	ダクト式高温風	ステンレス		親		○	○	○		北 星
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	単独			○	○	○	八 幡
温水	遠赤外線放射	ステンレス		単独			○	○		万年橋
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	単独		○	○	○		港
ポット式灯油				単独	○	○				高 盛
ポット式灯油	ダクト式高温風			単独	○			○		千代ヶ岱
温水	遠赤外線放射	コンクリート		単独			○	○		中 島
温水	遠赤外線放射			親		○		○		千代田
温水	遠赤外線放射			単独		○		○		柏 野
ガスFF	遠赤外線放射			単独				○	○	金 堀
温水	遠赤外線放射	ステンレス	○	単独			○	○		駒 場
ポット式灯油	ダクト式高温風			子		○		○		深 堀
ポット式灯油	ダクト式高温風			子				○		日吉が丘
電気	ダクト式高温風			子		○		○		北日吉
温風				親						湯 川
電気	ダクト式高温風			子		○				高 丘
ポット式灯油	ダクト式高温風	ステンレス		子			○	○		上湯川
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		親	○		○			旭 岡
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		親			○	○		亀 尾
灯油FF				子				○		鱒 川
温風	ダクト式高温風	鋼製		子			○			東
灯油FF	遠赤外線放射			親				○	○	石 崎
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		単独			○	○		桔 梗
電気	遠赤外線放射	FRP	○	子			○	○	○	中の沢
電気	遠赤外線放射			子		○		○		北昭和
ガスFF	遠赤外線放射	ステンレス	○	親	○	○	○	○	○	昭 和
ガスFF	ダクト式高温風			親				○		亀 田
灯油FF	遠赤外線放射			子				○		赤 川
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		子			○	○		中 央
蒸気	ダクト式高温風	ステンレス		単独		○	○	○		北美原
ガスFF	ダクト式高温風			親		○		○	○	鍛 神
灯油FF	遠赤外線放射	ステンレス		親			○	○		神 山
灯油FF	遠赤外線放射	鋼製		親		○	○	○		東 山
ガスFF		鋼製		子			○	○		本 通
温水	ダクト式高温風	ステンレス	○	子			○	○		南本通
灯油FF	温水			子				○		戸井西
電気	温水			子				○		日 新
温水	温水			子				○		えさん
温水	温水			子				○		榎法華
温水	温水			子				○		磨 光
ポット式灯油				子						臼 尻
ポット式灯油				子				○		大 船
										小学校計

(2) 中学校

学 校 名	学級数		生徒数		校舎面積 ㎡	屋内運動場 面積 ㎡	校 地 面 積 ㎡		
	普通	特別支援	普通	特別支援			建物敷地	グラウンド	計
1 西	4	1	112	2	3,759	793	4,900	2,793	7,693
2 潮見	6	2	165	6	4,270	1,161	9,369	11,713	21,082
3 宇賀の浦	4	1	123	1	5,785	827	7,440	2,600	10,040
4 凌雲	6	2	182	11	6,176	1,248	13,555	7,525	21,080
5 五稜	6		178		2,967	1,071	8,240	8,260	16,500
6 大川	6		177		4,271	1,225	8,759	9,177	17,936
7 港	8	2	244	6	4,439	1,200	11,391	9,221	20,612
8 光成	3		90		3,162	1,173	5,048	5,445	10,493
9 的場	10	1	330	2	6,245	1,267	9,105	14,670	23,775
10 深堀	11	1	322	3	5,960	947	11,033	12,248	23,281
11 湯川	9	3	316	7	6,172	1,136	15,142	8,709	23,851
12 戸倉	9	2	295	3	5,066	1,028	10,522	12,500	23,022
13 旭岡	5		135		3,569	972	11,704	10,681	22,385
14 亀尾	2		18		624	403	(併)	(併)	(併)
15 鱒川	3		16		724	679	(併)	(併)	(併)
16 銭亀沢	3		81		2,703	719	11,252	18,067	29,319
17 赤川	13	1	431	1	4,840	1,128	7,511	11,952	19,463
18 桔梗	13	1	431	3	4,405	908	9,691	10,321	20,012
19 亀田	18	2	649	10	7,064	1,115	17,058	19,647	36,705
20 桐花	8	4	274	29	5,309	1,231	11,592	13,763	25,355
21 本通	18	3	639	11	6,559	1,040	12,557	15,240	27,797
22 北	9	1	304	1	4,311	1,005	6,913	12,023	18,936
23 潮光	3	2	37	2	2,624	1,104	9,369	7,134	16,503
24 日新	3		37		2,747	983	21,524	8,926	30,450
25 恵山	3	1	75	3	2,385	770	10,267	10,573	20,840
26 楡法華	3	1	28	1	2,762	761	9,858	12,405	22,263
27 尾札部	3	1	93	1	4,450	808	11,175	19,059	30,234
28 白尻	3		61		2,413	733	13,897	16,572	30,469
中 学 校 計	192	32	5,843	103	115,761	27,435	278,872	291,224	570,096

(3) 高等学校

学 校 名	学 級 数	生 徒 数	校舎保有面積 ㎡	屋内運動場 保有面積㎡	校 地 面 積 ㎡		
					建物敷地	グラウンド	計
市立函館	24	950	9,229	3,270	38,399	51,580	89,979

(4) 幼稚園

学 校 名	学 級 数	園 児 数	園舎保有面積 ㎡	園 地 面 積 ㎡			園 舎 暖 房
				建物敷地	グラウンド	計	
1 はこだて	4	52	785	1,735	665	2,400	ガスFF
2 戸井	3	19	661	6,614	1,051	7,665	電気
幼 稚 園 計	7	71	1,446	8,349	1,716	10,065	

※校舎面積には調理場および別棟の建物を含む。屋内運動場面積には、地域連携施設を含む。

平成25年5月1日現在

校舎暖房	体育館暖房	プール種類	上屋	給食	学 校 開 放				学 校 名
					校庭	遊泳	スポーツ	文化	
蒸気	ダクト式高温風			子					西
ガスFF	遠赤外線放射			親			○		潮見
ポット式灯油	遠赤外線放射			単独					宇賀の浦
ポット式灯油	ダクト式高温風			子			○		凌雲
ポット式灯油				子			○		五稜
ポット式灯油				親			○		大川
温水	遠赤外線放射			子			○	○	港
ポット式灯油				親			○		光成
ポット式灯油	遠赤外線放射			単独					的場
ガスFF	ダクト式高温風			単独			○	○	深堀
ガスFF	遠赤外線放射			単独			○		湯川
ポット式灯油	遠赤外線放射			親			○	○	戸倉
蒸気	ダクト式高温風			子					旭岡
灯油FF	遠赤外線放射			子					亀尾
灯油FF				子					鱒川
蒸気	遠赤外線放射			子					銭亀沢
灯油FF	ダクト式高温風			子			○		赤川
温水	ダクト式高温風			親			○	○	桔梗
ガスFF	遠赤外線放射			親			○		亀田
ガスFF	遠赤外線放射			子			○	○	桐花
蒸気				子					本通
温水	ダクト式高温風			親					北
灯油FF	遠赤外線放射	鋼製	○	子					潮光
電気	温水			子			○		日新
温水	温水			子					恵山
温水	温水			親			○		撥法華
ポット式灯油				子					尾札部
ポット式灯油	遠赤外線放射			子					白尻
									中学校計

校舎暖房	体育館暖房
ガスFF	遠赤外線放射

2 児童・生徒

(1) 市立小学校児童の推移

(各年度5月1日現在)

年 度	小 学 校							
	学 校 数	普 通 学 級		特 別 支 援 学 級		計		
		学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数(再掲・新入学児童数)	
13	42	472	14,123	20	81	492	14,204	(2,283)
14	41	465	13,814	23	86	488	13,900	(2,230)
15	40	457	13,507	25	91	482	13,598	(2,157)
16	40	455	13,281	28	98	483	13,379	(2,180)
17	48	498	13,706	37	106	535	13,812	(2,215)
18	48	493	13,378	42	126	535	13,504	(2,145)
19	48	477	13,023	48	137	525	13,160	(2,097)
20	48	470	12,729	51	146	521	12,875	(2,018)
21	47	459	12,461	53	155	512	12,616	(1,950)
22	47	454	12,110	60	179	514	12,289	(1,970)
23	46	447	11,923	64	192	511	12,115	(1,927)
24	46	440	11,492	71	199	511	11,691	(1,775)
25	46	425	11,186	71	210	496	11,396	(1,843)

(2) 市立中学校生徒の推移

(各年度5月1日現在)

年 度	中 学 校						
	学 校 数	普 通 学 級		特 別 支 援 学 級		計	
		学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
13	23	237	8,007	12	58	249	8,065
14	23	231	7,662	14	58	245	7,720
15	22	217	7,272	13	58	230	7,330
16	22	204	6,767	11	55	215	6,822
17	28	213	7,051	19	67	232	7,118
18	28	215	6,817	21	73	236	6,890
19	28	219	6,764	21	79	240	6,843
20	28	216	6,527	20	78	236	6,605
21	28	208	6,349	20	69	228	6,418
22	28	204	6,209	27	77	231	6,286
23	28	200	6,084	28	77	228	6,161
24	28	200	6,012	31	89	231	6,101
25	28	192	5,843	32	103	224	5,946

(3) 中学校卒業生の進路状況

(各年5月1日現在)

卒業年	卒業者数	進 学 者 数		各 種 学 校 等 入 学 者 数		就 職 者 数		そ の 他	
		人 数	割合(%)	人 数	割合(%)	人 数	割合(%)	人 数	割合(%)
9	3,549	3,453	97.3	17	0.5	43	1.2	36	1.0
10	3,359	3,270	97.4	10	0.3	25	0.7	54	1.6
11	3,331	3,253	97.7	13	0.4	14	0.4	51	1.5
12	3,220	3,154	98.0	6	0.2	17	0.5	43	1.3
13	3,126	3,073	98.3	3	0.1	9	0.3	41	1.3
14	3,007	2,936	97.6	12	0.4	25	0.8	34	1.2
15	2,912	2,857	98.1	1	0.1	10	0.3	44	1.5
16	2,923	2,875	98.4	5	0.2	10	0.3	33	1.1
17	2,861	2,836	99.1	1	0.1	5	0.2	19	0.7
18	2,760	2,734	99.1	4	0.1	4	0.1	19	0.7
19	2,578	2,556	99.1	1	0.1	1	0.1	20	0.8
20	2,672	2,648	99.1	1	0.1	5	0.1	18	0.7
21	2,558	2,529	98.9	-	-	4	0.1	25	1.0
22	2,538	2,505	98.7	4	0.2	6	0.2	23	0.9
23	2,448	2,432	99.3	2	0.1	2	0.1	12	0.5
24	2,368	2,339	98.8	2	0.1	1	0.1	26	1.1

(4) 平成25年度 研究モデル校の紹介

<学力向上>

学 校 名	機 関	年 度	研 究 領 域	研 究 主 題
えさん小	市・局	24～25	学 習 指 導	『9年間を見通した一貫教育を図る小中連携』
恵山中	市・局	24～25	学 習 指 導	『自ら考え、意欲的に学ぶ生徒の育成』 ～確かな学力を育む学習指導の工夫～
高盛小	市・局	25～26	学 習 指 導	『一人ひとりが進んで学び、ゆたかに表現できる子どもの育成』 ～言語活動の充実を図り、豊かな表現力を培う～
桐花中	市・局	25～26	学 習 指 導	『学びのわ【和 輪 話】を広げ 「確かな学力」が育つ授業づくり』

(5) 外国人英語指導助手活用事業

外国人英語指導助手による市立学校における児童生徒への訪問授業および教師の研修等を行い、子どもたち一人ひとりの国際理解の基礎を培うとともに、英語教育の充実を図ることを目的に平成5年度から各学校へ派遣しており、現在6名体制により実施している。

3 育英事業

幼稚園就園奨励制度

幼稚園教育の普及充実に図るための一環として、市立幼稚園に通園する園児の保護者に対し、入園料および保育料を一部減免する。

市立幼稚園就園奨励事業状況

年 度	対 象 幼 稚 園 数	区 分	保育料等減免措置対象児数	減免金額
			<条件> ○生活保護世帯 ○市民税所得割非課税の世帯	
22	2	5歳児	13人	634,000円
		4歳児	7人	
		3歳児	5人	
		計	25人	
23	2	5歳児	4人	596,010円
		4歳児	10人	
		3歳児	5人	
		計	19人	
24	2	5歳児	10人	450,000円
		4歳児	4人	
		3歳児	4人	
		計	18人	

4 学校保健

(1) 平成24年度児童・生徒の三計測平均値

区 分		6歳		7歳		8歳		9歳		10歳		11歳	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	函館市	117.0	116.2	123.2	122.1	129.2	128.0	134.1	134.4	139.9	141.2	146.2	148.0
	北海道	117.0	115.9	122.9	121.8	128.6	127.4	134.2	134.1	140.5	140.4	146.0	147.3
	全 国	116.5	115.6	122.4	121.6	128.2	127.4	133.6	133.4	138.9	140.1	145.0	146.7
体重 (kg)	函館市	21.9	21.3	25.3	24.2	28.8	27.5	32.3	31.6	36.6	35.6	40.8	40.8
	北海道	21.7	21.0	24.7	23.6	27.9	26.6	31.7	30.4	36.5	34.4	39.6	39.6
	全 国	21.3	20.9	24.0	23.5	27.1	26.3	30.5	29.9	34.0	34.0	38.2	38.9
座高 (cm)	函館市	64.9	64.4	68.0	67.3	70.6	69.9	72.9	73.1	75.5	76.2	78.2	79.5
	北海道	64.9	64.4	68.0	67.3	70.5	69.9	72.9	72.8	75.7	75.8	78.1	79.2
	全 国	64.8	64.4	67.6	67.3	70.3	69.9	72.6	72.6	74.9	75.8	77.5	79.2

区 分		12歳		13歳		14歳		15歳		16歳		17歳	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	函館市	153.7	152.7	160.7	155.1	166.1	156.5	168.2	157.0	169.5	158.0	171.5	157.9
	北海道	153.7	152.4	161.2	155.0	166.1	157.1	169.0	157.7	170.3	157.7	171.0	158.3
	全 国	152.4	151.9	159.5	155.0	165.1	156.5	168.4	157.2	169.8	157.6	170.7	158.0
体重 (kg)	函館市	46.7	45.9	50.9	47.9	56.8	51.2	58.3	53.8	61.8	54.0	63.3	53.9
	北海道	46.4	44.5	51.2	48.3	56.6	50.9	61.1	52.8	61.7	53.5	64.7	53.8
	全 国	44.0	43.7	49.0	47.4	54.2	49.9	59.2	51.6	61.1	52.5	62.9	49.9
座高 (cm)	函館市	81.8	82.0	85.3	83.8	88.7	84.9	89.8	86.1	91.4	86.5	92.1	86.5
	北海道	82.0	85.4	85.9	85.7	88.8	85.0	90.7	85.4	91.5	85.7	92.1	86.0
	全 国	81.3	82.2	84.9	83.9	88.2	84.9	90.3	85.4	91.3	85.7	91.9	85.8

(2) 平成24年度 定期健康診断時の児童・生徒の疾病等状況

小学校 (単位：人，%)

区 分		人数	構成比	
在籍者数		11,693	—	
口 腔 検 査	受検者数	11,485	—	
	歯周疾患治療要する者	109	0.9	
	その他歯疾病等異常の者	297	2.6	
	疾病者計	406	3.5	
眼 の 検 査	受検者数	11,472	—	
	結 膜 炎	アレルギー性の者	233	2.0
		感染性の者	2	0.0
		その他の者	34	0.3
	そ の 他	眼位の異常の者	64	0.6
		その他の異常・眼疾の者	60	0.5
	疾病者計	393	3.4	
耳 ・ 鼻 ・ 咽 喉 の 検 査	受検者数	6,870	—	
	耳 の 疾 患	滲出性の中耳炎の者	25	0.4
		慢性中耳炎の者	5	0.1
		その他の者	219	3.2
	鼻 の 疾 患	アレルギー性鼻炎の者	617	9.0
		慢性鼻炎の者	59	0.9
		副鼻腔炎の者	46	0.7
	咽 頭 疾 病	その他の者	16	0.2
		アデノイドの者	0	0.0
		扁桃肥大の者	29	0.4
その他疾病異常の者		2	0.0	
疾病者計	1,018	14.8		
結 核 検 査	受検者数	11,647	—	
	精密検査実施者	0	0.0	
	結核罹患患者	0	0.0	
尿 検 査	受検者数	11,643	—	
	陽性者	55	0.5	
心 臓 健 診	受検者数	1,767	—	
	2次検査指示数	21	1.2	
内 科 的 疾 患 等 の 検 査	受検者数	11,536	—	
	脊柱・胸郭異常の者	22	0.2	
	皮 膚 疾 患	アトピー性皮膚炎の者	257	2.2
		伝染性皮膚疾患の者	8	0.1
		その他皮膚疾患の者	27	0.2
	寄生虫病の者	0	0.0	
疾病者計	314	2.7		

中学校 (単位：人，%)

区 分		人数	構成比	
在籍者数		6,095	—	
口 腔 検 査	受検者数	5,892	—	
	歯周疾患治療要する者	260	4.4	
	その他歯疾病等異常の者	313	5.3	
	疾病者計	573	9.7	
眼 の 検 査	受検者数	5,560	—	
	結 膜 炎	アレルギー性の者	118	2.1
		感染性の者	1	0.0
		その他の者	13	0.2
	そ の 他	眼位の異常の者	10	0.2
		その他の異常・眼疾の者	14	0.3
	疾病者計	156	2.8	
耳 ・ 鼻 ・ 咽 喉 の 検 査	受検者数	2,659	—	
	耳 の 疾 患	滲出性の中耳炎の者	0	0.0
		慢性中耳炎の者	0	0.0
		その他の者	64	2.4
	鼻 の 疾 患	アレルギー性鼻炎の者	202	7.6
		慢性鼻炎の者	4	0.2
		副鼻腔炎の者	8	0.3
	咽 頭 疾 病	その他の者	0	0.0
		アデノイドの者	0	0.0
		扁桃肥大の者	6	0.2
その他疾病異常の者		1	0.0	
疾病者計	285	10.7		
結 核 検 査	受検者数	6,077	—	
	精密検査実施者	0	0.0	
	結核罹患患者	0	0.0	
尿 検 査	受検者数	5,971	—	
	陽性者	51	0.9	
心 臓 健 診	受検者数	1,998	—	
	2次検査指示数	42	2.1	
内 科 的 疾 患 等 の 検 査	受検者数	5,957	—	
	脊柱・胸郭異常の者	20	0.3	
	皮 膚 疾 患	アトピー性皮膚炎の者	166	2.8
		伝染性皮膚疾患の者	0	0.0
		その他皮膚疾患の者	8	0.1
	寄生虫病の者	0	0.0	
疾病者計	194	3.3		

(注)：構成比は各受検者数に対する割合

5 学校安全

(1) 平成24年度独立行政法人日本スポーツ振興センター加入・給付状況

(加入者数はH24.5.1現在)

内 訳		学校種別	小 学 校 (46校)	中 学 校 (28校)	高 校 (1校)	幼 稚 園 (2園)	計
加入 内 訳	加入者数		11,690	6,096	948	86	18,820
	掛金額(A)		10,177,875	5,219,700	1,769,885	26,255	17,193,715
給 付 内 訳	医療費 給付対象(B)		11,018	5,661	948	86	17,713
	件数(C)		542	849	146	3	1,540
	給付金額(D)		3,536,101	8,752,476	1,785,465	17,141	14,091,183
	給付率($\frac{C}{B} \times 100$)		4.9	15.0	15.4	3.5	8.7
	平均給付額($\frac{D}{C}$)		6,524	10,309	12,229	5,714	9,150
障 害	件数		0	0	0	0	0
	給付金額		0	0	0	0	0
死 亡	件数		0	0	0	0	0
	給付金額		0	0	0	0	0
合 計	件数		542	849	146	3	1,540
	給付金額(E)		3,536,101	8,752,476	1,785,465	17,141	14,091,183
掛け金に対する給付率 ($\frac{E}{A} \times 100$)			34.7	167.7	100.9	65.3	82.0

※ 負傷・疾病給付金額には、継続給付金額を含む。

6 学校給食

(1) 調理方式

(単位：校，人)

区 分	小 学 校		中 学 校		計		
	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	児童・生徒数	
単 独 校 方 式	12	3,967	4	1,104	16	5,071	
親 子 共 同 調 理 場 方 式	親学校	12	3,185	8	2,163	20	5,348
	子学校	22	4,244	16	2,679	38	6,923
	計	34	7,429	24	4,842	58	12,271
合 計	46	11,396	28	5,946	74	17,342	

当市の学校給食は、全校完全給食で、単独校（自校）方式、親子共同調理場方式を学校の実情にあわせて実施している。

親子共同調理場方式とは、調理施設のある学校（親）から調理施設のない学校（子）へ温食等を運搬する方式である。

(2) 給食費の推移

旧函館市

(単位：円)

区 分	年 度	1食あたり平均単価					実施 回数	年 間 給食費	月 額 給 食 費
		学年	主食	牛乳	副食	計			
小 学 校	23	2～5	61.01	38.78	137.12	236.91	185	43,830	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,383
		1・6					182	43,120	・1・6年生 4～1月 4,312
	24	2～5	64.61	39.26	133.04	236.91	185	43,830	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,383
		1・6					182	43,120	・1・6年生 4～1月 4,312
	25	2～5	66.22	39.84	130.85	236.91	185	43,830	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,383
		1・6					182	43,120	・1・6年生 4～1月 4,312
中 学 校	23	1～2	76.52	38.78	182.87	298.17	181	53,970	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,397
		3					173	51,590	・3年生 4～1月 5,159
	24	1～2	76.52	39.26	182.39	298.17	181	53,970	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,397
		3					173	51,590	・3年生 4～1月 5,159
	25	1～2	78.78	39.84	179.55	298.17	181	53,970	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,397
		3					173	51,590	・3年生 4～1月 5,159

4支所管内

(単位：円)

区分	年度	1食あたり平均単価					実施回数	年間給食費	月額給食費
		学年	主食	牛乳	副食	計			
小学校	23	2～5	60.99	38.78	137.14	236.91	185	43,830	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,383 ・1・6年生 4～1月 4,312
		1・6					182	43,120	
	24	2～5	64.61	39.26	133.04	236.91	185	43,830	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,383 ・1・6年生 4～1月 4,312
		1・6					182	43,120	
	25	2～5	66.22	39.84	130.85	236.91	185	43,830	(10回徴収) ・2～5年生 4～1月 4,383 ・1・6年生 4～1月 4,312
		1・6					182	43,120	
中学校	23	1～2	76.47	38.78	179.66	294.91	183	53,970	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,397 ・3年生 4～1月 5,159
		3					175	51,590	
	24	1～2	76.52	39.26	182.39	298.17	181	53,970	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,397 ・3年生 4～1月 5,159
		3					173	51,590	
	25	1～2	78.78	39.84	179.55	298.17	181	53,970	(10回徴収) ・1・2年生 4～1月 5,397 ・3年生 4～1月 5,159
		3					173	51,590	

7 就学援助

(1) 就学援助費支給内容（平成24年度，年額）

（単位：円）

区 分		小 学 校	中 学 校
給 食 費	1・6年	43,120	1・2年 53,970
	2～5年	43,830	3年 51,590
学用品費 通学用品費 校外活動費	1年	12,610	23,880
	その他の学年	14,780	26,050
新入学児童生徒学用品費等		19,900	22,900
体育実技用具費	柔道	—	上限 7,300
	剣道	—	上限 50,500
	スキー	上限 25,300	上限 36,300
宿泊校外活動費		上限 3,470	上限 5,840
修学旅行費		実費	実費
通学費		実費	実費
医療費		実費	実費
特別支援教育就学費		上記金額の2分の1（通学費のみ全額）	

(2) 給食扶助

（単位：人，%，円）

年度	学校別	児童生徒数（A）	該当人員（B）	$(B) \div (A) \times 100$	扶助総額
2 3	小学校	12,115	3,315	27.4	140,326,551
	中学校	6,161	1,820	29.5	94,474,719
	計	18,276	5,135	28.1	234,801,270
2 4	小学校	11,691	3,220	27.5	135,961,552
	中学校	6,101	1,792	29.4	92,969,230
	計	17,792	5,012	28.2	228,930,782

(3) 学用品等扶助

(単位：円)

年度	学校別	学用品費等扶助		新入学児童生徒用品費等扶助		修学旅行扶助費		通学扶助費		計	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
23	小学校	3,329	47,565,333	518	10,308,200	693	15,355,975	60	852,640	4,600	74,082,148
	中学校	1,836	49,023,731	560	12,824,000	764	36,259,636	102	4,073,840	3,262	102,181,207
	計	5,165	96,589,064	1,078	23,132,200	1,457	51,615,611	162	4,926,480	7,862	176,263,355
24	小学校	3,232	46,188,693	438	8,716,200	696	15,560,942	63	847,800	4,429	71,313,635
	中学校	1,812	48,269,467	574	13,144,600	761	36,691,790	74	3,220,670	3,221	101,326,527
	計	5,044	94,458,160	1,012	21,860,800	1,457	52,252,732	137	4,068,470	7,650	172,640,162

(4) 医療扶助

(単位：円)

年度	学校別	トラコーマ及び結膜炎		中耳炎		慢性副鼻腔炎およびアデノイド		う 歯		伝染性の皮膚疾患 (白癬・疥癬・膿痂疹)	
		人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
23	小学校	1	3,420	15	662,380	15	269,630	363	3,520,900	—	—
	中学校	2	17,700	6	30,770	7	49,320	134	1,493,390	—	—
	計	3	21,120	21	693,150	22	318,950	497	5,014,290	—	—
24	小学校	5	15,950	12	150,540	18	100,790	300	2,869,365	—	—
	中学校	2	3,100	4	118,390	6	49,310	131	1,705,820	—	—
	計	7	19,050	16	298,930	24	144,700	431	4,575,185	—	—

年度	学校別	寄 生 虫		計	
		人員	金額	人員	金額
23	小学校	—	—	394	4,456,330
	中学校	—	—	149	1,591,180
	計	—	—	543	6,047,510
24	小学校	—	—	335	3,136,645
	中学校	—	—	143	1,871,220
	計	—	—	478	5,007,865

(5) 特別支援教育就学扶助

(単位：円)

平成23年度						平成24年度					
小学校		中学校		計		小学校		中学校		計	
人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
112	3,075,753	38	2,246,943	150	5,322,696	142	3,238,351	65	2,566,334	207	5,804,685

8 特別支援

(1) 特別支援学級の設置状況（平成25.5.1現在）

小学校

障がい別 学校名	知的障がい		自症・情緒		肢体不自由		病弱	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
弥生			1	3				
青柳	1	1	1	1				
あさひ			1	2				
中部	1	5	1	2				
北星	1	1	1	1				
八幡	1	2	1	3				
万年橋	1	1	1	1				
港	1	1	1	2				
高盛			1	1				
中島			1	1				
千代田			1	2				
柏野	1	2	1	2				
金堀	1	1	1	3				
駒場	1	8	1	1				
深堀	1	3	2	11				
日吉丘			2	9				
北日吉			1	4				
湯川	1	2	1	3				
高丘	1	3	1	4				
旭岡	1	3	1	2				
鱒川			1	2				
東			1	2				
石崎			1	1				
桔梗	1	3	1	6				
北昭和	1	3						
昭和	1	3	2	10			1	1
亀田	2	10	3	22				
赤川	1	2						
中央	1	1	1	6				
鍛神	1	8	2	15	1	1		
神山	1	3	1	2				
東山	1	1	1	2				
本通	1	2	1	3				
南本通			1	3				
えさん	1	1	1	1				
椴法華			1	1				
磨光	1	1	1	1				
臼尻	1	1	1	1				
計	27	72	42	136	1	1	1	1

中学校

障がい別 学校名	知的障がい		自症・情緒		肢体不自由	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
西			1	2		
潮見	1	4	1	2		
宇賀の浦			1	1		
凌雲	1	6	1	5		
港	1	4	1	2		
的場	1	2				
深堀	1	3				
湯川	1	5	1	1	1	1
戸倉	1	1	1	2		
赤川			1	1		
桔梗			1	3		
亀田	1	7	1	3		
桐花	2	13	2	16		
本通	1	5	1	5	1	1
北	1	1				
潮光	1	1	1	1		
恵山	1	3				
椴法華			1	1		
尾札部	1	1				
計	15	56	15	45	2	2



合同宿泊学習「オリエンテーション」

(2) 交流教育の推進

- ・ 函館盲学校との交流 ～ 大川中学校
- ・ 函館聾学校との交流 ～ 深堀小学校, 深堀中学校
- ・ 五稜郭特別支援学校との交流 ～ 柏野小学校
- ・ 函館養護学校との交流 ～ 旭岡小学校, 旭岡中学校

(3) 行事

- ・ 小・中別合同宿泊学習（各1泊2日）
- ・ 小・中作品展覧会（含即売会）

9 中学生海外派遣事業

未来の函館を担う中学生を広い視野と国際感覚を備えた人材として育成することを目的として、姉妹都市をはじめとする海外諸都市に派遣する事業である。

派遣先においては市内視察，学校訪問，ホームステイなどを通じて，海外の中学生，市民などとの交流を深め，中学生の国際理解教育の充実を図っている。

学生海外派遣実績

年度	派遣先	派遣人数	派遣日程
16	ユジノサハリンスク市	15人	平成16年 9月20日～27日
	ウラジオストク市	14人	平成16年 9月 9日～14日
	天津市	20人	平成16年10月16日～21日
17	ユジノサハリンスク市	15人	平成17年 9月19日～26日
	ウラジオストク市	19人	平成17年 7月 1日～ 5日
	天津市	20人	平成17年10月19日～24日
18	ウラジオストク市	20人	平成18年10月 8日～15日
	レイク・マコーリー市	20人	平成18年11月24日～29日
19	ユジノサハリンスク市①	15人	平成19年 9月 7日～14日
	ユジノサハリンスク市② ※1	8人	平成19年 9月23日～26日
	ウラジオストク市	20人	平成19年10月 2日～ 9日
	レイク・マコーリー市	20人	平成19年10月24日～29日
20	ユジノサハリンスク市	15人	平成20年 9月12日～19日
	レイク・マコーリー市	16人	平成20年11月 5日～10日
21	ウラジオストク市	21人	平成21年10月18日～25日
22	レイク・マコーリー市	17人	平成22年11月11日～18日
23	レイク・マコーリー市	13人	平成23年11月10日～17日
24	高陽市	20人	平成24年10月18日～21日
25	高陽市 (予定)	12人	平成25年10月 ※3泊4日

※1 18年度派遣予定であったが，現地事情により19年度に延期したものである。



平成24年度 高陽市訪問団 (景福宮～慶會樓)

10 函館市南北海道教育センター

(1) 施設の概要

- ・設 立 昭和49年9月1日
- ・所 在 地 函館市湯川町3丁目38番38号 (TEL57-8251・FAX57-6232)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造3階建(一部鉄骨造2階)
- ・敷地面積 3,608.70㎡
- ・建物延面積 1,946.35㎡



(2) 事業の概要

ア 研究事業

当面する教育課題を解決するため、地域の教育センターの独自性を生かした基礎的で実践的な調査・研究を行い、学校教育の充実発展に寄与する。

- (7) 教育方法に関する研究 ・「思考力・判断力・表現力等をはぐくむ授業づくり」
- (1) 教育相談に関する研究 ・「よりよい人間関係づくりを推進し、互いの成長を促すために」

イ 研修事業

教職員及び教育関係者の資質を高めるため、教職員の法定研修をはじめ地域の教育課題を踏まえた各種研修等を実施し、教育に関する専門性と指導力の向上に努める。

ウ 教育相談事業

心身の発達や適応についての悩みや問題のある子どもと保護者、教職員などを対象とする教育相談を学校・家庭および関係機関との連携をもとに行い、不適応行動や不安の解消を図るとともに、適正な教育や養育への支援に努める。

エ その他

- 各種機関、団体への貸館を行う。
- 研究紀要、資料等の受け入れ及び閲覧を行う。

(3) 平成24年度事業のまとめ

ア 研究事業

- (ア) 教育方法に関する研究 ・「思考力・判断力表現力をはぐくむ授業づくり」
 (イ) 教育相談に関する研究 ・「よりよい人間関係づくりを推進するために」

イ 研修事業

(ア) 基本研修の実施状況

研 修 名	受 講 者 数 (人)		
	小学校	中学校	計
初任者研修	10	5	15
教職経験者(小中学校)研究協議会	0	4	4
10年経験者研修	9	11	20
公立小中学校学校運営研修会	11	8	19
小中学校新任校長研修会	6	2	8
小中学校新任教頭研修会	4	3	7
小・中学校教育課程研究協議会	70	49	119

(函館市立学校分)

(イ) 専門研修の実施状況

区 分	研修数	受講者数(人)	日程
管理職研修	5	160	5
教科等研修	12	200	12
課題別研修	17	488	17
計	34	848	34

(ウ) 担当者研修の実施状況

研 修 名	受講者数(人)
第1回特別支援教育コーディネーター研究協議会	74
第2回特別支援教育コーディネーター研究協議会	77

(函館市立学校分)

ウ 教育相談の実施状況

内 訳	相談回数
学 習	13
発 達	20
生 活	1,262
進 路	94
計	1,389

エ 貸館状況

区 分	件数	利用人数	備 考
函館市教育委員会	97	2,996	合同校長会等
函館市内教育研究会等	63	2,525	校長会, 教頭会, 研修会等
渡島市町教育研究会等	0	0	
その他	21	415	発明クラブ, 図書利用等
計	181	5,936	

IV 資 料 編

1	函館市教育の沿革概要	113
2	函館市内の指定文化財	128
3	市立学校・幼稚園一覧	134
4	市内学校・幼稚園一覧(市立学校・幼稚園を除く)	138
5	社会教育関係団体一覧	140
6	社会教育施設利用グループ一覧	141

1 函館市教育の沿革概要

嘉永元年 (1848)	○佐々木作右衛門が鍛冶町に私塾「藤村堂」開設
〃 3年 (1850)	○森菊三郎が内濶町に「猿山塾」を開設, 読み方, 書き方を教授
〃 4年 (1851)	○本道最初の心学道場「誠終舎」開設
安政元年 (1854)	○ペリー来航, 日米和親条約の締結で箱館開港
慶応2年 (1866)	○富原九一郎が大黒町に「富原私塾」を開設, 読み方, 書き方, 算術を教授
明治2年 (1869)	○蝦夷地を北海道, 箱館を函館と改称し, 開拓使を設置
〃 3年 (1870)	○柳田藤吉が「郷学校」(のちに郷塾と改称)を会所町に設け, 漢・英を教授
〃 4年 (1871)	○官立函館学校(本道最初の官立学校)創設, 漢・英二学を教授(官員の子弟のみ)
〃 5年 (1872)	○学制公布 ○函館病院附属医学所で教授開始 ○官立函館学校へ一般人の入学許可 ○私立戸井教育所開設
〃 6年 (1873)	○官立函館学校を「露学校」と改称(翌年, 官立松陰学校に, のち元町学校) ○露国宣教師, 元町に正教学校を開校 ○本道最初の中学校である官立変則中学校(3か年制)を富岡町に設立
〃 7年 (1874)	○変則中学校を富岡学校と改称, 14歳以上19歳以下の者が入学 ○米国メソジスト監督教会員が元町で「日々(にちにち)学校」を開始(現遺愛学院の前身)
〃 8年 (1875)	○函館最初の官立小学校である会所学校が開校(6歳以上13歳以下の児童)
〃 9年 (1876)	○官立小学教科伝習所を会所学校に開設(本道における師範学校の前身) ○公立松陰学校開校(最初の公立小学校)
〃 10年 (1877)	○公立内濶学校開校 ○私学愛陶舎, 鶴岡学校設立 ○私立夜学の弁天学校, 金蘭学校, 行余学校, 松濤学校(女子夜学校の最初)など開校(ともに小学校ではなく, 日用簡易の学科教授)
〃 11年 (1878)	○公立住吉学校(現青柳小学校の前身), 公立宝学校, 公立常盤学校, 公立亀田学校が開校 ○日本聖保禄会員が元町で教育の事業開始(現白百合学園高等学校の前身)
〃 12年 (1879)	○函館における最初の女子小学校である第一公立女学校が開校 ○函館における最初の夜間小学校である私立淳風学校が開校 ○私立函館商船学校, 公立上湯川学校が開校 ○函館公園内に開拓使仮博物館が落成(前年着工の函館公園完成) ○小学教科伝習所附属小学校開校(会所学校廃止)
〃 13年 (1880)	○私立臥牛学校開校 ○公立石崎学校, 公立湯川学校, 公立宇賀学校が開校 ○官立小学教科伝習所を官立函館師範学校と改称 ○小学教科伝習所附属小学校を函館師範学校附属小学校と改称 ○図書館の先駆, 思斉会が発足(翌年, 書籍館となり一般公開) ○戸井教育所を廃止, 公立戸井学校, 公立白浜学校, 公立瀬田来学校を開校 ○楯法華簡易学校開業
〃 14年 (1881)	○私立若山学校, 沢学校, 藤村学校など開校 ○官立函館師範学校内に一般青少年対象の私立函館夜学校を開設 ○函館教育協会(のちの函館教育会)発足

明治15年 (1882)	<ul style="list-style-type: none"> ○私立福田学校, 一貴学校が開校 ○私立遺愛女学校開校 (現遺愛女子高等学校, 現校舎は明治41年落成) ○公立弥生学校開校 ○私立東川学校開校 (同年, 公立に編入して公立東川学校となる) ○開拓使を廃止, 三県 (函館, 札幌, 根室) を設置 ○函館県に教育令実施 ○公立函館女学校開校 (翌年, 公立女子小学校と改称) ○私立高砂学校開校 (翌年, 私立高砂小学校と改称, 明治17年公立に編入) ○この年, 函館の人口36,419人, 学齢児童5,049人, 就学児童2,014人, 未就学児童2,945人 ○公立小安学校開校 (戸井)
〃 16年 (1883)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館師範学校附属小学校内に幼稚園を設置, 満3歳からの幼児20名を収容 (函館における最初の幼稚園) ○函館県小学校校則, 函館県小学校教則実施 ○函館商船学校が県立に移籍 (のち官立となり, 東京商船学校函館分校となる) ○公立幸小学校開校, 公立東川学校を公立東川小学校に改称 ○私立商業学校が開校
〃 17年 (1884)	<ul style="list-style-type: none"> ○私立商業学校内に私立末広小学校開設 ○元町ハリストス教会内に私立正教女学校裁縫場開設 (のちの正教女学校の創始) ○函館師範学校に教員講習場を設け, 県内郡区の教員を対象に講習会開催 ○函館公園内に博物場第二号館開設 ○白浜学校, 小安学校を合併し, 小安学校とした。(戸井)
〃 18年 (1885)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館師範学校内に県立函館女学校創立 ○私立皇漢英学講習所, 私立五島学舎, 私立函館学校開校, 嘯山私塾開設 ○戸井小学校新築
〃 19年 (1886)	<ul style="list-style-type: none"> ○私立聖保禄女学校 (現白百合高等学校) が開校 ○私立豊川小学校, 浜野小学校, 堀川小学校, 巴小学校が開校 ○県が廃止され, 札幌に北海道庁を設置 ○札幌・函館の師範学校を廃止, 改めて札幌に北海道師範学校を設置 ○函館に当分, 北海道師範学校分校を設置
〃 20年 (1887)	<ul style="list-style-type: none"> ○公立住吉, 東川, 高砂, 幸の4小学校を私立小学校とする ○庁立函館商業学校開校 ○私立函館学校内に私立函館幼稚園開設 ○北海道師範学校函館分校廃校 (師範学校の校名を北海道尋常師範学校と改称)
〃 21年 (1888)	<ul style="list-style-type: none"> ○公立函館書籍館開館 ○私立六和女学校開校 (現大谷高等学校の前身) ○楳法華簡易小学校 校舎改築
〃 22年 (1889)	<ul style="list-style-type: none"> ○公立函館女学校開校 (高等小学校に類する女学校, 修業年限4か年, ほかに別科として16歳以上の女子が入学) ○私立函館学校廃校 (高等科の女生徒を公立函館女学校に移籍) ○高竜寺吉祥協会本部に私立吉祥女学校が開校 ○聖公会牧師ウォルター・アンデレスが元町に私立靖和女学校を開校
〃 23年 (1890)	<ul style="list-style-type: none"> ○元町正教女学校に西洋裁縫科設置 ○私立恵似小学校開校 (真宗大谷派北海道慈恵会設立)
〃 24年 (1891)	<ul style="list-style-type: none"> ○官立函館商船学校新築落成, 東京商船学校函館分校と改称
〃 25年 (1892)	<ul style="list-style-type: none"> ○亀尾小学校開校 ○英人ネトルシップ, 元町に旧土人学校を開設 ○私立遺愛女学校付設小学校・幼稚園開校

明治25年	(1892)	○戸井小学校鎌歌分校設置
〃 26年	(1893)	○公立函館女学校を公立函館女子高等小学校と改称
〃 28年	(1895)	○米人シャーロット・ドレバー, 函館訓盲会を設立(現函館盲・聾学校の前身) ○庁立函館商業学を廃止し, 庁立函館尋常中学校(現函館中部高等学校の前身)を開校, 商業専修科併設 ○楳法華簡易小学校を楳法華尋常小学校と改称
〃 29年	(1896)	○私立東川尋常高等小学校に屋内運動場完成
〃 30年	(1897)	○公立幸尋常高等小学校・公立宝尋常高等小学校が開校(幸・宝小学校の改称)
〃 31年	(1898)	○住吉・東川・高砂尋常小学校が公立移管
〃 32年	(1899)	○函館尋常中学校商業専修科を廃止, 元町に庁立函館商業学校を新設・開校
〃 33年	(1900)	○函館区に初めて7名の学務委員設置(公民2, 区会議員3, 教員2) ○戸井小学校鎌歌分校が独立し, 鎌歌小学校となる。
〃 34年	(1901)	○東京商船学校函館分校廃止, 庁立函館商船学校が開校(のち七重浜に移転) ○庁立函館尋常中学校を庁立函館中学校と改称(明治39年現時任町に移転) ○戸井, 瀬田来両尋常小学校を合併し, 日新尋常小学校と改称
〃 35年	(1902)	○私立六和女学校を私立函館大谷女学校と改称
〃 36年	(1903)	○函館区中部方面の学齢児童増加, 宝, 東川, 住吉, 高砂, 亀田の各小学校で二部授業開始 ○若松尋常高等小学校開校
〃 38年	(1905)	○庁立函館高等女学校開校(現函館西高等学校の前身) ○宝小学校に宝補習夜学校を付設
〃 39年	(1906)	○私立函館実践女学校が東川町西別院内に開校
〃 40年	(1907)	○小学校令改正, 義務教育6か年制開始
〃 41年	(1908)	○市立函館幼稚園が栄町に設立 (昭和7年爱国婦人会函館幼稚園, 昭和18年函館幼稚園として市立に移管)
〃 42年	(1909)	○弥生小学校で区内の教員や児童の図画成績展覧会開催(函館初の展覧会) ○函館教育会が谷地頭に公設運動場を設置(渡辺熊四郎の寄付) ○私立函館図書館が函館公園内に設置・開館
〃 43年	(1910)	○公会堂落成・開堂(相馬哲平氏の寄付)
〃 44年	(1911)	○公立函館工業補習学校が青柳町に開校(大正9年新川町に新校舎に移転)
〃 45年	(1912)	○新川尋常小学校開校
<hr/>		
大正2年	(1913)	○公立第二東川尋常小学校が開校 ○私立遺愛幼稚園が開園 ○五稜郭跡, 函館区に貸与(翌年6月, 公園として一般公開)
〃 3年	(1914)	○北海道函館師範学校開校(現北海道教育大学函館校の前身)
〃 5年	(1916)	○函館図書館五階建書庫落成(相馬哲平氏の寄付)
〃 6年	(1917)	○公立千代ヶ岱尋常小学校開校 ○函館教育会主催, 学童水泳会(七重浜, 水泳学校の最初) ○小熊育英資金創始(小熊幸一郎氏の寄付) ○公立第一尋常夜学校(第二東川小学校内), 公立第二尋常夜学校(新川小学校内)開校 ○函館慈恵院附属大森小学校開校
〃 7年	(1918)	○最初の区視学, 任命
〃 8年	(1919)	○楳法華尋常小学校 校舎新築落成
〃 9年	(1920)	○公立松風尋常高等小学校落成, 授業開始(翌10年開校式) ○楳法華尋常小学校高等科を併置, 楳法華尋常高等小学校と改称
〃 10年	(1921)	○千代ヶ岱尋常小学校を千代ヶ岱尋常高等小学校と改称 ○函館教育会主催第一回児童安全デー開催(児童の交通安全を強調)

大正10年	(1921)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館教育会主催第一回林間学校開設（最初の林間学校・大正15年から市が主催） ○区立函館工業学校開校（翌年庁立、現函館工業高等学校の前身） ○公立巴尋常小学校開校
〃	11年 (1922)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館支庁を渡島支庁と改称 ○函館区が函館市となり、区立小学校は市立小学校と改称 （当時、市内の市立尋常高等小学校は、弥生、函館女子、住吉、宝、東川、松風、若松、千代ヶ岱、亀田の9校、市立尋常小学校は、幸、常盤、第二東川、高砂、巴、新川の6校、私立小学校は、鶴岡尋常小学校、函館慈恵院附属大森小学校の2校） ○五稜郭跡が国の史跡に指定
〃	12年 (1923)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館中学校に夜間中学校が開校 ○函館教育会が小学生の読物「函館の小学生」を刊行（昭和18年廃刊） ○私立函館大谷女学校が私立函館大谷高等女学校と改称
〃	13年 (1924)	<ul style="list-style-type: none"> ○谷地頭尋常高等小学校、弥生女子尋常高等小学校が開校 ○私立函館大妻技芸学校開校 （蓬莱町に開校、翌年松風町、昭和4年高砂町に移転・現函館大妻高等学校の前身）
〃	14年 (1925)	<ul style="list-style-type: none"> ○私立遺愛第二幼稚園開園 ○函館市学校衛生婦会発足
〃	15年 (1926)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市主催第一回林間学校、五稜郭公園内で開催 ○市教育課内に学校衛生主事を設置
<hr/>		
昭和2年	(1927)	<ul style="list-style-type: none"> ○万年橋尋常小学校開校 ○函館教育会主催、ペスタロッチ百年祭記念座談会開催（五島軒） ○私立函館図書館が市立移管（新築して翌年7月開館） ○大森尋常高等小学校開校
〃	3年 (1928)	<ul style="list-style-type: none"> ○柏野尋常小学校開校 ○市立函館商工実修学校（商業部、工業部、女子商業部）開校
〃	4年 (1929)	<ul style="list-style-type: none"> ○弥生女子尋常高等小学校ほか7校（谷地頭、住吉、東川、第二東川、松風、千代ヶ岱、巴）の高等科を廃止、市内高等科の女児全員を新設の函館女子高等小学校（開校式は翌年3月）に収容し、授業開始 ○国史跡五稜郭 堀外周長斜坂部が追加指定
〃	5年 (1930)	<ul style="list-style-type: none"> ○谷地頭、住吉、汐見、新川の4小学校に虚弱児童の養護学級設置 ○私立昭和技芸学校開校（現清尚学院高等学校の前身） ○私立函館大谷幼稚園開園
〃	6年 (1931)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市体操研究会主催第一回市内小学校教員陸上競技会を函館中学校で開催
〃	7年 (1932)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館大妻技芸学校を函館大妻女子高等技芸学校と改称 ○第一回函館市小学校連合体育大会を柏野総合運動場で開催 ○函館学校歯科医師会創設 ○函館市小学校地理教育研究会が「函館市地理読本」を編集、発行 ○函館市小学校診療所を松風小学校に開設 ○欠食児童に共働宿泊所より弁当配給開始（幸、谷地頭、宝、第二東川、東川、高砂、新川、松風、若松、巴、大森、千代ヶ岱、万年橋、高砂夜学、汐見の15校）
〃	8年 (1933)	<ul style="list-style-type: none"> ○中島尋常小学校開校
〃	9年 (1934)	<ul style="list-style-type: none"> ○四稜郭が国の史跡に指定 ○志苔館跡が国の史跡に指定 ○函館大火により、罹災学童18,046名、死亡学童218名
〃	10年 (1935)	<ul style="list-style-type: none"> ○坂本市長「函館市教育是」発表 ○函館放送局が学校放送を開始 ○官立函館高等水産学校開校（現北海道大学水産学部の前身） ○庁立函館商船学校が廃止され、新たに庁立函館水産学校が開校

昭和10年	(1935)	○私立竜谷幼稚園開園 ○第一回北洋漁業視察小学校教員団9名出発 ○第一回「港まつり」挙行
〃 11年	(1936)	○住吉尋常小学校を青柳尋常小学校, 大森尋常高等小学校を高盛尋常高等小学校に改称 ○的場尋常高等小学校開校 ○私立函館第二大谷幼稚園開園
〃 12年	(1937)	○宝・松風・若松・新川の4小学校が尋常小学校となり, 高等科廃止 ○大森尋常小学校開校 ○私立函館中等夜学校を私立函館夜間中学と改称 ○東川青年学校開校
〃 13年	(1938)	○弥生女子尋常小学校を弥生尋常高等小学校に合併
〃 14年	(1939)	○湯川町が函館市に合併 尋常高等小学校2校(湯川・亀尾), 尋常小学校3校(鱒川・蛾眉野・寅沢)が市に移管 ○昭和技芸学校を私立昭和女子高等技芸学校(旧制中学校)と改称 ○私立函館経理学校が開校(現函館大学附属有斗高等学校の前身)
〃 15年	(1940)	○函館市立中学校が開校(旧函館東高等学校, 現市立函館高等学校の前身)
〃 16年	(1941)	○国民学校令, 国民学校施行規則が公布され, 小学校は国民学校と改称 ○八幡国民学校開校, 的場青年学校開校 ○太平洋戦争ぼっ発 ○榎法華尋常高等小学校を榎法華国民学校と改称
〃 17年	(1942)	○谷地頭・大森・万年橋・中島女子の各青年学校が開校 ○市教育課に体育主事設置
〃 18年	(1943)	○函館師範学校が北海道第二師範学校と改称 ○市立函館幼稚園開園(愛国婦人会函館幼稚園が市立移管)
〃 19年	(1944)	○寅沢国民学校が廃校 ○函館高等水産学校が函館水産専門学校と改称
〃 20年	(1945)	○市内国民学校初等科児童が集団疎開(亀尾, 鱒川, 銭亀沢, 石崎, 島川, 市渡, 駒ヶ岳, 大沼, 森, 濁川, 大野, 清水, 知内, 湯里, 吉岡, 福島, 松前等の学校, 寺院その他へ分散宿泊) ○ポツダム宣言を受諾, 終戦 ○谷地頭国民学校が廃止され, 同校校舎に北海道第二師範学校女子部設置
〃 21年	(1946)	○放出物資によるミルク補食給食開始 (11月～幸小学校, 翌年～高盛, 千代ヶ岱, 常盤, 東川小学校) ○榎法華小学校 校舎新築
〃 22年	(1947)	○教育基本法, 学校教育法が公布(教育制度改革, 六三三制発足) ○函館市新学制実施協議会を結成 ○国民学校の名称が小学校と改称 ○新制中学校, 公立13校(的場・弥生・新川・湯川・川原・時任・柳町・旭・中島・万年橋・亀尾・元町・五稜郭) 国立1校(附属) 私立3校(遺愛・大谷・白百合) ○函館市公民館開館(旧青年会館) ○函館市学校図書館研究会発足(全国で最初) ○小安・汐首・日新小学校に新制中学校併置(戸井) ○榎法華中学校開校
〃 23年	(1948)	○函館教育会が解散(函館文化会が継承) ○万年橋中学校を大川中学校と改称 ○新制高等学校が発足 ○高盛中学校, 松風中学校, 青柳中学校が開校 ○教育委員会法公布

昭和23年 (1948)	<ul style="list-style-type: none"> ○市立函館図書館第一分館開設 ○市立函館博物館開設 (市立図書館内) ○日米文化センターが開設 ○椴法華中学校校舎新築落成
〃 24年 (1949)	<ul style="list-style-type: none"> ○第一回函館市成人祭実施 ○レッド・ページにより, 6名の教員に休職発令 ○亀田村字港地区が函館市に合併 (港小学校が市立移管) ○弥生中学校を船見中学校と改称 ○時任・元町・五稜郭・青柳・川原の5中学校が廃校 ○私立函館藤幼稚園が開園 ○北海道第二師範学校が北海道学芸大学函館分校と改称
〃 25年 (1950)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館水産専門学校が北海道大学水産学部と改称 ○駒場小学校・千代田小学校が開校 ○愛宕中学校が開校 ○高盛中学校を光成中学校, 松風中学校を松川中学校, 中島中学校を中央中学校に改称 ○函館百合台幼稚園が開園 (昭和39年元町より当時亀田町本通に移転) ○青柳中学校を谷地頭中学校と改称し, 北海道第二師範学校女子部跡に移転 ○港小学校に特殊学級 (精神薄弱) を設置 ○柏野小学校に養護学級 (3学級) を設置 ○第一回函館市教育宝くじ発売 ○函館市文化賞規則制定 (文化の日, 第一回授与式举行)
〃 26年 (1951)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館昭和女子高等技芸学校移転 (西川町→東川町) し, 昭和竜谷技芸高等学校に改称 ○千代ヶ岱公園に市営野球場が完成 ○第一回成人学校開校 ○函館市奨学資金条例制定 ○私立函館ちとせ幼稚園が開園 ○日新中学校独立校舎竣工 (戸井)
〃 27年 (1952)	<ul style="list-style-type: none"> ○文部省モデルスクールの新川中学校が落成 ○谷地頭中学校に特殊学級 (精神薄弱) を設置 ○函館市学校給食研究会発足, 給食用パン代補助開始 ○函館市教育委員会が発足 ○私立めぐみ幼稚園開園 (昭和49年本町より桔梗町に移転, 桔梗めぐみ幼稚園と改称) ○潮光中学校独立校舎竣工 (戸井) ○国史跡五稜郭跡が特別史跡に指定
〃 28年 (1953)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市教育委員会公報, 創刊号を発行 ○函館市新学制実施協議会を改め, 函館市学校教育審議会発足 ○函館商科短期大学開校 ○函館大妻技芸高等学校移転 (高砂町→川原町) ○公立戸井高等学校開校
〃 29年 (1954)	<ul style="list-style-type: none"> ○第一回函館山市民ハイキング大会実施
〃 30年 (1955)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市視聴覚ライブラリーを設置 ○谷地頭小学校開校 ○谷地頭中学校を潮見中学校と改称 ○第一回水泳学校開催 (七重浜) ○市立函館博物館五稜郭分館が開館
〃 31年 (1956)	<ul style="list-style-type: none"> ○金堀小学校開校 ○私立国華幼稚園, 私立ひまわり幼稚園が開園

昭和32年 (1957)	<ul style="list-style-type: none"> ○港中学校開校 ○函館市教育目標および教育課程を編成 ○函館市学校教育の重点を設定 ○函館市教育研究所を設置 ○私立函館女子商業高等学校が開校（現函館大学附属柏稜高等学校） ○私立湯の川幼稚園，私立第二竜谷幼稚園が開園
〃 33年 (1958)	<ul style="list-style-type: none"> ○第一回市民体育祭開催(千代ヶ岱公園陸上競技場) ○港中学校に特殊学級（精神薄弱）設置 ○私立函館若葉幼稚園開園
〃 34年 (1959)	<ul style="list-style-type: none"> ○青柳小学校，新川小学校，中島小学校，若松小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和38年，若松小の特殊学級廃止） ○函館市青少年保護育成事務局発足 ○函館市青少年補導センター発足 ○アイヌの生活用具コレクションが国の重要有形民俗文化財に指定
〃 35年 (1960)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市青少年問題協議会発足 ○函館五稜郭病院内に柏野小学校・的場中学校の特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を開設 ○私立ラ・サール高等学校開校 ○私立函館第三大谷幼稚園開園
〃 36年 (1961)	<ul style="list-style-type: none"> ○深堀中学校開校 ○弥生小学校，高盛小学校，新川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○千代ヶ岱公園内に第二種公認陸上競技場が完成 ○亀尾中学校の分教場が独立し，鱒川，蛾眉野中学校として開校 ○私立湯川明照幼稚園，市立函館元町白百合幼稚園が開園 ○昭和竜谷技芸高等学校が普通科を開設し，昭和竜谷女子高等学校と改称 ○函館大妻技芸高等学校が函館大妻高等学校と改称 ○安全都市宣言
〃 37年 (1962)	<ul style="list-style-type: none"> ○五稜中学校開校 ○函館五稜郭病院内特殊学級「みどり学園」（病弱虚弱）を五稜中学校に移管 ○函館市文化財保護条例公布・施行 ○国立函館工業高等専門学校開校
〃 38年 (1963)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館大谷女子短期大学開校 ○函館北高等学校開校 ○市立函館病院内に弥生小学校特殊学級「やよい学園」（肢体不自由）を開設 ○柏野小学校養護学級を転用して精神薄弱学級を設置 ○的場中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置（昭和48年廃止） ○村立戸井高等学校独立校舎竣工
〃 39年 (1964)	<ul style="list-style-type: none"> ○日吉が丘小学校開校 ○完全給食（A型）を実施（幸・常盤・弥生・谷地頭・青柳・東川・大森・新川・若松・松風・巴・八幡・万年橋・港・高盛・千代ヶ岱・中島・千代田・柏野・金堀・駒場・日吉が丘・湯川・亀尾・鱒川の25小学校，亀尾・鱒川の2中学校） ○昭和竜谷高等学校が東川町より亀田本町に移転 ○万年橋小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○「函館市ふたば学園」内に日吉が丘小学校および深堀中学校特殊学級（精神薄弱）を開設
〃 40年 (1965)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市立道南青年の家が落成 ○市内初の学校プールを金堀小学校に設置 ○函館大学開校 ○松風小学校に特殊学級（精神薄弱）を設置
〃 41年 (1966)	<ul style="list-style-type: none"> ○市立松風幼稚園開園（松風小学校に併設）

昭和41年 (1966)	<ul style="list-style-type: none"> ○中央中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○「市立函館整肢学院」に青柳小学校および旭中学校の特殊学級（肢体不自由）を開設（のちに青柳学園と改称） ○市立函館博物館本館開館 ○銭亀沢村が函館市に合併（銭亀小学校、石崎小学校、宇賀小学校、銭亀沢中学校が市立移管） ○私立函館短期大学附属幼稚園開園
〃 42年 (1967)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校施設等を勤労青少年の社会教育活動に開放するため、初の学校開放実施（新川小学校） ○函館大谷高等学校に男子部（当時亀田本町本通）を設置 ○亀田小学校（亀田町立当時）に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○木造大日如来坐像が国の重要文化財に指定 ○戸井村学校給食開始 ○戸井中央公民館開館 ○第1回戸井村文化祭開催
〃 43年 (1968)	<ul style="list-style-type: none"> ○桐花中学校（亀田町立当時）・大川中学校に特殊学級（精神薄弱）を設置 ○戸井青少年会館開館
〃 44年 (1969)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館商業高等学校が亀田町の新校舎に移転 ○函館市青年センター開館 ○梁川交通公園開設 ○昭和竜谷女子高等学校を函館昭和女子学園高等学校と改称 ○市立函館博物館郷土資料館開館
〃 45年 (1970)	<ul style="list-style-type: none"> ○町立北海道恵山高等学校開校 ○上湯川小学校開校 ○西小学校開校（常盤小学校と幸小学校の統合） ○函館市民会館開館 ○第一回新成人海外派遣実施
〃 46年 (1971)	<ul style="list-style-type: none"> ○深堀小学校開校 ○大森小学校に特殊学級（言語障がい）を設置 ○函館市民プール開館 ○太刀川家住宅店舗が国の重要文化財に指定 ○戸井高等学校が全日制となる。 ○南茅部町青少年会館開館
〃 47年 (1972)	<ul style="list-style-type: none"> ○東小学校開校（銭亀小学校と宇賀小学校の統合） ○函館市働く婦人の家開館 ○戸井郷土館開館 ○南茅部町福祉センター（南茅部公民館）開館
〃 48年 (1973)	<ul style="list-style-type: none"> ○新川小学校に特殊学級（情緒障がい・肢体不自由）を設置 ○戸倉中学校開校 ○市立日吉幼稚園開園 ○亀田市が函館市と合併（亀田・鍛神・赤川・桔梗・中の沢・昭和・中央・本通の8小学校、鍛神小東山分校、桐花・亀田の2中学校が函館市立として編入、私立太陽の子幼稚園、私立大谷短期大学附属幼稚園、私立函館白百合学園幼稚園、私立ゆたか幼稚園の4園が函館市内となる） ○私立函館白百合学園中学校休校 ○東幼稚園・西地区学校プール完成（戸井）
〃 49年 (1974)	<ul style="list-style-type: none"> ○私立函館第二大谷幼稚園が花園町に移転し、花園大谷幼稚園として開園 ○函館市北海道教育センター開所 ○函館市民体育館開館

昭和49年 (1974)	○旧函館区公会堂が国の重要文化財に指定
〃 50年 (1975)	○北日吉小学校開校 ○本通中学校開校 ○「函館市ゆのかわ学園」に湯川小学校の特殊学級（精神薄弱）を開設 ○重度心身障がい児のための住宅訪問指導員制度発足 ○著保内野で中空土偶発見
〃 51年 (1976)	○北昭和小学校開校 ○高丘小学校開校 ○万年橋幼稚園開園 ○日吉が丘小学校に特殊学級（情緒障がい）を設置 ○「函館市ゆのかわ学園」に湯川中学校の特殊学級（精神薄弱）を設置 ○市立函館図書館赤川通分室開館 ○第一回函館市婦人大学講座開設 ○第一回市民美術公募展開催 ○国立函館大学誘致促進期成会発足 ○戸井高等学校道立移管
〃 52年 (1977)	○西中学校開校（船見中学校と愛宕中学校の統合） ○市立函館図書館上湯川児童図書室開館 ○私立第2太陽の子幼稚園開園 ○第1回はこだて放送文化セミナー開設 ○総合センター（戸井総合学習センター）開館
〃 53年 (1978)	○中部小学校が開校（新川小学校と松風小学校の統合） ○東山小学校が開校 ○函館東高等学校校舎改築に着手（計画年度昭53～58） ○市立函館図書館第1分館桔梗配本所開設 ○見晴町B遺跡・中野A遺跡発掘調査実施 ○日新小学校改築工事竣工 ○榎法華小学校 校舎改築落成
〃 54年 (1979)	○旭岡小学校開校 ○北美原小学校開校 ○私立函館ひかり幼稚園開園 ○北海道五稜郭養護学校開校 （青柳小学校特殊学級(肢体不自由), 旭中学校特殊学級(肢体不自由), 柏野小学校特殊学級(病弱虚弱), 五稜中学校特殊学級(病弱虚弱)を廃止） ○市立小・中学校に米飯給食を導入（週1回） ○移動図書館車（ともしび号）運行開始 ○土偶が国の重要文化財に指定 ○北海道指定有形文化財旧函館博物館1号修復工事実施 ○権現台場遺跡発掘調査実施（昭54～55年度） ○函館市道立高等学校誘致促進期成会発足 ○私立函館あおい幼稚園が開園 ○日新中学校改築工事竣工 ○榎法華小学校 屋内体育館改築落成
〃 55年 (1980)	○赤川中学校開校 ○私立函館三育小学校開校 ○銭亀沢中学校校舎改築 ○重要文化財旧函館区公会堂保存修理工事着手（昭55～57年度）

昭和55年 (1980)	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回函館子どもの船開設 ○第1回函館市民健康マラソン大会開催 ○特別史跡五稜郭跡二の橋修理工事着手 (昭55～56年度) ○函館市指定有形文化財旧北海道庁函館支庁庁舎保存修理工事着手 (昭55～56年度) ○函館大谷女子短期大学に幼児教育科を新設 ○函館市に道立高等学校の新設決定, 昭和58年度開校 〔北海道教育長期総合計画 (後期実施計画)〕 ○函館市学校教育の重点を改訂 ○楯法華総合センター開館
〃 56年 (1981)	<ul style="list-style-type: none"> ○旭岡中学校開校 ○湯川中学校分教場新築工事着手 (翌年市立北中学校として開校) ○私立湯川明照幼稚園廃止 ○私立ききょう幼稚園開園 ○私立高丘幼稚園開園 ○特別史跡五稜郭跡一の橋, 二の橋修理工事完成 ○函館市総合文化センター基本計画策定 ○第1回函館子どもの祭典開催 ○戸井西幼稚園開園 (戸井地区)
〃 57年 (1982)	<ul style="list-style-type: none"> ○北中学校開校 ○凌雲中学校開校 (中央中学校と松川中学校の統合) ○北洋資料館開館 ○教育委員会施行30周年記念事業 〔文化講演会, 函館市教育委員会のあゆみ刊行 (編集昭和57年度～59年度)〕 ○「子どもの生活を考える」市内7ブロックで発足 ○市立函館図書館湯川配本所開館 (湯川支所内) ○銭亀沢中学校校舎改築 ○北海道五稜郭養護学校校舎落成 ○北海道函館養護学校校舎落成 ○楯法華中学校改築
〃 58年 (1983)	<ul style="list-style-type: none"> ○南本通小学校開校 ○北海道函館稜北高等学校開校 ○義務教育施設整備目標策定 (昭59～平5年度) ○すずらん留守家庭児童会開設 (上湯川小学校内) ○西部地区伝統的建造物群調査実施 ○函館ハリストス正教会復活聖堂が国の重要文化財に指定
〃 59年 (1984)	<ul style="list-style-type: none"> ○桔梗中学校開校 ○函館大谷高等学校が男女共学開始 ○核兵器廃絶平和都市宣言 ○南茅部町スポーツセンター (南茅部スポーツセンター) 開設
〃 60年 (1985)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市教育委員会30年誌発行 ○千代田小学校校舎改築 (昭59～60年度) ○サイベ沢遺跡発掘調査完了 (昭59～60年度) ○町民運動広場 (戸井運動広場) 完成 (戸井地区)
〃 61年 (1986)	<ul style="list-style-type: none"> ○中の沢小学校校舎・屋体改築 ○湯川小学校校舎・防音改築 (昭58～61年度) ○北海道立函館美術館開館 ○市民プール50mプール改築 (昭59～61年度)

昭和61年 (1986)	○ふるさとの歴史的事跡モニュメント設置調査完了 (昭59～61年度)
〃 62年 (1987)	○北星小学校校舎・屋体新築 (昭61～62年度) ○史跡志苔館跡環境整備事業完了 (昭58～62年度)
〃 63年 (1988)	○函館市学校教育の重点を改訂 ○北星小学校が開校 (巴小学校と若松小学校の統合) ○義務教育施設整備計画 [木造校舎・屋内運動場改築事業 (平元～7年度)] 策定 ○駒場小学校火災焼失(1月25日), 建設着手 ○亀田中学校校舎改築 (昭62～63年度) ○第42回全国レクリエーション大会兼第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催 ○陣川町遺跡発掘調査完了 (昭62～63年度) ○重要文化財函館ハリストス正教会復活聖堂保存修理事業完了(昭61～63年度) ○函館市西部地区歴史的景観条例公布・施行 ○函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区の決定および保存計画の策定 ○南茅部町民運動公園 (南茅部運動広場) 開設
平成元年 (1989)	○財団法人函館市文化・スポーツ振興財団設立 ○駒場小学校改築 ○柏野小学校校舎改築 (昭和63～平成元年度) ○権現台場遺跡発掘調査実施 ○第44回国民体育大会「はまなす国体」水泳競技(夏季), 自転車競技(秋季)を開催 ○函館市北方民族資料・石川啄木資料館開館 ○伝統的建造物群保存地区保存事業開始 ○国際観光都市宣言
〃 2年 (1990)	○青柳小学校開校 (青柳小学校と谷地頭小学校の統合) ○桔梗小学校改築 (平成元～2年度) ○亀田小学校改築 (平成元～2年度) ○「登校拒否児童生徒の適応指導の在り方に関する調査研究委託事業」文部省委託 (平成2～3年度) ○「第4回ツール・ド・北海道」開催 ○特別史跡五稜郭跡保存整備基本計画策定 ○史跡四稜郭環境整備事業完了 ○箱館奉行所復元詳細調査実施 ○南茅部町民臼尻スキー場 (現臼尻スキー場) 開設 ○南茅部町民テニスコート (現南茅部市民庭球場) 開設
〃 3年 (1991)	○赤川小学校改築 ○万年橋小学校改築 (平成2～3年度) ○湯川中学校改築 (平成2～3年度) ○第1回函館ハーフマラソン大会開催 ○函館市青少年芸術教育奨励事業開始 ○豊原2遺跡発掘調査実施 (平成3～5年度) ○小・中学校へのコンピュータ導入
〃 4年 (1992)	○潮見中学校改築 (平成3～4年度) ○市制施行70周年記念事業宝くじスポーツフェア「名球会がやってくる」開催 ○中学生を対象とした適応指導教室「やすらぎ学級」を南北海道教育センター内に開校 ○「スポーツ健康都市宣言」制定
〃 5年 (1993)	○宇賀の浦中学校開校 (旭中学校と新川中学校の統合) ○函館市文学館開館 (北方民族資料館は単独館化)

平成5年 (1993)	<ul style="list-style-type: none"> ○中島小学校改築 (平4～5年度) ○八幡小学校改築 (平4～5年度) ○外国人英語指導助手導入
〃 6年 (1994)	<ul style="list-style-type: none"> ○千代台公園野球場 (オーシャンスタジアム) 全面改修 ○「第8回ツール・ド・北海道」開催 ○石倉貝塚発掘調査実施 (平成6～8年度) ○港小学校改築 (平成5～6年度) ○港中学校改築 (平成5～6年度) ○「いきいき長寿都市宣言」制定
〃 7年 (1995)	<ul style="list-style-type: none"> ○神山小学校開校 ○金堀小学校改築 (平成6～7年度) ○深堀中学校改築 (平成6～7年度) ○外国人英語指導助手増員 (2名体制) ○湯川ネット式海水浴場開設
〃 8年 (1996)	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習部設置 (社会教育部を改組) ○社会教育施設整備基本計画策定 ○生涯学習推進基本構想策定 ○鱒川小中学校改築 ○石崎小学校改築 ○鍛神小学校改築 (平成7～8年度) ○桐花中学校改築 (平成7～8年度) ○外国人英語指導助手増員 (3名体制) ○函館市青少年研修センター (ふるる函館) 開所 ○スクールカウンセラー活用調査研究委託事業開始 (平成8～9年度) ○大船C遺跡 (現大船遺跡) 発掘調査実施 (平成8～13年度, 17～18年度)
〃 9年 (1997)	<ul style="list-style-type: none"> ○私立函館大学附属女子高等学校を私立函館大学附属柏稜高等学校と改称 (男女共学) ○私立函館白百合学園中学校再開 ○第2次義務教育施設整備計画策定 ○函館市日吉サッカー場完成 ○港小学校プールに上屋設置 ○本通中学校屋内体育館改修 (7月6日火災による) ○中の沢小学校上屋付プール完成 ○第2回北海道生涯学習フェスティバル開催 ○「一男女共同参画社会をめざすーはこだてプラン21」策定 ○小中学校屋内体育館暖房設備の整備開始 ○潮光中学校新校舎完成
〃 10年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> ○「戦後学校教育の五十年」の発行 ○スクールカウンセラー活用調査研究委託事業継続 (2名体制) ○函館市芸術ホール (ハーモニー五稜郭) 完成 ○ウィークエンド・サークル活動推進事業開始 ○美原図書館夜間開館試行 ○駒場小学校上屋付プール完成 ○青柳小学校プールに上屋設置 ○「第12回ツール・ド・北海道」開催 ○長野県南佐久郡臼田町と「五稜郭ゆかりのまち協定書」締結 ○戸倉中学校情緒特殊学級「ふれあい学級」開設 ○戸井幼稚園開園 (戸井東, 西幼稚園統合)

平成10年 (1998)	<ul style="list-style-type: none"> ○鎌歌小学校を閉校し、日新小学校に統合 ○戸井西小学校開校（汐首小学校，小安小学校統合） ○戸井生涯学習センター開館 ○南茅部町民プール（南茅部プール）開館
〃 11年 (1999)	<ul style="list-style-type: none"> ○函館市千代台公園陸上競技場全面改修 ○北美原小学校，赤川小学校に肢体不自由特殊学級開設 ○南本通小学校プールに上屋設置 ○瀬戸川 1 遺跡発掘調査実施（平成11～14年度） ○豊原 4 遺跡発掘調査実施（平成12～14年度） ○私立函館ラ・サール中学校開校 ○函館市千代台公園弓道場火災焼失(10月30日) ○南茅部町立古部小学校廃校 ○南茅部町立磯谷小学校廃校 ○古部体育館，古部グラウンド，磯谷体育館，磯谷グラウンド開設
〃 12年 (2000)	<ul style="list-style-type: none"> ○湯川小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○大森小学校「ことばの教室」を廃止。中部小学校・中央小学校「ことばの教室」新設（日吉が丘小学校とあわせて3校体制に） ○外国人英語指導助手増員（5名体制に） ○函館市千代台公園弓道場改修 ○郷土資料館（旧金森洋物店）改修 ○中部小学校肢体不自由特殊学級閉鎖 ○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所復元構想策定 ○垣ノ島A遺跡発掘調査実施（平成12～21年度）
〃 13年 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> ○教育委員会事務局を生涯学習部・学校教育部の2部制に（管理部を廃止） ○女性課を市民部に移管（男女共同参画課に） ○特別史跡箱館奉行所庁舎復元計画策定 ○「第15回ツール・ド・北海道」開催 ○旧遺愛女子校宣教師館が国の重要文化財に指定 ○旧岩船氏庭園（香雪園）が国の名勝に指定 ○柏野小学校，中央小学校に情緒障がい特殊学級開設 ○湯川中学校肢体不自由特殊学級開設 ○大船遺跡が国の史跡に指定
〃 14年 (2002)	<ul style="list-style-type: none"> ○亀尾小学校特認校に指定 ○中部小学校，港中学校に弱視特殊学級開設 ○東小学校に知的障がい特殊学級開設 ○桐花中学校に情緒障がい特殊学級開設 ○学校完全週5日制施行 ○学校評議員制度導入 ○あさひ小学校開校（大森小学校と東川小学校の統合） ○市立函館博物館がアルセニエフ博物館（ロシア）と姉妹提携 ○志海苔古銭と大甕，函館八幡宮大神輿が市指定有形文化財に ○中央図書館プロポーザルコンペ実施 ○市立函館図書館第1分館廃止
〃 15年 (2003)	<ul style="list-style-type: none"> ○市立はこだて幼稚園開園（函館幼稚園，松風幼稚園統合） ○市立函館図書館千歳図書室開設 ○蛾眉野小中学校統合廃止（亀尾小中学校と統合） ○あさひ小学校，高丘小学校に情緒障がい特殊学級開設

平成15年	(2003)	○北昭和小学校に知的障がい特殊学級開設
		○北海道志海苔中世遺構出土銭附甕敷板が国の重要文化財に指定
// 16年	(2004)	○「第18回ツール・ド・北海道」開催
		○えさん小学校開校（尻岸内小学校、恵山小学校、古武井小学校、日浦小学校統合）
		○戸井町、恵山町、楳法華村、南茅部町が函館市と合併 （戸井西・日新・えさん・楳法華・木直・磨光・臼尻・大船の8小学校、潮光・日新・尻岸内・東光・楳法華・尾札部・臼尻の7中学校、恵山高校、戸井幼稚園が函館市立として編入、道立戸井高校、道立南茅部高校の2高校が函館市内となる）
		○国指定史跡大船遺跡、国指定重要文化財土偶が市に移管（南茅部）
		○名勝旧岩船氏庭園（香雪園）保存修理事業実施（平成16～21年度）
		○函館市スポーツ振興計画策定
		○市立函館図書館上湯川児童図書室閉館
// 17年	(2005)	○八幡小学校に肢体不自由特殊学級開設
		○旭岡小、鍛神小、戸倉中に知的障がい特殊学級開設
		○深堀小学校に情緒障がい特殊学級開設
		○尾札部中学校に肢体不自由特殊学級開設
		○恵山中学校開校（尻岸内中学校と東光中学校の統合）
		○函館恵山高等学校が旧尻岸内中学校校舎へ移転
		○市立函館図書館本館 中央図書館の移転に伴い休館
		○遺愛学院（旧遺愛女学校）本館が国の重要文化財に追加指定
		○大船遺跡発掘調査実施
		○垣ノ島遺跡発掘調査実施
		○市民体育館天井改修工事のため休館（6/30～12/17）
		○函館市中央図書館閉館
		○北星小、駒場小、港中、臼尻小、恵山中に知的障がい特殊学級開設
		○昭和小学校改築（平成17～19年度）
// 18年	(2006)	○函館市南茅部縄文遺跡群整備構想策定
		○函館市文化芸術振興条例施行
		○函館公園が国の登録記念物に指定
		○ブラキストンの大型磨製石斧、高松凌雲の医療器具が市の有形文化財に指定
		○放送大学函館学習室開設（函館大学内）
		○特別史跡五稜郭跡箱館奉行所庁舎復元工事着手（平成18～22年度）
		○弥生小、千代田小、港小、桔梗小、本通小、南本通小に情緒障がい特殊学級開設
		○高丘小に知的障がい特殊学級開設
		○的場中に肢体不自由特殊学級開設
		○「縄文シティサミットinはこだて」、 「縄文市民サミット」開催
// 19年	(2007)	○函館市西桔梗野球場開設
		○市立函館高等学校開校（函館東高等学校と函館北高等学校の統合）
		○土偶が国宝に指定
		○函館市文化芸術の振興に関する基本方針策定
		○外国人英語指導助手増員（6名体制に）
		○市立函館高等学校改修
		○市立函館博物館五稜郭分館閉館
		○万年橋小、日吉が丘小、昭和、鍛神小に情緒障がい特別支援学級開設
		○北日吉小、えさん小に知的障がい特別支援学級開設
		○東山小に肢体不自由特別支援学級開設
// 20年	(2008)	○北日吉小、鱒川小、楳法華小、本通中に情緒障がい特別支援学級開設

平成20年(2008)	<ul style="list-style-type: none"> ○桔梗小, 本通中に知的障がい特別支援学級開設 ○鍛神小, 北中に肢体不自由特別支援学級開設 ○市立万年橋幼稚園, 市立日吉幼稚園廃止 ○北海道函館恵山高等学校廃止 ○南部忠平記念陸上大会開催 ○史跡大船遺跡が世界文化遺産暫定一覧表に登載
〃 21年(2009)	<ul style="list-style-type: none"> ○弥生小学校開校(西小学校と弥生小学校の統合) ○八幡小, 高盛小, 木直小, 亀田中, 恵山中に知的障がい特別支援学級開設 ○磨光小, 潮見中, 港中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○日吉が丘小に肢体不自由特別支援学級開設
〃 22年(2010)	<ul style="list-style-type: none"> ○文化芸術アウトリーチ事業開始 ○箱館奉行所開館 ○重要文化財旧函館区公会堂築100年記念事業の実施 ○金堀小, 深堀小, 昭和小, 神山小, 本通小, 宇賀の浦中, 尾札部中, 臼尻中に知的障がい特別支援学級開設 ○北星小, 高盛小, 東小, 西中, 恵山中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○中島小に肢体不自由特別支援学級開設 ○昭和小, 港中に病弱・身体虚弱特別支援学級開設 ○鍛法華中親子学校給食共同調理場供用開始 ○ツール・ド・北海道2010開催 ○第20回記念2010函館ハーフマラソン大会開催
〃 23年(2011)	<ul style="list-style-type: none"> ○垣ノ島遺跡が国の史跡に指定 ○はつらつママさんバレーボール in Hakodate開催 ○赤川小, 磨光小, 臼尻小, 港中, 的場中, 深堀中に知的障がい特別支援学級開設 ○金堀小, 駒場小, 神山小, 東山小, 北中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○湯川中に肢体不自由特別支援学級開設 ○磨光小学校開校(磨光小学校と木直小学校の統合) ○縄文文化交流センター開館 ○鍛法華総合センター改修 ○日吉が丘小学校・五稜中学校耐震化
〃 24年(2012)	<ul style="list-style-type: none"> ○円空作仏像観音像が市の有形文化財に指定 ○青柳小, 北星小, 万年橋小, 東山小, 北中に知的障がい特別支援学級開設 ○八幡小, 高丘小, 旭岡小, 本通小, 臼尻小, 桔梗中, 亀田中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○弥生小学校新校舎供用開始 ○凌雲中学校耐震化
〃 25年(2013)	<ul style="list-style-type: none"> ○市制施行90周年記念第29回「平和の日」函館の集い開催 ○青柳小, 中島小, 石崎小, えさん小, 宇賀の浦中, 赤川中, 潮光中, 鍛法華中に自閉症・情緒障がい特別支援学級開設 ○本通中に肢体不自由特別支援学級開設

2 函館市内の指定文化財

国指定(15件)



土偶



木造大日如来坐像



太刀川家住宅店舗



旧函館区公会堂



函館ハリストス正教会復活聖堂



遺愛学院(旧遺愛女学校)旧宣教師館



遺愛学院(旧遺愛女学校)本館



北海道志海苔中世遺構出土銭



大谷派本願寺函館別院(本堂)



アイヌの生活用具コレクション



五稜郭跡



四稜郭



志苔館跡



大船遺跡



旧岩船氏庭園(香雪園)

国選定(1件)

国登録(18件)



垣ノ島遺跡



函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区



函館公園(登録記念物※名勝地)

一 覧 表

(1) 国 指 定 (15件)

種 別	名 称	所 在 地	管 理・所 有 者	指 定 年 月 日	摘 要
国宝	土偶	白尻町551-1 縄文文化交流センター	函館市	H19.6.8	縄文時代後期の土偶であり、高さ 41.5cm, 幅20.1cm
重要文化財	木造大日如来坐像	住吉町12-23 高野寺	高野寺	S42.6.15	11世紀から12世紀初期の作 明治24年(1891)紀州高野山から付与
	太刀川家住宅店舗	弁天町15-15	太刀川善一	S46.12.28	明治34年(1901)初代太刀川善吉が建築 明治末期の開港場商家の典型例
	旧函館区公会堂	元町11-33	函館市	S49.5.21	明治43年(1910)建設の擬洋風建築物
	函館ハリストス 正教会復活聖堂	元町3-13	函館ハリストス 正教会	S58.6.2	大正5年(1916)に建築されたロシアビ ザンチン様式を基本とする聖堂
	遺愛学院 (旧遺愛女学校) 本館 旧宣教師館	杉並町23-11	学校法人 遺愛学院	H13.6.15	明治41年(1908)に建築された洋風木造 校舎と外国人宣教師の洋風住宅 (H16.12.10本館追加指定)
	北海道志海苔 中世遺構出土銭	青柳町17-1 博物館	函館市	H15.5.29	昭和43年、志海苔町で発見された37万 枚を超える埋蔵古銭と大甕・敷板
	大谷派本願寺函館 別院 本堂 鐘楼 正門	元町16-15	宗教法人 真宗大谷派函館別院	H19.12.4	本堂は大正4年に竣工した国内最初の 鉄筋コンクリート構造の寺院建築。 鐘楼、正門も大正初期に建設された。
重要有形 民俗文化財	アイヌの生活用具 コレクション	末広町21-7 函館市北方民族資料館	函館市	S34.5.6	民族学者馬場脩氏が昭和初期に樺太な どから収集したアイヌ民族資料
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭町 本通1丁目	函館市	S27.3.29	安政4年(1857)武田斐三郎設計により 着工、元治元年(1864)竣工 明治維新箱館戦争の舞台
史跡	四稜郭	陣川町	函館市	S9.1.22	明治2年(1869)五稜郭の背後を固める ため急造した洋式堡塁
	志苔館跡	志海苔町・赤坂町	函館市	S9.8.9	室町時代中期の小豪族の館
	大船遺跡	大船町	函館市	H13.8.13	縄文時代前期末から中期末までの約千 年間に築いた集落跡
	垣ノ島遺跡	白尻町	函館市	H23.2.7	縄文時代早期から後期にかけての長期 間にわたる大規模な盛土遺構が存在す る集落跡
名勝	旧岩船氏庭園 (香雪園)	見晴町	函館市	H13.8.13	明治時代後半に市内の呉服商により造 成された、大規模で本格的な庭園

(2) 国 選 定 (1件)

種 別	名 称	所 在 地	選 定 年 月 日	摘 要
重要伝統的 建造物群 保存地区	函館市元町末広町 伝統的建造物群 保存地区	弥生町, 大町, 元町, 末広町, 豊川町 の各一部	H1.4.21	旧外国公館, 宗教施設および煉瓦造の 倉庫群, 和洋折衷様式の町家など異国 情緒豊かな町並み

(3) 国 登 録 (18件)

種 別	名 称	所 在 地	管 理・所 有 者	登 録 年 月 日	摘 要
登録有形	五島軒本店旧館	末広町4-13	株式会社五島軒	H9.5.7	昭和9年建築のレストラン
	北海道教育大学函館 校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	八幡町1-2	北海道教育大学	H12.4.28	大正3年建築の洋風木造校舎
	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	元町32-24	中澤 美樹	H12.4.28	昭和3年建築の洋風一般住宅
	函館中華会館	大町1-20	(社)函館中華会館	H13.4.24	明治43年建築の関帝廟形式の集会所
	遺愛学院講堂	杉並町64-1	学校法人遺愛学院	H14.6.25	昭和10年建築の周囲との調和を図った講堂
	函館大手町ハウス (旧浅野セメント 函館営業所)	大手町5-1	澤田和子 阿部基子	H17.7.12	大正7年建築の、木造凝洋風社屋
	遺愛学院(旧遺愛女 学校)謝恩館	杉並町64-1	学校法人 遺愛学院	H17.7.12	大正11年建築、昭和36年2階部分増築 の同窓会館
	高龍寺本堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治32年建築、大規模で装飾性豊か な近代の曹洞宗本堂
	高龍寺開山堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治30年頃建築、函館市内に残る煉 瓦造建築の古例となる遺構
	高龍寺山門及び袖 堀	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治43年頃建築、雲龍や獅子等の彫 刻を施す、装飾豊かな門

種別	名称	所在地	管理・所有者	登録年月日	摘要
登録有形	高龍寺防火塀	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	明治43年建築，大火が頻発した近代函館を象徴する遺構
	高龍寺金毘羅堂	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年建築，高龍寺境内で最も装飾的な建築のひとつ
	高龍寺水盤舎	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年頃建築，立体的で充実した彫刻のある水盤舎
	高龍寺鐘楼	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正11年建築，水盤舎同様充実した彫刻のある鐘楼
	高龍寺宝蔵	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正5年建築，煉瓦造を用いた独特の形式の蔵
	高龍寺位牌堂	船見町21-1外	宗教法人高龍寺	H24.2.23	昭和8年建築，地階を有し，彫刻に技巧が凝らされた建物
	高龍寺土塀	船見町21-3	宗教法人高龍寺	H24.2.23	大正6年頃建築，山門袖塀の左右に伸びる土塀
登録記念物(名勝地)	函館公園	青柳町	函館市	H18.1.26	明治12年開園の和洋折衷型の公園

(4) 道指定 (20件)

指定区分	名称	所在地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	樽岸出土の石器	青柳町17-1 博物館	函館市	S32.12.20
	夷酋列像粉本	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S34.2.24
	旧金森洋物店	末広町19-15	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館1号	青柳町17-5	函館市	S38.7.26
	旧函館博物館2号	青柳町17-4	函館市	S38.7.26
	楳法華出土の尖底土器	青柳町17-1 博物館	函館市	S43.3.29
	釈迦涅槃図 蠣崎波響筆	船見町21-11 高龍寺	高龍寺	S43.3.29
	石崎八幡神社の鰐口	青柳町17-1 博物館	石崎八幡神社	S43.3.29
	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	刀銘 源 正雄	青柳町17-1 博物館	函館市	S45.2.12
	板碑(貞治の碑)	船見町18-14 称名寺	称名寺	S46.3.5
	板碑(戸井町の板碑)	浜町291-1 戸井郷土館	函館市	S46.3.5
	サイベ沢遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	住吉町遺跡出土の遺物	青柳町17-1 博物館	函館市	S46.3.5
	旧北海道庁函館支庁庁舎	元町12-18	函館市	S60.3.30
	旧開拓使函館支庁書籍庫	元町12-1	函館市	S60.3.30
無形民俗文化財	松前神楽	青柳町9-23	松前神楽函館連合保存会	H20.6.9
史跡	恵山貝塚	恵山町	函館市	S42.3.17
	女那川煉瓦製造所跡	川上町	函館市	S42.3.17
	古武井浴鉢炉跡	高岱町	函館市	S42.3.17

(5) 市指定 (87件)

指定区分	名称	所在地	管理・所有者	指定年月日
有形文化財	小林源之助著 蝦夷地草木写生図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	小玉貞良筆 蝦夷国風図絵	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	アイヌ風俗12ヵ月屏風1双(うち7月～12月は平沢屏山筆，1月～6月は宮原柳僊模写)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日
	近藤重蔵書翰	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	イワン・マホフ著 ろしやのいろは	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	古川古松軒筆 松前蝦夷地之図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S37.11.3
	菅原透ほか鏝23点, 唐草文ほか小物5点	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	恵山貝塚出土品を中心とする恵山文化期骨角器製品一括資料506点並びに恵山貝塚出土遺物を中心とする恵山式土器一括資料62点(いずれも旧能登川コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	日ノ浜遺跡出土 硬玉製玉(縄文晩期)	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	カムチャツカ出土 マンモス牙	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	セイウチ(海象)剥製	五稜郭町37-8 北洋資料館	函館市	S37.11.3
	樺太出土 マンモス下顎骨と臼歯	青柳町17-1 博物館	函館市	S37.11.3
	十一面観音立像	船見町18-14 称名寺	須藤隆仙	S38.11.3
	阿弥陀如来像	船見町18-14 称名寺	須藤隆仙	S38.11.3
	不動明王立像	船見町20-20 真言寺	藤原義弘	S38.11.3
	梁川八景	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S38.11.3
	唐美人	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	落下コロボックル人の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S38.11.3
	蝦夷嶋図説	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S39.11.3
	蝦夷嶋奇観	柏木町28-15	渡辺 晃	S39.11.3
	維摩	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	アイヌ絵巻	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	蓬萊図	湯川町2丁目10-1	関 テイ	S39.11.3
	詩書 榎本武揚筆	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	函館新聞綴込一括	柏木町28-15	渡辺 晃	S39.11.3
	有舌尖頭器類73点	青柳町17-1 博物館	函館市	S39.11.3
	絹本着色 春雨桜雉図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 巖上鴛鴦図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 五節句図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	絹本着色 牡丹睡猫図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	紙本単彩 雁来紅図 蠣崎波響筆(旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記 9冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	羽太庄左衛門正養 手沢本 休明光記付録12冊	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S40.11.3
	蝦夷日誌 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	実験北蝦夷山川地理取調図 松浦武四郎著	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷家財図説 松浦武四郎稿	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷疇奇観 松浦武四郎写	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	短冊 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	黒百合 松浦武四郎筆	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S41.11.3
	蝦夷人巫寒山遙拝の図 松浦武四郎筆	柏木町28-15	渡辺 晃	S41.11.3
	伝ゴローニンの書	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	S43.12.4
	弁天島八千代橋の図	白尻町595 白尻小学校	函館市	S53.2.28
	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 竜の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S53.2.28
	川汲温泉薬王殿奉納絵馬 馬の図	青柳町17-1 博物館	函館市	S53.2.28
	巖島神社旧社殿彫刻	白尻町151 巖島神社	宗教法人巖島神社	S53.2.28
	奉納経神社仏閣順拝帳	川汲町975	小坂 久弥	S53.2.28
	飯田屋漁場文書	尾札部町1220	飯田 勝雄	S53.2.28

指定区分	名 称	所 在 地	管理・所有者	指定年月日	
	ヲタハマ稲荷文書	大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	成田 利雄	S53.2.28	
	尾札部稲荷神社文書	尾札部町473 尾札部稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S53.2.28	
	熊泊稲荷文書	大船町316-1 大船稲荷神社	宗教法人 大船稲荷神社	S53.2.28	
	旧イギリス領事館	元町33-14	函館市	S54.11.3	
	ペリー提督寄贈の洋酒びん2本 (小島家旧蔵・旧花光コレクション)	青柳町17-1 博物館	函館市	S54.11.3	
	伝目定作 釈迦如来坐像	尾札部町675	坂井 英一郎	S54.12.7	
	伝目定作 釈迦如来立像	木直町94	山形 信芳	S54.12.7	
	伝目定作 脇侍形菩薩立像	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	S54.12.7	
	伝目定作 釈迦如来坐像	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	S54.12.7	
	伝目定作 恵比須像	大船町124	成田 昭治	S54.12.7	
	川汲稲荷神社奉納絵馬 『楠木正成正行父子桜井驛の別れの図』	川汲町1520-4 南茅部公民館	宗教法人 尾札部稲荷神社	H12.8.10	
	伝目定作 恵比須大黒神像	安浦町105	鳥山 仁	H12.8.10	
	白尻B遺跡出土『シカ絵画土器』	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	H12.8.10	
	八木B遺跡出土 『注口土器及び下部有孔土器』	川汲町1520-4 南茅部公民館	函館市	H12.8.10	
	日米親善人形『メリー』	白尻町595 白尻小学校	函館市	H12.8.10	
	函館八幡宮大神輿	谷地頭町2-5 函館八幡宮	函館八幡宮	H14.6.5	
	ブラキストンの大形磨製石斧	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12	
	高松凌雲の医療器具	青柳町17-1 博物館	函館市	H18.4.12	
	五稜郭初度設計図	青柳町17-1 博物館	函館市	H20.10.8	
	五稜郭平面図	五稜郭町26-1 中央図書館	函館市	H20.10.8	
	円空作仏像観音像	船見町18-14 称名寺	護念山摂取院称名寺	H24.2.8	
	有形民俗	コディアック・アリユート 3人乗皮舟付かい3本	末広町21-7 北方民族資料館	函館市	S54.11.3
		木直稲荷神社 第1号～第6号棟札	木直町803 木直稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
		川汲稲荷神社 第1号～第4号棟札	川汲町861 川汲稲荷神社	宗教法人 尾札部稲荷神社	S54.12.7
巖島神社 第1号～第6号棟札		白尻町151 巖島神社	宗教法人 巖島神社	S54.12.7	
ヲタハマ稲荷神社 第1号～第2号棟札		大船町136-1 ヲタハマ稲荷神社	成田 利雄	S54.12.7	
無形民俗 文化財	安浦駒踊り	安浦町	安浦駒踊り保存会	S53.2.28	
	木直大正神楽	木直町	木直大正神楽 保存会	S53.2.28	
史跡	高田屋嘉兵衛碑	柏野町	函館市	S34.8.1	
	日ノ浜遺跡	高岱町	函館市	S34.8.1	
	北海道建網大謀網発祥の地及び記念碑	尾札部町2725	函館市	S53.2.28	
	東エゾ箱館在六箇場所白尻会所跡	白尻町234-1	函館市	S53.2.28	
名勝	恵山	柏野町	国	S34.8.1	
	道南金剛	日浦町	国	S34.8.1	
	養の河原	柏野町	国	S34.8.1	
天然記念物	恵山高山植物群	柏野町	国	S34.8.1	
	恵山断層	柏野町117	函館市	S34.8.1	
	イチョウの大樹	白尻町175 覚王寺	宗教法人覚王寺	S53.2.28	
	「大船の杉」大樹	大船町526	函館市	S53.2.28	
	旧白尻村役場のエゾヤマザクラ	白尻町119	函館市	H16.3.10	

3 市立学校・幼稚園一覧

(小学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数		
					普通	特別 支援	計
1 弥 生	M15. 4. 1	鳴 海 裕	23-5285	弥生町4-16	8	1	9
2 青 柳	H2. 4. 1	富 樫 廣 幸	23-8348	青柳町22-13	9	2	11
3 あさひ	H14. 4. 1	黒 丸 譲 二	22-2181	大森町6-11	11	1	12
4 中 部	S53. 4. 1	沢 田 慶 一	22-2503	新川町30-26	6	2	8
5 北 星	S63. 4. 1	金 谷 美也子	41-3340	大縄町24-26	6	2	8
6 八 幡	S16. 1. 15	大 堂 譲	41-5245	八幡町15-30	12	2	14
7 万年橋	S2. 1. 10	鳥 羽 栄 治	42-0861	吉川町6-22	6	2	8
8 港	S22. 11. 8	平 馬 隆 司	41-5855	港町1丁目22-1	12	2	14
9 高 盛	S2. 4. 26	秋 山 隆 行	52-5168	高盛町17-1	7	1	8
10 千代ヶ岱	M6. 4. 9	新 濱 美喜子	51-3061	千代台町10-7	6		6
11 中 島	S7. 12. 30	宇佐美 雅 司	52-1437	中島町30-5	7	1	8
12 千代田	S25. 1. 7	佐 藤 洋 子	52-2518	梁川町23-4	6	1	7
13 柏 野	S3. 3. 2	五十嵐 和 幸	51-3877	松陰町5-10	12	2	14
14 金 堀	S31. 10. 1	村 上 俊 一	51-1023	金堀町3-1	10	2	12
15 駒 場	S25. 4. 1	三 上 清 和	52-2364	駒場町1-6	12	2	14
16 深 堀	S46. 2. 1	村 上 一 典	53-7822	深堀町14-2	11	3	14
17 日吉が丘	S39. 4. 1	片 桐 由 博	51-7072	日吉2丁目34-1	12	2	14
18 北日吉	S50. 4. 1	黒 田 仁 志	55-0924	日吉4丁目5-5	12	1	13
19 湯 川	M13. 9. 12	土 谷 敬	57-1759	湯川町3丁目42-1	12	2	14
20 高 丘	S51. 5. 1	宮 越 忍	57-3381	高丘町3-2	12	2	14
21 上湯川	S45. 2. 1	品 田 晃 宏	57-2211	上湯川町295	6		6
22 旭 岡	S54. 4. 1	市 川 泰 子	50-2867	西旭岡町1丁目33-1	8	2	10
23 亀 尾	M25. 3. 3	額 田 光 治	58-4007	亀尾町28	3		3
24 鱒 川	M34. 5. 15	佐 竹 聡	50-2911	鱒川町91	3	1	4
25 東	S47. 4. 1	榊 博 之	58-2847	銭亀町339	6	1	7
26 石 崎	M13. 4. 2	笠 井 雅 秋	58-2525	石崎町438	3	1	4
27 桔 梗	M15. 11. 2	伊 藤 克 美	46-3607	桔梗1丁目13-2	20	2	22
28 中の沢	S42. 9. 15	野 橋 知 哉	47-1302	桔梗5丁目25-5	13		13
29 北昭和	S51. 4. 1	古 川 邦 彦	45-1070	昭和4丁目38-1	12	1	13
30 昭 和	S40. 4. 1	八 木 裕	41-4964	昭和1丁目5-5	15	4	19
31 亀 田	M34. 2. 1	後 藤 慎 一	41-3370	富岡町1丁目18-1	12	5	17
32 赤 川	M13. 7. 30	高 橋 政 弘	46-3006	赤川町367	6	1	7
33 中 央	S48. 4. 1	戸 澤 和 彦	46-4910	美原2丁目28-1	12	2	14
34 北美原	S54. 4. 1	菊 池 守 晃	46-1370	北美原1丁目9-16	22		22
35 鍛 神	M13. 4. 23	三 島 千 春	51-4503	鍛治2丁目46-4	12	4	16
36 神 山	H7. 4. 1	筑 土 清 彦	32-7211	神山町233-1	12	2	14
37 東 山	S53. 4. 1	須 藤 由 司	53-5531	東山2丁目3-1	16	2	18
38 本 通	S46. 4. 1	林 潤 子	54-3223	本通1丁目47-2	12	2	14
39 南本通	S58. 4. 1	瀬 川 要 三	55-1281	本通3丁目10-1	11	1	12
40 戸井西	H10. 4. 1	村 山 裕	58-2554	小安町548-1	4		4
41 日 新	M13. 10. 18	松 井 博 美	82-2030	弁才町279-1	4		4
42 えさん	H16. 4. 1	佐 藤 幸 男	84-2341	中浜町79	6	2	8
43 榎法華	M13. 4. 5	三 浦 務	86-2051	新八幡町86-1	4	1	5
44 磨 光	M13. 12. 25	白 幡 俊 一	63-2561	尾札部町1609-1	6	2	8
45 臼 尻	M11. 11. 10	高 橋 厚 一	25-3059	臼尻町595	4	2	6
46 大 船	M13. 12. 17	茶碗谷 稔	25-3161	大船町24	4		4
小学校計					425	71	496

平成25年5月1日現在

児童数			道費職員				市費職員				学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務	計	事務	用務	調理	計	
204	3	207	1	13	1	15	1	2		3	弥生
227	2	229	1	14	1	16	1	2		3	青柳
263	2	265	1	16	1	18	1	2		3	あさひ
159	7	166	1	14	1	16		2	2	4	中部
118	2	120	1	12	1	14		2		2	北星
379	5	384	1	21	2	24	1	2	3	6	八幡
145	2	147	1	11	1	13		2	2	4	万年橋
397	3	400	1	18	1	20	1	2	2	5	港
185	1	186	1	11	1	13	1	2	2	5	高盛
134		134	1	10	1	12		2	2	4	千代ヶ岱
198	1	199	1	12	1	14	1	2	2	5	中島
108	2	110	1	11	1	13		2		2	千代田
360	4	364	1	17	1	19	1	2	2	5	柏野
251	4	255	1	16	1	18	1	2	2	5	金堀
350	9	359	1	20	1	22	1	2	2	5	駒場
257	14	271	1	20	1	22	1	2		3	深堀
333	9	342	1	21	1	23	1	2		3	日吉が丘
361	4	365	1	17	1	19	1	2		3	北日吉
338	5	343	1	19	1	21	1	2		3	湯川
331	7	338	1	17	1	19	1	2		3	高丘
153		153	1	10	1	12		2		2	上湯川
224	5	229	1	15	1	17	1	2		3	旭岡
28		28		6	1	7		1	2	3	亀尾
12	2	14		6	1	7		1	1	2	鱒川
102	2	104	1	10	1	12		2	1	3	東
18	1	19	1	7	1	9		1		1	石崎
642	9	651	1	28	1	30	1	2		3	桔梗
400		400	1	17	1	19	1	1	1	3	中の沢
309	3	312	1	18	1	20	1	2		3	北昭和
476	14	490	1	26	1	28	1	2		3	昭和
306	32	338	1	25	1	27	1	2		3	亀田
141	2	143	1	10	1	12		2	1	3	赤川
301	7	308	1	21	1	23	1	2		3	中央
722		704	1	28	2	31	1	2		3	北美原
394	24	418	1	26	1	28	1	2		3	鍛神
337	5	342	1	19	1	21	1	2		3	神山
480	3	483	1	23	1	25	1	2		3	東山
341	5	346	1	17	1	19	1	2		3	本通
247	3	250	1	16	1	18	1	2		3	南本通
53		53	1	6	1	8		1		1	戸井西
44		44	1	6	1	8		1		1	日新
104	2	106	1	11	1	13		1		1	えさん
33	1	34	1	7	1	9		1		1	椴法華
145	2	147	1	11	1	13		1		1	磨光
34	2	36	1	8	1	10		1		1	白尻
42		42	1	6	1	8		1		1	大船
11,186	210	11,396	44	693	48	785	28	81	27	136	小学校計

(中学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地	学 級 数			
					普通	特別 支援	計	
1	西	S52.4.1	東海林 清	22-2625	弥生町11-16	4	1	5
2	潮見	S23.3.31	伊藤 勝	23-4295	青柳町10-7	6	2	8
3	宇賀の浦	H5.4.1	林 弘明	23-5295	大森町34-7	4	1	5
4	凌雲	S57.4.1	切明 学	51-5248	千代台町22-19	6	2	8
5	五稜	S37.4.1	内城 明良	41-3458	田家町5-17	6		6
6	大川	S22.4.1	中谷 満	41-2775	大川町12-38	6		6
7	港	S32.4.1	毛利 繁和	41-5790	港町2丁目10-1	8	2	10
8	光成	S23.4.20	信夫 恵美子	51-5131	高盛町32-2	3		3
9	的場	S22.5.1	高橋 登	52-5108	的場町12-7	10	1	11
10	深堀	S36.4.1	岡野 伸二	52-2682	深堀町28-1	11	1	12
11	湯川	S22.5.1	柳田 智子	59-2008	湯川町2丁目41-1	9	3	12
12	戸倉	S48.4.1	青木 昌史	59-2141	戸倉町26-1	9	2	11
13	旭岡	S56.4.1	安達 克佳	50-3609	西旭岡町3丁目5	5		5
14	亀尾	S22.5.1	額田 光治	58-4007	亀尾町28	2		2
15	鱒川	S36.4.1	佐竹 聡	50-2911	鱒川町91	3		3
16	銭亀沢	S29.4.1	澤村 早苗	58-2542	豊原町140-30	3		3
17	赤川	S55.4.1	蓮本 裕一	46-0486	赤川町125	13	1	14
18	桔梗	S59.4.1	鈴木 利治	46-9990	桔梗町429-4	13	1	14
19	亀田	S23.5.10	青木 完二	46-3005	美原3丁目30-3	18	2	20
20	桐花	S22.4.22	中村 吉秀	41-1332	富岡町1丁目18-2	8	4	12
21	本通	S50.4.1	田辺 信之	55-3141	本通2丁目56-7	18	3	21
22	北	S57.4.1	三觜 徳久	56-0553	山の手3丁目58-1	9	1	10
23	潮光	S27.4.1	工藤 勉	82-2160	釜谷町227	3	2	5
24	日新	S22.5.21	坂田 耕士	82-2061	泊町126	3		3
25	恵山	H17.4.1	三浦 佐和子	85-2122	柏野町9	3	1	4
26	椴法華	S22.4.1	滝澤 智子	86-2151	新浜町151-1	3	1	4
27	尾札部	S24.8.3	吉田 稔	63-2762	尾札部町2023	3	1	4
28	白尻	M22.5.1	風間 和夫	25-3281	豊崎町205	3		3
中学校計						192	32	224

(高等学校)

学 校 名	創立年月日	校長氏名	電話番号	所 在 地
1 市立函館	H19.4.1	土岐 均	52-0099	柳町11-5

(幼稚園)

園 名	創立年月日	園長氏名	電話番号	所 在 地
1 はこだて	H15.4.1	前原 聡子	22-4735	千歳町15-5
2 戸井	H10.4.1	戸澤 裕美枝	82-3577	小安町523-7
幼稚園計				

平成25年5月1日現在

生徒数			道費職員				市費職員				学校名
普通	特別支援	計	校長	教員	事務	計	事務	用務	調理	計	
112	2	114	1	11	1	13		2		2	西
165	6	171	1	16	1	18		2		2	潮見
123	1	124	1	11	1	13		2	2	4	宇賀の浦
182	11	193	1	15	1	17	1	2		3	凌雲
178		178	1	13	1	15		2		2	五稜
177		177	1	12	1	14		2		2	大川
244	6	250	1	18	1	20	1	2		3	港
90		90	1	11	1	13		2		2	光成
330	2	332	1	21	2	24	1	2	2	5	的場
322	3	325	1	22	1	24	1	2	2	5	深掘
316	7	323	1	21	1	23	1	2	2	5	湯川
295	3	298	1	21	1	23	1	2		3	戸倉
135		135	1	10	1	12		2		2	旭岡
18		18	1	5		6					亀尾
16		16	1	8		9					鱒川
81		81	1	9	1	11		2		2	銭亀沢
431	1	432	1	25	1	27	1	2	1	4	赤川
431	3	434	1	25	1	27	1	2		3	桔梗
649	10	659	1	37	1	39	1	2		3	亀田
274	29	303	1	21	1	23	1	2		3	桐花
639	11	650	1	36	1	38	1	2		3	本通
304	1	305	1	20	1	22	1	2		3	北
37	2	39	1	11	1	13		1		1	潮光
37		37	1	9	1	11		1		1	日新
75	3	78	1	10	1	12		1		1	恵山
28	1	29	1	11	1	13		1		1	椴法華
93	1	94	1	10	1	12		1		1	尾札部
61		61	1	10	1	12		1		1	白尻
5,843	103	5,946	28	449	27	504	12	46	10	68	中学校計

学級数	生徒数	校長	教員	実習助手	事務	用務	計	学校名
24	950	1	68	1	5	2	77	市立函館

学級数				園児数				園長	教員	事務	用務	計	園名
3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計						
2	1	1	4	13	20	19	52	1	5	1		7	はこだて
1	1	1	3	3	10	6	19	1	3		1	5	戸井
3	2	2	7	16	30	25	71	2	8	1	1	12	

4 市内学校・幼稚園一覧（市立学校・幼稚園を除く）

学校種別	設置区分	学校名	創立年月日	校長等氏名
大学	国立大学法人	北海道大学水産学部・水産科学院・水産科学研究所	M40.2.1	嵯峨直恆
		北海道教育大学教育学部函館校	T3.4.1	星野立子
	公立	公立ほこだて未来大学	H12.4.1	中島秀之
	私立	函館大学	S40.4.1	溝田春夫
短期大学	私立	函館短期大学	S28.1.31	上平幸好
		函館大谷短期大学	S38.4.1	福島憲成
高等専門学校	独立行政法人	国立高等専門学校機構函館工業高等専門学校	S37.4.1	岩熊敏夫
高等学校	道立	函館中部高等学校	M28.4.1	千原治
		函館西高等学校	M37.12.12	安房節雄
		函館稜北高等学校	S58.4.1	赤間幸人
		函館工業高等学校	M44.2.25	白野勝義
		函館商業高等学校	M20.1.11	難波繁之
		南茅部高等学校	S24.4.1	松浦宣美
		戸井高等学校	S28.4.1	小松将人
	私立	函館ラ・サール高等学校	S35.4.1	フェルミン・マルチネス
		函館大学附属有斗高等学校	S13.9.19	宮岡秀昌
		函館白百合学園高等学校	M11.5.28	吉田めぐみ
		函館大谷高等学校	M21.11.13	丸山政秀
		遺愛女子高等学校	M7.1.26	福島基輝
		函館大妻高等学校	T13.4.1	池田延己
		函館大学附属柏稜高等学校	S32.4.1	山田伸二
		清尚学院高等学校	S5.2.22	土家康宏
中学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館中学校	S22.4.1	羽根田秀実
	私立	遺愛女子中学校	S22.4.1	福島基輝
		函館白百合学園中学校	創立S23.4.1 再開H9.4.1～	吉田めぐみ
		函館ラ・サール中学校	H11.4.1	フェルミン・マルチネス
小学校	国立大学法人	北海道教育大学附属函館小学校	T6.4.1	根本直樹
	私立	函館三育小学校	S55.4.1	鈴木宏和
幼稚園	国立大学法人	北海道教育大学附属函館幼稚園	S45.4.1	後藤嘉也
	私立	函館藤幼稚園	S9.10.13	下野富美子
		元町白百合幼稚園	S36.4.1	須田光子
		カトリック湯の川幼稚園	S32.4.5	長内由香子
		函館短期大学附属幼稚園	S41.3.18	伊勢昭
		遺愛旭岡幼稚園	S57.3.26	野田義成
		遺愛幼稚園	M28.10.1	野田義成
		函館大谷幼稚園	S5.1.22	丹藤静香
		花園大谷幼稚園	S49.4.10	長谷川艶子
		函館第三大谷幼稚園	S35.7.1	浅井睦子
		認定こども園キッズサポートくにはな国の華幼稚園	S31.10.13	岸田千佳子
		龍谷幼稚園	S12.4.1	田中明宏
		函館ちとせ幼稚園	S26.4.1	小林博子
		認定こども園総合施設 函館若葉幼稚園	S33.3.20	鈴木眞由子
		函館めぐみ幼稚園	S27.11.8	山西道郎
		太陽の子幼稚園	S41.1.25	豊田千春
		函館白百合学園幼稚園	S25.4.5	堀優子
		函館大谷短期大学附属幼稚園	S40.4.1	葛西真理子
		亀田ゆたか幼稚園	S47.3.2	佐藤篤正
		第二太陽の子幼稚園	S52.2.28	豊田千春
		函館ひかり幼稚園	S53.12.13	後藤秀子
	函館あおい幼稚園	S54.12.17	永井純子	
	ききょう幼稚園	S54.12.17	川村兼悦郎	
高丘幼稚園	S54.12.7	玉利達人		
特別支援学校	国立大学法人	北海道教育大学附属特別支援学校	S51.4.1	小栗祐美
	道立	北海道函館盲学校	M28.10	木村浩紀
		函館豊学校	M28.10	大井川学
		函館養護学校	S54.4.1	高橋和明
		北海道函館五稜郭支援学校	S54.4.1	越前敏博

平成25年5月1日現在

電話番号	所在地	学級数	学生・生徒等数	教員数
40-5505	港町3丁目1-1		1,016	75
44-4411	八幡町1-2		1,406	73
34-6448	亀田中野町116-2		1,168	69
57-1181	高丘町51-1		388	25
57-1800	高丘町52-1		356	25
51-1786	鍛冶1丁目2-3		203	15
59-6300	戸倉町14-1	(本)25 (専)4	(本)1,039 (専)49	80
52-0303	時任町11-3	(全)18 (定)6	(全)705 (定)142	(全)47 (定)17
23-8415	元町7-17	(全)12	(全)474	(全)30
46-6235	石川町181-8	(全)12	(全)477	(全)32
51-2271	川原町5-13	(全)18 (定)12	(全)712 (定)71	(全)70 (定)33
41-4248	昭和1丁目17-1	(全)15 (定)4	(全)594 (定)66	(全)45 (定)10
25-3372	川汲町1560	(全)3	(全)72	(全)10
82-2300	浜町717	(全)2	(全)25	(全)11
52-0365	日吉町1丁目12-1	16	562	33
57-1381	湯川町2丁目43-1	18	573	35
55-6682	山の手2丁目6-3	14	354	33
52-1834	鍛冶1丁目2-3	10	271	19
51-0418	杉並町23-11	20	636	36
52-1890	柳町14-23	13	435	30
51-1481	柏木町1-34	15	492	30
41-6584	亀田本町5-17	9	305	13
46-2233	美原3丁目48-6	9	356	18
51-0418	杉並町23-11	5	113	10
55-6682	山の手2丁目6-3	5	97	9
52-0365	日吉町1丁目12-1	9	345	16
46-2235	美原3丁目48-6	12	444	18
34-2115	桔梗5丁目26-1	3	24	4
46-2237	美原3丁目48-6	3	54	5
41-3569	宮前町26-6	6	119	8
23-3551	元町15-30	3	55	5
51-3046	駒場町14-10	4	57	7
51-2757	柏木町7-26	7	107	10
50-3308	西旭岡2丁目6-1	3	68	4
22-0419	元町4-1	3	77	5
23-2062	元町21-16	3	14	3
54-2640	花園町17-17	6	119	9
51-1674	千代台町10-10	3	42	4
51-0738	梁川町19-17	8	255	21
23-0274	東川町12-24	3	61	8
55-4182	松陰町9-7	7	155	11
42-4471	田家町9-30	6	131	10
47-1735	桔梗町433-43	8	196	10
41-1929	富岡町1丁目42-12	7	145	9
52-0945	山の手2丁目6-3	6	137	9
56-1038	本通2丁目18-6	9	214	13
41-6585	美原1丁目28-10	6	167	8
41-9345	亀田港町13-5	6	163	11
54-2220	神山3丁目52-8	6	132	10
46-1008	美原2丁目46-10	6	189	12
49-0313	西桔梗町218-43	9	285	21
57-3621	高丘町27-33	5	98	12
46-2515	美原3丁目48-1	(小)3 (中)3 (高)3	(小)15 (中)15 (高)22	30
42-3220	田家町19-12	(幼)1 (小)2 (中)2	(幼)2 (小)4 (中)4	16
52-1658	深堀町27-8	(幼)2 (小)2 (中)2	(幼)3 (小)5 (中)4	20
50-3311	旭岡町2	(小)11 (中)8 (高)5	(小)30 (中)21 (高)13	71
53-9395	五稜郭町39-13	(小)1 (中)3 (高)6	(小)5 (中)7 (高)45	36

5 社会教育関係団体一覧

団体名	代表者名	活動のねらい及び活動内容
函館市児童生徒水難防止協議会	青田 基	児童生徒の水難事故防止普及活動
函館市文化団体協議会	安 保 天 壽	文化団体の発展と市民文化の向上
函館市スポーツ少年団	白 木 荘 太	心身の鍛練とスポーツ少年団の育成
函館市体育協会	久 保 俊 幸	スポーツ団体を統轄し、スポーツ振興を図る
函館ハーフマラソン大会実行委員会	櫻 庭 辰 弥	地域住民の体力増進、健康維持を促進
渡島管内図書館振興協議会	北 斗 市 立 函 書 館 長	研修会の開催、管内図書館の連絡協調
函館啄木会	宮 崎 郁 子 岡 田 弘 子	石川啄木資料の永久保存と業績の顕彰
図書裡会	岡 田 弘 子	図書館所蔵の郷土資料複製叢書の刊行等、 図書館活動への寄与
市立函館博物館友の会	若 山 直	博物館活動の普及発展への寄与
函館ユネスコ協会	土 谷 二 朗	ユネスコ精神の推進と普及
函館市文化協議会	清 水 信 勝	函館市の文化向上並びに発展
研修終了生の会「にれの会」	佐々木 尚孝	会員相互の研修親睦 青少年研修センターの運営協力
函館市青年サークル協議会	丸 藤 競	親睦交流、研修会および活動の協力援助
函館市社会体育振興会	宇 山 隆 夫	地域で活動する指導員の育成と実践
函館市ラジオ体操会	中 村 弘	市民の健康増進のためのラジオ体操の普及と 発展
函館市民プール水泳振興会	小山内 稔	水泳振興を目指すため、指導者相互の研修と 研修協議を行う。
巴万泳会	佐々木 三郎	1万mを区切りとした体力づくり、持久力の向上 を目的とする。

6 社会教育施設利用グループ一覧

(1) 函館市公民館グループ

グループ名	活動内容	代表者氏名	会員数	活動場所
月窯会	陶芸	佐藤 京子	12人	函館市公民館
書道サークル やわらぎ	書道	大島 明子	9人	函館市公民館
グループ パレット	絵画	西 恵美子	8人	函館市公民館
生花 若草会 (小原流)	生花	金子 豊枝	5人	函館市公民館
装美会	着付	倉内 淳子	15人	函館市公民館
どろんこ会	陶芸	石岡 俊枝	15人	函館市公民館
お貴楽倶楽部	陶芸	山田 栄治	8人	函館市公民館
コーラスせせらぎ	合唱	大竹 真佐子	36人	函館市公民館
ビードロの会	ステンドグラス	小林 武征	29人	函館市公民館
釉遊	陶芸	渡辺 和義	16人	函館市公民館

(2) 函館市亀田公民館グループ

グループ名	活動内容	代表者氏名	会員数	活動場所
洋裁サークル	洋裁	水巻 マサ子	10人	亀田公民館
和裁サークル	和裁	佐野 淑子	23人	亀田公民館
KMD絵画サークル	絵画	北山 節子	10人	亀田公民館
キルトクラブ	パッチワーク	武内 政子	20人	亀田公民館
絵手紙すみれの会	絵手紙	高森 教子	13人	亀田公民館
萌えの会	ちぎり絵	一戸 操	8人	亀田公民館
若葉会書道サークル	書道	三品 恵子	12人	亀田公民館



スポーツ健康都市宣言

わたくしたち函館市民は、スポーツと健康づくりを通じて、からだと心を鍛え、活力あふれるまちづくりをめざし、ここに「スポーツ健康都市」を宣言します。

- 1 スポーツと健康づくりに励み、たくましいからだと豊かな心を育てます。
- 1 スポーツと健康づくりに親しみ、明るくすこやかな生活を営みます。
- 1 スポーツと健康づくりを通じて、友情とふれあいの輪を世界に広がります。

平成4年10月10日

函 館 市

